

KAWAI

NOVUS

NV10

HYBRID DIGITAL PIANO

取扱説明書

演奏の準備

演奏を楽しむ前に

いろいろな演奏方法

いろいろな機能を楽しむ

演奏を録音・再生する

NV10を設定する

付録

JA

このたびは、KAWAIデジタルピアノNV10をご購入
くださりまして、誠にありがとうございます。
本楽器を存分にお楽しみいただき、末永くご愛用いた
だくためにも、この取扱説明書をよくお読みになり、
大切に保管していただきますようお願い申し上げます。

はじめに

■ 取扱説明書について

取扱説明書では、NV10をすぐお使いできるよう基本的な演奏ガイドから、様々な機能を使いこなすための操作まで説明しています。また付録では音色一覧や組み立て方法などの資料を見ることができます。

取扱説明書のカラータッチ液晶ディスプレイ(LCD)のイラストはバージョンによっては実機と異なる場合があります。

■ 本製品の特徴

カワイグランドピアノアクションを最適化して搭載した本物のタッチ感

高い評価を得ているカワイのグランドピアノアクション「ウルトラ・レスポンス・アクションII」をベースに最小限のパーツ最適化を行い、グランドピアノのタッチ感を実現しました。「ウルトラ・レスポンス・アクションII」は、部品ごとに要求される特性を備えた新素材を随所に採用、カーボンファイバーをベースにした新素材による大幅な性能向上を実現した鍵盤アクションです。すぐれた物性や寸法安定性ととも、木材では不可能だった部品形状により、俊敏な動きを実現し、コントロール性が高く表現力に富んだアクションを実現しています。

カワイが誇る最高のグランドピアノを最新の音源技術で再現

NV10は、タッチの強さにより滑らかに変化する音色とグランドピアノならではの音の拡がりを再現するマルチチャンネル方式の音源と、ピアノ特有の複雑で豊かな音の響き、共鳴音を創り出す新開発のモデリング技術を融合することで、グランドピアノで得られる演奏の心地良さ、タッチに対する優れた音のレスポンスを実現しました。

オーディオメーカーONKYOとのコラボレーションが実現する高音質再生

NV10は、世界的オーディオメーカーであるONKYOとの技術提携により、ハイクラスオーディオ機器と同じ技術を採用した再生回路、パワーアンプ、ヘッドホンアンプを搭載しています。KAWAIの最高レベルのグランドピアノ音を、原音に忠実でピュアな音を再現します。

ヘッドホン機能

スピーカーだけでなく、ヘッドホン機能にもこだわりました。拡がり方の種類までも選択できる「スペシャルヘッドホンサウンド」や、使用するヘッドホンのタイプに適した音質を提供する「ヘッドホンタイプ」を搭載、ヘッドホンでの演奏シーンも重視した特長を搭載しています。

スマートフォン感覚で操作ができる800×480dotカラータッチ液晶ディスプレイ

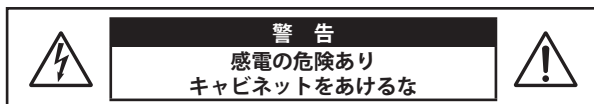
NV10は、スマートフォンのように操作ができるカラータッチ液晶ディスプレイを搭載しています。5インチという大型画面に表示される画像と文字をタッチして、NV10の豊富な機能を直観的に操作することができます。また、演奏中に画面をOFFすることもできるため、デジタルピアノ特有のスイッチや表示がない、まるでアコースティックピアノのような雰囲気でも演奏することもできます。

安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。

ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ずお守りください。お子様のご使用になる場合は、お子様の安全のために、保護者の方の管理の下、お子様に注意事項を守っていただきますようお願いいたします。

■ 製品本体に表示されているマークには次のような意味があります。



注意：感電防止のため本体の内部を開けないでください。機器の内部にはお客様が修理／交換出来る部品はありません。点検や修理は必ずお買い求めいただいた販売店または同梱の「アフターサービスと音楽教室のご案内」にある、お近くの弊社フィールドサポート担当までご依頼ください。



このマークは感電の危険があることを警告しています。



このマークは注意喚起シンボルです。取扱説明書等に、一般的な注意、警告の説明が記載されていることを表しています。

■ 警告と注意、記号表示について



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容が記載されています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容が記載されています。



△記号は注意(用心してほしい)を促す内容があることを告げるものです。



⊘記号は禁止(行ってはいけない)の行為であることを告げるものです。



●記号は強制(必ず実行してほしい)したり、指示する内容があることを告げるものです。



警告



電源は必ずAC100Vを使う

100V以外禁止

電圧の異なる電源を使用しないでください。発火の恐れがあります。



付属の電源コードは本機でのみ使用する

付属の電源コード以外を本機で使用しないでください。付属の電源コードを他の機器で使用しないでください。



電源コードを熱器具に近付けたり、無理に曲げたり重い物を載せたりして傷つけない

コードが破損し、火災、感電、ショートの原因になります。



電源プラグにほこりが付着している場合は、ほこりをきれいに拭き取る

感電やショートの原因があります。



本機を分解、修理、改造しない



落とさない

本機を落としたり、強い衝撃を加えない
怪我および破損の恐れがあります。



この機器の上に花瓶等の液体の物を置いたり、水にぬれるような使い方をしたりしない
故障・感電・発火の原因になります。



水に濡れた手で、電源プラグを抜き差ししない
感電の原因になります。



異常が起こった場合、故障した場合は即座に電源スイッチを切り、コンセントからプラグを抜く



異物を入れない

本機の内部に異物を入れないようにする
水、針、ヘアピン等が入ると、故障やショートの原因になります。



照明用のロウソクなどの裸の火を機器の上に置かない。



使用禁止

本機を次のような所では使用しない

- ・窓際など直射日光の当たる場所
- ・暖房器具のそばなど極端に温度の高い場所
- ・戸外など極端に温度の低い場所
- ・極端に湿度の高い場所
- ・砂やホコリの多い場所
- ・振動の多い場所
- ・本体の放熱を妨げる様な周囲が囲まれた場所
故障の原因になります。

⚠ 注意



電源プラグを抜くときは、必ずプラグ部分を持って抜く

コードを引っ張るとコードが破損し、火災、感電、ショートの原因になります。



プラグを抜く

落雷の恐れのある時や長時間使用しない時は必ず電源プラグを抜く

感電・火災及び故障の原因になる恐れがあります。



電源を切る

コード類を接続するときは、各機器の電源を切って行う

本機や接続機器の故障の原因になります。



指をはさまれないよう注意

鍵盤蓋や譜面立てで手や指をはさまないように注意する

鍵盤蓋や譜面立てはゆっくり取り扱ってください。勢いよく動かすと手や指をはさむ恐れがあり、けがの原因になります。

鍵盤蓋、譜面立てに手や指が掛った状態で上から荷重を加えないでください。手や指を損傷する恐れがあります。



ぶつからない

本機のカド部でけがをしないよう注意する
頭等をぶつけると、けがの原因になります。



手や足を
入れない

鍵盤蓋や譜面立てやペダルの下等、本機の隙間に手や足を入れない

はさんだり擦れる恐れがあり、けがの原因になります。



電源プラグは直ぐに抜くことが出来る状態にしておく

この機器は電源スイッチを切った状態でも主電源から完全に遮断されているわけではありません。完全に遮断するためには、電源プラグを抜いてください。プラグは直ぐに抜くことが出来る状態にしておいてください。



お子様の行動に十分注意してください

お子様が使用する場合や周囲にお子様のいる場所での使用においては、大人の監視のもと十分注意し使用してください。



上に乗らない

本機の上に乗ったり、重い物を乗せたりしない

変形したり、倒れる恐れがあり、故障やけがの原因になります。



使用しない

イスは次のように使用しない

- ・イスを不安定な場所に置かない
- ・イスで遊んだり、イスを踏み台にしたりしない
- ・イスには2人以上で座らない
- ・イスに座ったまま高さ調節をしない(調節機能付きの場合)
- ・ネジの緩んだイスに座らない

イスが倒れたり、指をはさむ恐れがあり、けがの原因になります。長時間使用してイスのボルトがゆるんだ場合は、付属のスパナで締め直してください。



移動、設置は必ず3人以上で行う

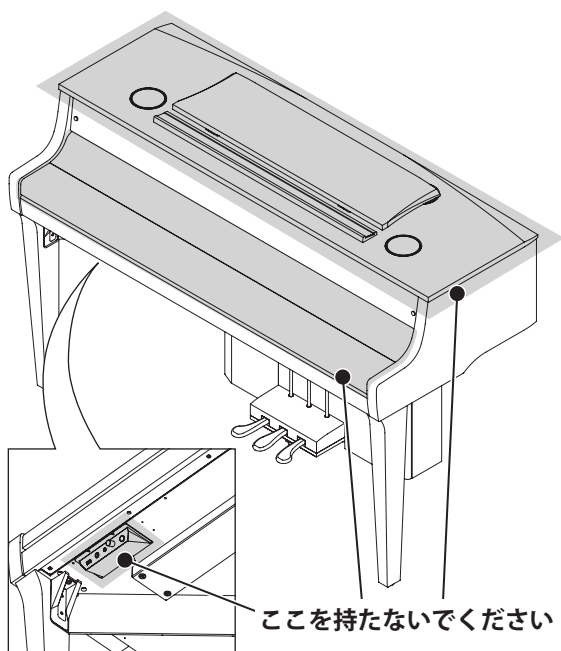
3人未満で製品を持ち上げると、腰をいためたり、けがの原因になります。

移動させるときは下図の灰色表示部は持たず、必ず本体の底面を持ってください。

本体を立てかけたり、裏返ししたりせず、水平にしてお運びください。

その際、手や指をはさんだり、脚の上に落とさないように十分注意してください。

御引越しの際は専門の業者にご依頼ください。



不安定な場所に置かない

怪我や破損の恐れがあります。



タコ足配線禁止



ヘッドホンは大音量で長時間使用しない

聴力低下の原因になる恐れがあります。



ディスプレイの表面に爪や鋭利なもの、硬いものなどを強く押し付けない

傷の発生や破損の原因となります。タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押しついたり、先のとがったもの(爪/ボールペン/ピンなど)を押し付けたりしないでください。



強く押す、たたくなど故意に強い衝撃をディスプレイに与えない

傷の発生や破損の原因となることがあります。



以下の場合にはタッチパネルに触れても動作しないことがあります

- ・異物を操作面に乘せたままでの操作
- ・ディスプレイに水滴が付着または結露している状態での操作

誤動作の原因となりますのでご注意ください。



本体の組立作業は必ず本書の「NV10の組み立て方(P. 173)」を読んで行う

また、椅子の組立作業は必ず椅子に付属する組立説明書を読んで行ってください。

正しく組み立てないと落下、破損、怪我の恐れがあります。

また、ネジなどはゆるみを定期的に点検し、必要に応じて締めなおしてください。



鍵盤蓋を外さない



本体を移動するときは、必ず電源コードなどの接続ケーブルをすべて外した上で行う

コードをいためたり、お客様や他の方々が転倒したりする恐れがあります。



すべての機器の電源を切った上で、ほかの機器と接続する。また、電源を入れたり切ったりする前に、機器のボリュームを最小にする

感電、聴覚障害または機器の損傷の原因になります。



演奏を始める前に機器のボリュームを最小にし、演奏しながら徐々にボリュームを上げて、適切な音量にする

聴覚障害または機器の損傷の原因になります。



本製品は常にBluetooth®接続がスタンバイの状態になっているため、一度接続したお手持ちの機器側の自動再接続設定や、信頼設定機能が有効になっている場合は、その機器と自動的に再接続される場合があります。

意図しない機器と接続されてしまう場合は、その機器の電源を切ってからやり直してください。

■ お手入れについて

本体	乾いた柔らかい布で拭いてください。
タッチパネル	お手入れは乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
ベンジンやシンナーで本機を拭かない	色落ちや、変形の原因になります。清掃するときは、乾いた柔らかい布で拭いてください。

*お手入れの際は、電源コードを抜くこと。

■ 保証書について

本製品をお買い求めの際、販売店で必ず保証書の手続きを行ってください。保証書に販売店の印やお買い上げ日の記入が無い場合は、保証期間中でも修理が有償になることがあります。

保証書は、本取扱説明書と共に大切に保管ください。

■ 銘板について

器種名、製造番号等の情報は、製品下面の銘板に記載されています。

■ 修理について

万一異常がありましたら直ちに電源スイッチを切り、本機の電源プラグを抜いて、購入店または弊社へご連絡ください。弊社連絡先は取扱説明書の裏表紙に記載してあります。

■ Bluetooth®について

- Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、株式会社河合楽器製作所はライセンスに基づき使用しています。その他の商標および商号は、それぞれの所有者に帰属します。

その他の商標または製品名は、一般に各所有者が所有する登録商標あるいは商標です。

- 無線周波数帯2400~2483.5MHz, 最大送信出力2.5mw (BLE)、4.5mw (A2DP)

* SCMS-T規格には対応していません。



■ 調律について

この楽器は調律の必要はありません。

タッチに違和感を感じた場合には、お近くのフィールドサポートまでご連絡ください。

目次

はじめに	3
安全上のご注意	4
目次	8

演奏の準備 10

1. 各部の機能と名称	10
2. 演奏の準備	12
■ 電源を入れる	12
■ 鍵盤蓋を開ける	13
■ 鍵盤蓋を閉める	13
■ 譜面立てを利用する	13
■ 音量を調整する	14
■ ヘッドホンを使う	14
■ ペダルを使う	15
■ アジャスターについて	15
■ グランドペダルシステムについて	15

演奏を楽しむ前に 16

■ 画面操作について	16
1. 画面の各部の名称とはたらき	17
■ Pianist画面	17
■ ピアニストメニュー画面	20
2. メトロノーム/リズムを使う	21
■ メトロノームのON/OFF	21
■ メトロノームの設定	21
3. リバーブとエフェクトを設定する (Sound画面のみ)	24
■ リバーブ	24
■ エフェクト	27

いろいろな演奏方法 30

■ Sound画面に切り替える	30
1. 通常演奏(シングルモード)	30
■ シングルモードで演奏する	30
■ 音色を変更する	31
2. デュアル演奏	32
■ デュアル演奏モードに入る	32
■ デュアル演奏の音色を変更する	33
■ デュアル演奏の設定を変更する	33

3. スプリット演奏	35
■ スプリット演奏モードに入る	35
■ スプリット演奏の音色を変更する	36
■ スプリット演奏の設定を変更する	37
4. 4ハンズモード(連弾演奏)	39
■ 4ハンズモードに入る	39
■ 右側・左側の音色を変更する	40
■ 4ハンズ演奏の設定を変更する	41

いろいろな機能を楽しむ 43

■ Music画面を表示する	43
1. デモ曲を聴く	44
■ デモ曲モードに入る	44
■ デモ演奏を停止してデモ曲モードを終了する	45
2. ピアノミュージックを聴く	46
■ ピアノミュージックモードに入る	46
■ 演奏を停止して ピアノミュージックモードを終了する	47
3. レッスン	48
■ レッスン機能でできること	48
■ レッスンモードに入る	48
■ 練習曲を聴く	50
■ レッスンモードを終了する	50
■ 再生モードを設定する	51
■ 練習曲の聴きたい範囲を繰り返し再生する	51
■ 片手で練習する	52
4. コンサートマジック	55
■ コンサートマジックモードに入る	55
■ コンサートマジックを楽しむ	57
■ コンサートマジック曲を聴いてみよう	57
■ コンサートマジックを設定する	58
5. レコーダー再生	61
■ 再生可能なファイルに関して	61
■ レコーダー再生モードに入る	61
■ 再生モードを設定する	63
6. USBメモリープレーヤー	69
■ USBメモリのロード/セーブについて	69
■ USBメモリープレーヤーモードに入る	70
■ USBメモリの曲を再生する	72

■再生モードを設定する.....	72
■聴きたい範囲を繰り返し再生する.....	73
■ボリューム、ソングトランスポーズを設定する.....	74
7. フェイバリットについて.....	76
■Favorite画面に入る.....	77
■フェイバリットに記憶する.....	78
■フェイバリットを呼び出す.....	79
■フェイバリットの名前を変更する.....	80
■フェイバリットを編集する.....	80
■起動時に Favorite画面を表示する.....	82

演奏を録音・再生する 83

1. 録音・再生機能について.....	83
■録音フォーマット形式について.....	83
■録音中の設定変更について.....	83
■本体録音について.....	83
2. 本体に録音する.....	84
■録音(インターナル)モードに入る.....	84
■ソングとパートの設定をする.....	85
■録音をスタートする.....	86
■録音をストップする.....	86
■録音した曲を聴く.....	87
■ソングを消去する.....	88
3. USBメモリに録音する.....	89
■録音モード(USB)に入る.....	89
■USBレコーダーを設定する.....	90
■録音する.....	92
■曲を聴きながら演奏を重ねて録音する(オーバーダビング).....	93

NV10を設定する 94

1. ピアニストメニュー.....	94
■ピアニストメニューの設定項目.....	94
■ピアニストメニューを表示する.....	95
2. サウンドメニュー.....	99
■サウンドメニューの設定項目.....	99
■サウンドメニューを表示する.....	101
3. コンサートチューナー.....	104
■おまかせ設定と詳細設定.....	104

■詳細設定の種類と内容、電源ON時の設定..	104
■コンサートチューナーを表示する.....	105
■コンサートチューナーの各項目を設定する.....	108
4. サウンドセッティング.....	128
■サウンドセッティング画面を表示する.....	128
■サウンドセッティングの各項目を設定する.....	131
5. その他のセッティング.....	137
■その他のセッティングの種類と初期設定...137	
■セッティング画面を表示する.....	138
■Bluetoothを設定する.....	141
■USBを設定する.....	142
■MIDIを設定する.....	146
■カラータッチ液晶ディスプレイ(LCD)などを設定する.....	151

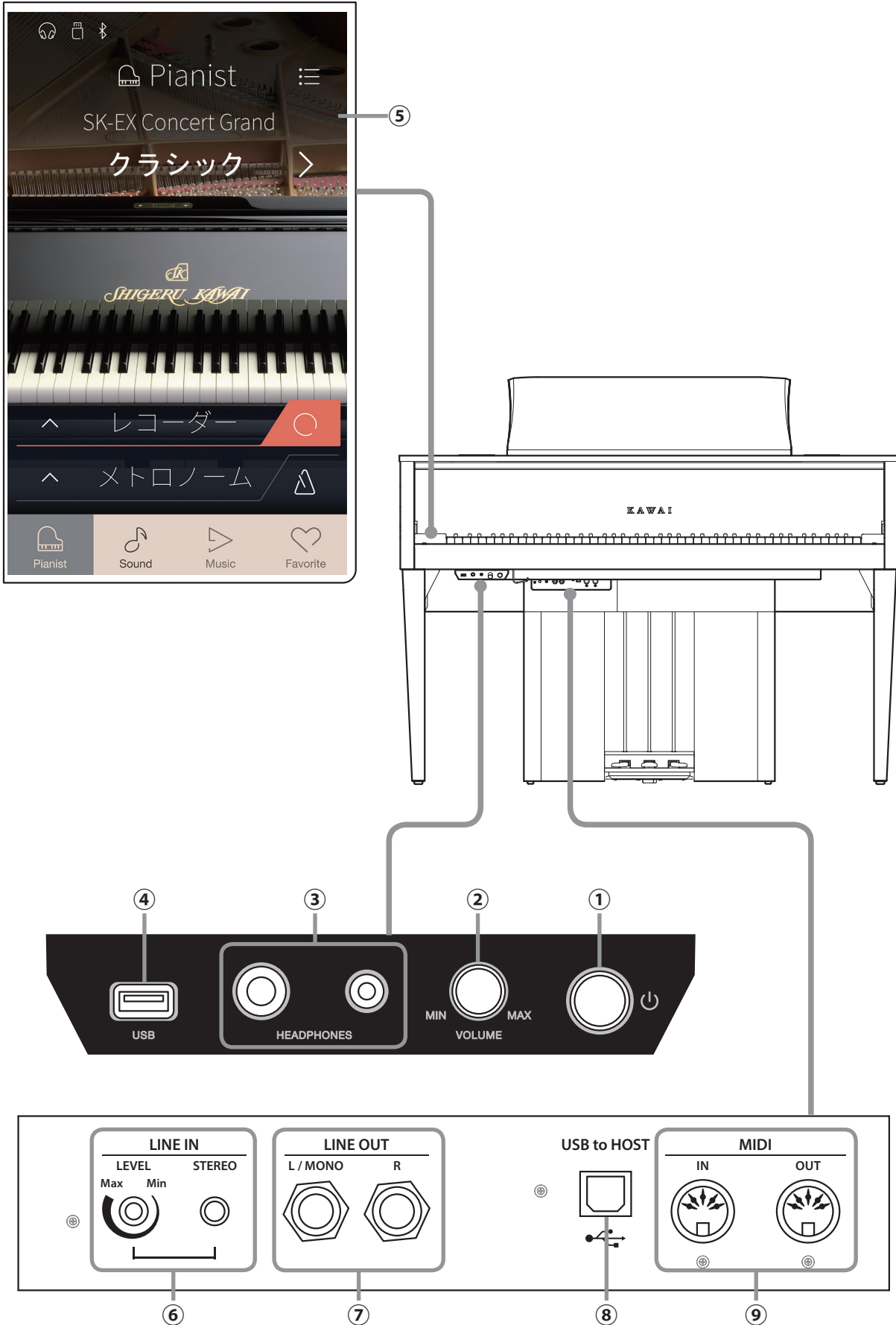
付録 154

1. 困ったときは?.....	154
2. 音色一覧.....	157
3. デモ曲一覧.....	158
4. ピアノミュージック/レッスン曲集一覧.....	159
■ピアノミュージック.....	159
■レッスン曲集.....	159
5. コンサートマジック曲目一覧.....	160
6. リズム一覧.....	161
7. 各音色に対応する送受信プログラムナンバー一覧.....	162
8. 他の機器との接続.....	170
■USBドライバーについて.....	171
■iPadについて.....	171
■USBに関するご注意.....	172
■Bluetoothに関するご注意.....	172
9. NV10の組み立て方.....	173
■部品の確認.....	173
10. NV10仕様.....	178
MIDIインプリメンテーションチャート.....	180

演奏の準備

1. 各部の機能と名称

演奏の準備



① ^{パワー} [POWER] スイッチ

電源をオン / オフするスイッチです。ご使用後は必ず電源を切ってください。

② ^{ボリューム} [VOLUME] つまみ

内蔵スピーカーやヘッドホンから出力される音量を調整します。

③ ^{ホーンズ} [PHONES] 端子

ステレオのヘッドホンを接続する端子です。ミニステレオプラグのヘッドホンとステレオ標準プラグのヘッドホンを同時に接続することができます。

④ ^{ユーエスピートゥー デバイス} [USB TO DEVICE] 端子

USBメモリを接続する端子です。保存されている曲を再生したり、NV10で録音した曲をUSBメモリに保存することもできます。

⑤ カラータッチ液晶ディスプレイ (LCD)

本機の状態を表示したり、操作や設定を行います。画面に表示されるアイコンやボタンで機能を選択したり、それぞれの機能を設定します。また、選ばれている音色名やUSBやBluetoothの接続、設定の状態を表示します。

画面に表示されているアイコンやボタンを、指先で軽く触れる(タップするといいます)ことで機能を選択したり、設定を変更したりします。画面を押して軽くこするよう上下左右に動かす(スワイプするといいます)ことで画面を切り替えます。

※カラータッチ液晶ディスプレイ (LCD) には、あらかじめ保護用の透明シートが貼り付けてありますので、はがしてからご使用ください。

⑥ ^{ライン イン} [LINE IN] 端子

他の電子楽器やオーディオ機器などの出力端子とこの端子を接続すると、NV10の内蔵スピーカーからそれぞれの機器の音を出力することができます。

⑦ ^{ライン アウト} [LINE OUT] 端子

NV10の音を他の外部機器(アンプ、ステレオ)などで聴いたり、オーディオ機器などに録音する場合に使用する出力端子です。

⑧ ^{ユーエスピートゥー ホスト} [USB TO HOST] 端子

市販のUSBケーブルでコンピュータと接続すると、MIDIデバイスとして認識され通常のMIDIインターフェイスと同様にMIDIメッセージを送受信することができます。

⑨ ^{ミディ イン アウト} [MIDI IN/OUT] 端子

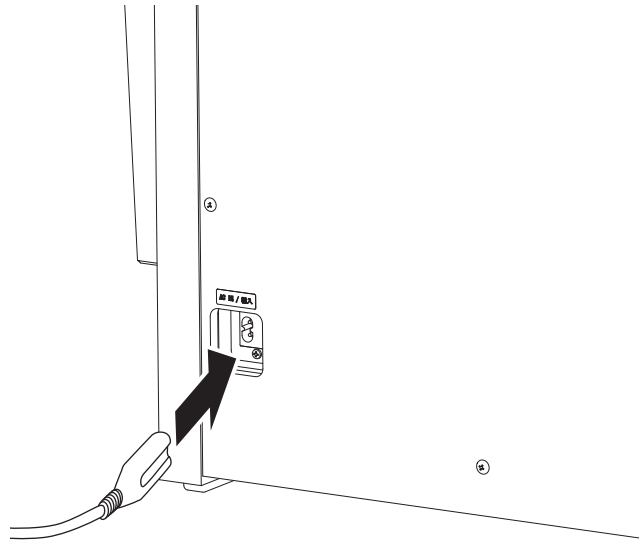
MIDI規格に対応している楽器と接続する端子です。

2. 演奏の準備

■ 電源を入れる

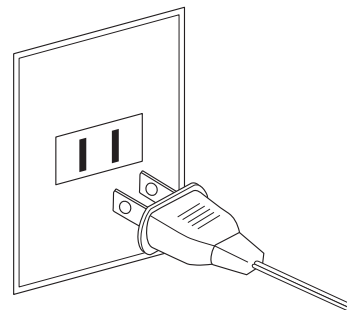
1. 電源コードを本体に接続する

付属の電源コードを、本体裏下部のACインレットに差し込みます。



2. 電源コードをコンセントに接続する

電源コードをAC100Vのコンセントに差し込みます。



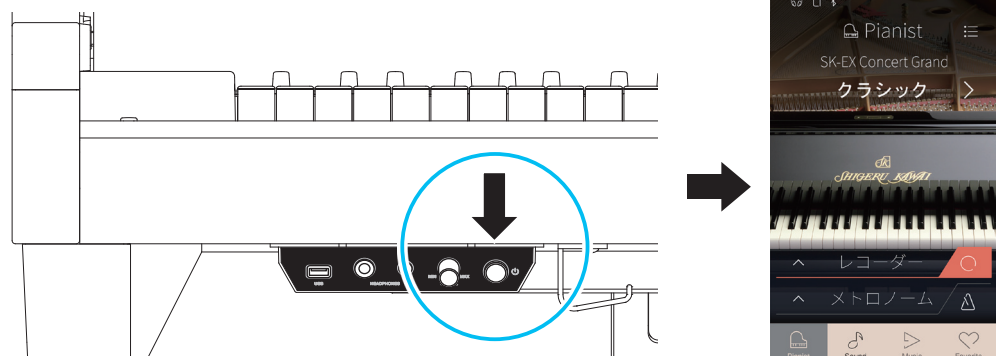
3. 電源を入れる

[POWER]スイッチを押して電源をオンにします。

カラータッチ液晶ディスプレイ (LCD)に「KAWAI」と表示され、起動が始まります。起動すると下図の画面になります。

極力、起動が終わるまでは電源を切らないでください。

電源を切るときは、もう一度[POWER]スイッチを少し長押しし、画面の表示を消します。



■ 鍵盤蓋を開ける

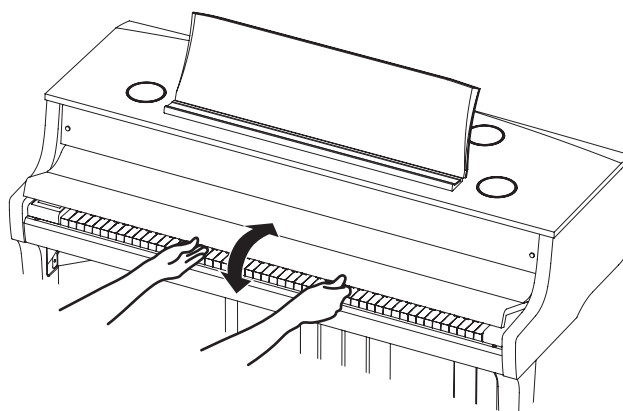
鍵盤蓋に両手を掛け、静かに持ち上げます。



鍵盤蓋を開閉するときは、途中で手を離さないでください。
鍵盤蓋と本体の間に手や指を挟まないようご注意ください。



鍵盤蓋を開けるときの、鍵盤蓋の上にものを置かないでください。
本体内部にものが落ち、感電、ショート、発火や故障などの原因になります。
万が一、ものが本体内部に入った場合は、お近くのフィールドサポートまでご連絡ください。



■ 鍵盤蓋を閉める

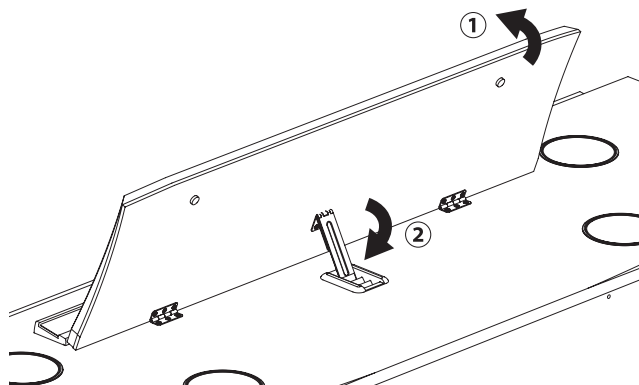
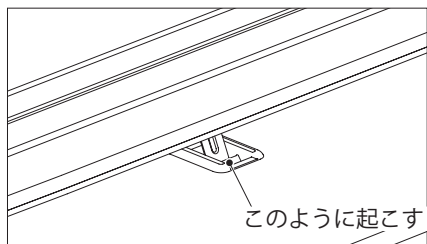
鍵盤蓋に両手を掛け、静かに下ろします。

※ 鍵盤蓋はゆっくり閉めてください。勢いよく閉めると指をはさみ、けがの原因になります。

■ 譜面立てを利用する

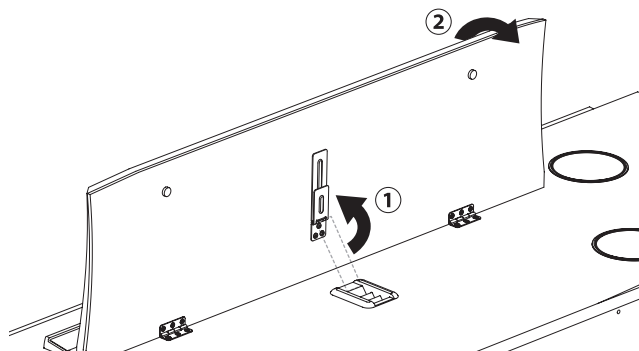
● 譜面立てを起こす/角度を調整する

- ① 譜面立てを手前に起こします。
- ② 譜面立てを金具を金具ホルダーのお好みの場所に設置します。
(2種類の譜面立て金具により、角度を6段階に調整することができます。)



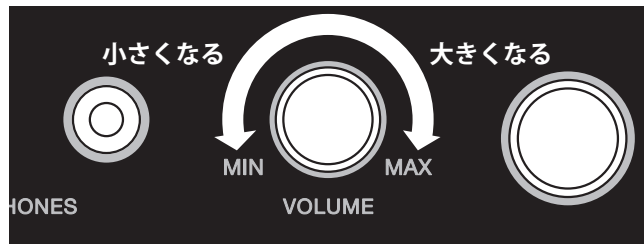
● 譜面立てを倒す

- ① 金具を起こします。
- ② 譜面立てをゆっくりと倒します。



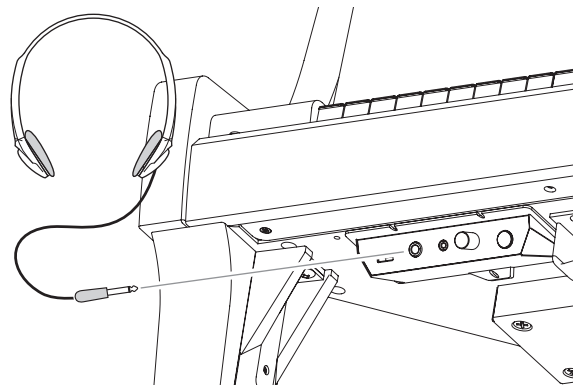
■ 音量を調整する

本体パネル左にある[VOLUME]つまみで音量を調整します。時計回りに回すと音量が大きくなり、反時計回りに回すと小さくなります。実際に鍵盤を弾いて音を鳴らしながら、音量を調節してください。



■ ヘッドホンを使う

ヘッドホンを[PHONES]端子に差し込みます。ヘッドホンを接続すると、本体スピーカーからは音が出なくなります。



● ヘッドホンの接続状態を確認する

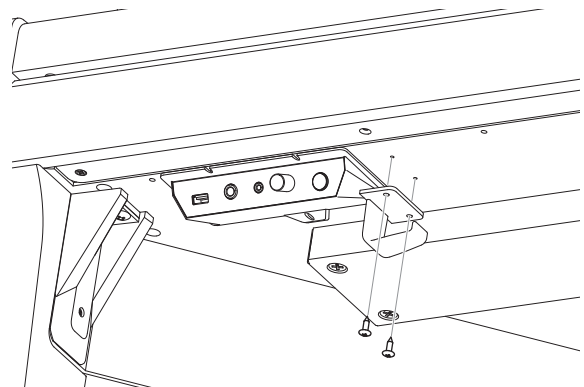
ヘッドホンが本機に差し込まれている場合、画面上部にヘッドホンアイコンが表示されます。



ヘッドホンが接続されている状態

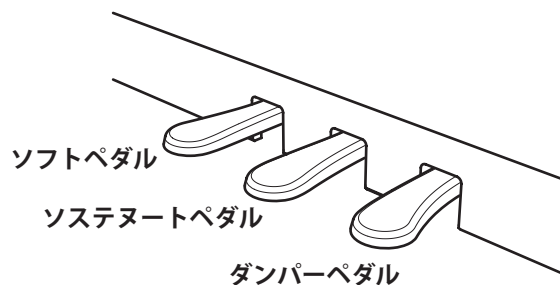
● ヘッドホンフックを使う

ヘッドホンを使わないときは、ヘッドホンフックにヘッドホンをかけておくことができます。ヘッドホンフックを使用する場合は図のように取り付けてください。



■ ペダルを使う

ペダルにはダンパーペダル / ソステヌートペダル / ソフトペダルがあります。これらはピアノ演奏のときに使われ、次のようなはたらきがあります。



● ダンパーペダル(右のペダル)

このペダルを踏んで演奏すると鍵盤から手を離しても音が切れずに長く響かせることができます。

踏み具合により余韻の長さを調節することができます(ハーフペダル対応)。

● ソステヌートペダル(中央のペダル)

鍵盤を押した後、指を離す前にこのペダルを踏むと、そのとき押さえていた鍵盤の音のみに余韻を与えます。従って、このペダルを踏んだ後に押した別の鍵盤の音は、通常どおり発音します。

● ソフトペダル(左のペダル)

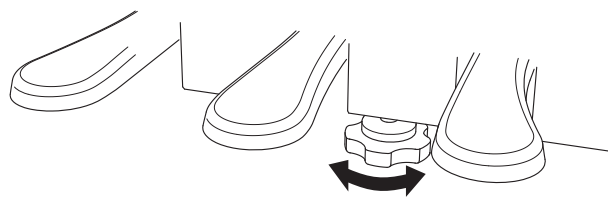
音量がわずかに下がると同時に音の響きがやわらかくなります。

エフェクトでロータリーが選ばれている時は、踏むたびにスピード(Slow / Fast)を切り替えます。

※ 音色によっては効果がわかりにくいものもあります。

■ アジャスターについて

アジャスターが浮いた状態で使用すると、ペダル土台を破損する恐れがあります。必ずアジャスターが床についた状態でご使用ください。



■ グランドペダルシステムについて

NV10のペダルにはグランドペダルシステムが搭載されています。従来のペダルより荷重が重く、3本のペダルそれぞれがよりグランドピアノSK-EXに近い踏み心地となっています。

演奏を楽しむ前に

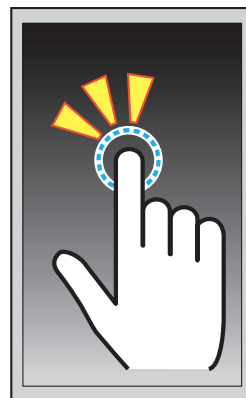
演奏を開始する前に画面の名称とはたらきを理解しておきましょう。本機では、ほとんどの機能や設定をこのカラータッチ液晶ディスプレイ(LCD)に表示されるアイコンやボタンにタッチしたり、指先をスライドさせて行います。

■ 画面操作について

カラータッチ液晶ディスプレイ(LCD)での基本的な操作は次の3つです。

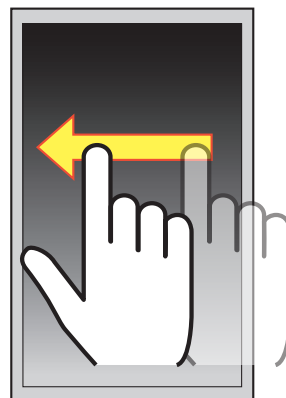
● タップ

画面に表示されるアイコンやボタンに触れてすぐに放す操作です。画面上のほとんどの機能の選択や設定に使用します。「○をタップします」と表記しています。



● スワイプ

画面上のアイコンやボタンに触れて放さずにそのまま上下または左右にスライドさせる操作です。それぞれ「上下にスワイプします」、「左右にスワイプします」と表記しています。



● 長押し

画面に表示されているアイコンやボタンまたは特定の範囲内を2秒以上押し続けてから放す操作です。「○○を長押しします」、「長押しすると」と表記しています。

本書では上記の用語で操作方法を説明しています。



1. 画面の各部の名称とはたらき

本機ではお客様の使用シーンに合わせて4つの画面から構成されています。

- 高品位なSK-EX Rendering Engineの音とピアノ演奏・練習に特化した「Pianist」
- 多彩な音色を弾き分けたり、音色を重ねたり等、デジタルピアノならではの使い方が楽しめる「Sound」
- 音色デモやレッスン曲、USBメモリーオーディオ等、音楽を聞くための「Music」
- お気に入りの設定を保存し、自分ならではの使い勝手にカスタマイズできる「Favorite」

4つのメイン画面はタブバーで切り替え可能です。

本体起動後は、下図のようにPianist画面が表示されます
画面の各部の名称とはたらきは次のとおりです。

■ Pianist画面

① ステータスバー

外部機器の接続状態や機能のON/OFFの状態を表示します。
詳しくは「●ステータスバー」(P.18)をご覧ください

② メニューボタン

ピアニストメニュー画面を表示します。
詳しくは「●ピアニストメニュー画面」(P.20)をご覧ください。

③ レンダリング表示

左右にスワイプしてレンダリングキャラクターを変更します。
中央には選択されたレンダリングキャラクターが表示されます。
詳しくは「●レンダリング表示(Pianist画面のみ)」(P.18)をご覧ください。

④ レコーダーバー

演奏を録音したり、録音の設定を行います。
詳しくは「演奏を録音・再生する」(P.83)をご覧ください。

⑤ メトロノームバー

メトロノームやリズムのON/OFFや設定を行います。
詳しくは「●メトロノームバー」(P.19)、「2.メトロノーム/リズムを使う」(P.21)をご覧ください。

⑥ タブバー

メイン画面を切り替えます。
詳しくは「●タブバー」(P.20)をご覧ください。



ステータスバー、レコーダーバー、メトロノームバー、タブバーはほとんどの画面で共通に表示されます。

演奏を楽しむ前に

● ステータスバー

機能のON/OFFや外部機器との接続状態を表示します。

① ヘッドホンアイコン

ヘッドホンが接続されているときに表示されます。

② USBアイコン

USBメモリが差されているときに表示されます。

③ Bluetoothアイコン

Bluetooth MIDIまたはBluetoothオーディオがONのときに表示されます。

④ トランスポーズアイコン

キートランスポーズが設定されているときに表示されます。

⑤ エフェクトアイコン

エフェクトがONのときに表示されます。

⑥ リバーブアイコン

リバーブがONのときに表示されます。



● レンダリング表示 (Pianist画面のみ)

グランドピアノの音が発生するメカニズムは、様々な要素で構成されています。

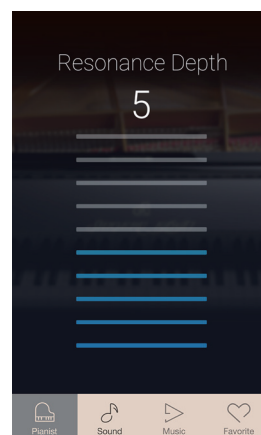
その要素のひとつひとつをサンプリングやモデリング等の信号処理技術を用いて再構成し、パラメータを最適に調整し組み合わせることで様々な種類のピアノを再現するのがレンダリングです。

「レンダリングキャラクター」では以下のとおり10種類のタイプを選べます。

レンダリングキャラクター	効果
クラシック	ダイナミックレンジの広い標準的なピアノサウンドです。
ロマンティック	ソフトなハンマーによるメロウなピアノサウンドです。
ストロング	明るく低音の充実した大きなサイズのピアノサウンドです。
ジャズ	クリーンでジャズに適したピアノサウンドです。
ブリリアント	高域成分が強調されたブライトなピアノサウンドです。
リッチ	共鳴を強調したリッチなピアノサウンドです。
バラッド	クリアーでライトポップなピアノサウンドです。
ポップ	アタックを強調したポップスに適したピアノサウンドです。
ビンテージ	古いピアノを模したやわらかなピアノサウンドです。
ブギ	調律をずらした小さなサイズのピアノサウンドです。

「Resonance Depth(レゾナンス デプス)」を調整して、ピアノの共鳴音の大きさや音色の個性を変化させて楽しむことができます。

画面の中央に指をおき、上下に指を動かすと、右図のレゾナンスデプス画面が表示されます。レゾナンスデプスは10段階で調整することができます。



● レコーダーバー

本機での演奏を録音したり、録音を再生する操作を行います。レコーダー機能の詳細は、「演奏を録音・再生する」(P. 83)をご覧ください。

① レコーダーオープンボタン

レコーダー画面を表示します。

② レコーダーステータス

レコーダーの状態を表示します。

③ レコーダーON/OFFボタン

1度タップするとスタンバイ状態になります。

再度タップすると録音を開始します。

さらに再度タップすると録音を停止します。



● メトロノームバー

メトロノームやリズムのON/OFFや設定を行います。

詳細は「2. メトロノーム/リズムを使う」(P. 21)をご覧ください。

① メトロノームオープンボタン

メトロノーム画面を表示します。

② メトロノームステータス

メトロノームの状態を表示します。

③ メトロノームON/OFFボタン

メトロノームの動作をON/OFFします。



演奏を楽しむ前に

● タブバー

本機の「Pianist」「Sound」「Music」「Favorite」の4つのメイン画面に切り替えます。

① Pianistボタン

Pianist画面を表示します。

② Soundボタン

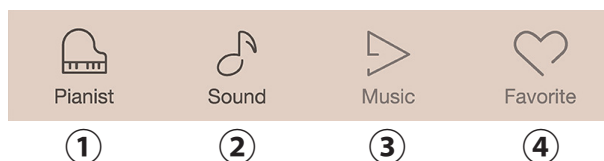
様々な音色やデュアル、スプリットなどの演奏モードを選択します。

③ Musicボタン

デモ演奏や録音再生、レッスン機能などを選択するMusic画面を表示します。

④ Favoriteボタン

音色などのお気に入りの設定を記録したり呼び出したりするFavorite画面を表示します。



■ ピアニストメニュー画面

画面右上の☰ (メニュー) ボタンをタップするとメニュー画面が表示されます。

Pianist、Sound、Favoriteの各画面に応じたメニューが表示されます。

メニュー画面の設定内容について詳細は各項目の説明をご覧ください。

● ピアニストメニュー画面

① アンビエンスタイプ

音の広がり、空気感を調節します。

② アンビエンスデプス

アンビエンスの深さ・奥行き感を設定します。

③ ピアニストデモ

ピアニストデモ画面を表示します。

④ コンサートチューナー

コンサートチューナー(ピアニスト)画面を表示します。

⑤ サウンドセッティング

サウンドセッティング(ピアニスト)画面を表示します。

⑥ セッティング

セッティング(ピアニスト)画面を表示します。

USBやBluetooth、MIDIなどの設定を行います。

⑦ フェイバリットへ保存ボタン

現在の本機の設定状態をフェイバリットに保存します。

⑧ ✕(閉じる)ボタン

ピアニストメニュー画面を閉じてPianist画面に戻ります。



● ✕(閉じる)ボタン

ほとんどのメニュー画面の最下部は✕(閉じる)です。



このボタンをタップすると、表示中のメニュー画面を閉じて、元の画面に戻ることができます。

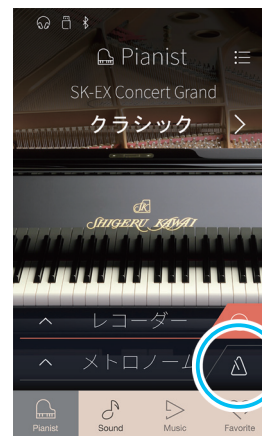
2. メトロノーム/リズムを使う

メトロノームを鳴らしてテンポを正しく練習したり、曲にあったリズムを加えて演奏を楽しむことができます。通常のメトロノーム音による拍子の他、ドラム音色によるポップス/ロック/バラード/ジャズなど多彩なリズムを内蔵しています。

※リズムの一覧は(P. 161)を参照してください。

■ メトロノームのON/OFF

1. メトロノームバーの  (メトロノームON/OFF) ボタンをタップします。
ボタンの色が変わり、メトロノームが発音します。
2. 再度  をタップするとメトロノームが止まります。




メトロノームON/OFFボタン



■ メトロノームの設定

メトロノームの設定はメトロノーム画面で行います。

1. メトロノームバーの  (メトロノームオープン) ボタンをタップします。
メトロノーム画面が表示されます。

メトロノームオープンボタン



演奏を楽しむ前に

●メトロノーム画面

①メトロノームバー

タップするとメトロノーム画面を閉じます。

②メトロノームモード選択ボタン

△をタップするとメトロノームモードになります。

🎵をタップするとリズムモードになります。

③メトロノームパターン選択

左右にスワイプしてメトロノームパターンを選択します。

中央に選択したメトロノームパターンを表示します。

④メトロノームテンポ

各桁の数字を上下にある矢印で設定します。

⑤メトロノームビート

左右にスワイプしてメトロノームビートを selects します。

中央にメトロノームビートが表示されます。

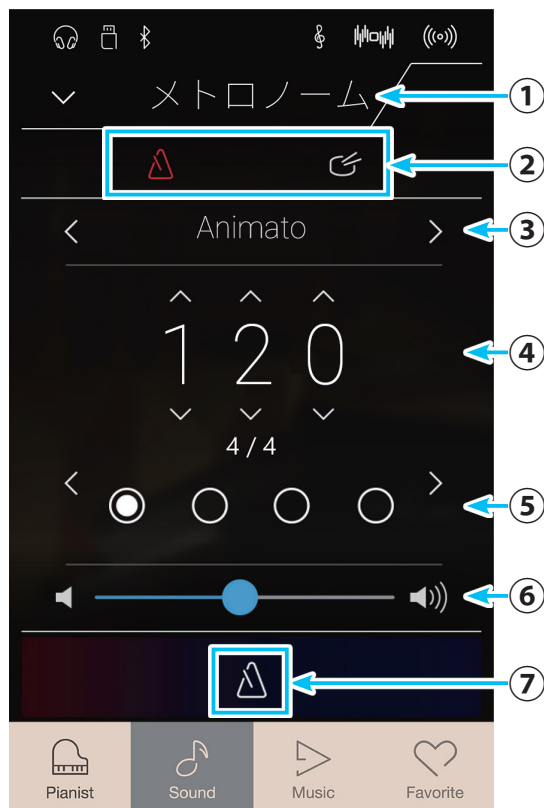
選択したビートによって○の数が変わります。

⑥メトロノームボリューム

●(スライダー)を動かしてメトロノームの音量を調節します。

⑦メトロノームON/OFFボタン

メトロノームをON/OFFします。



●メトロノームの設定値

種類	説明
メトロノームテンポ	テンポの値は10～400の範囲で設定できます。(3/8、6/8、7/8、9/8、12/8拍子のときは、20～800) 値は1分間の拍数を表しています。
メトロノームビート/リズム	ビート(拍子)は1/4、2/4、3/4、4/4、5/4、3/8、6/8、7/8、9/8、12/8より選択することができます。リズムは100種類より選択することができます。(P. 161参照)

●リズムの設定

ドラム音色によるポップス/ロック/バラード/ジャズなど多彩なリズムを内蔵しています。

リズムを設定するには、メトロノームモード選択ボタンで🎵(リズム)ボタンをタップします。

メトロノーム画面のリズム設定が表示されます。

●メトロノーム画面リズム設定

①メトロノームモード選択ボタン

△をタップするとメトロノームモードになります。
☞をタップするとリズムモードになります。

②リズムパターン選択

左右にスワイプしてリズムパターンを選択します。中央に
選択したリズムパターンが表示されます。

③テンポ

各桁の数字を上下にある矢印で設定します。

④リズムビート

左右にスワイプしてビートを選択します。
中央にリズムビートを表示します。
選択したビートによって○の数が変わります。

⑤リズムボリューム

●(スライダー)を動かしてメトロノームの音量を調節し
ます。

⑥リズムON/OFFボタン

リズム動作をON/OFFします。



3. リバーブとエフェクトを設定する (Sound画面のみ)


■ リバーブ

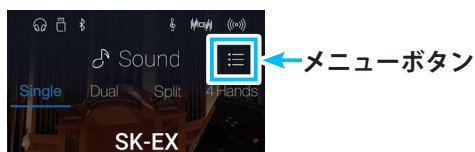
リバーブを加えると、音に残響効果が変わりコンサートホールで演奏しているような深みのある美しい響きが得られます。本機には6種類のリバーブを用意しています。

● リバーブの種類

タイプ	効果
ルーム	室内での演奏時の残響を再現した効果です。
ラウンジ	ラウンジでの演奏時の残響を再現した効果です。
スモールホール	小ホールでの演奏時の残響を再現した効果です。
コンサートホール	クラシック向け大ホールでの演奏時の残響を再現した効果です。
ライブホール	ホールライブ向け大ホールでの演奏時の残響を再現した効果です。
カテドラル	大聖堂での演奏時の残響を再現した効果です。

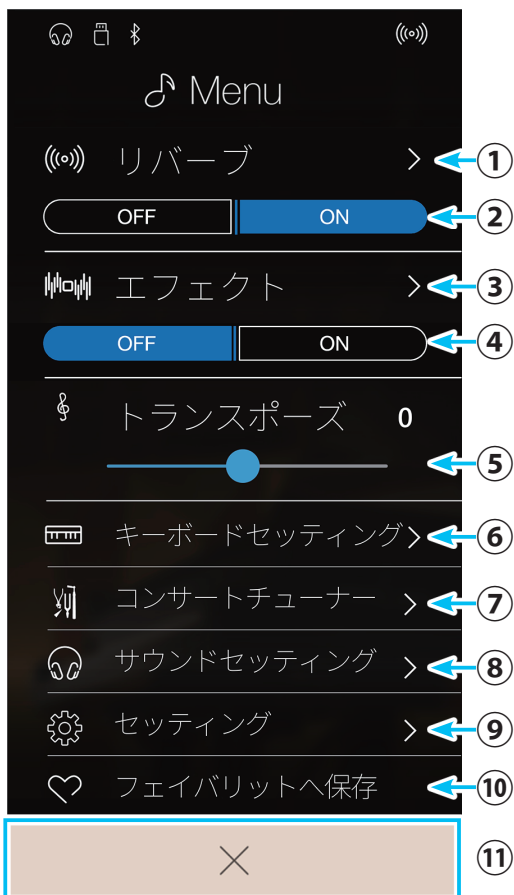
● リバーブをON/OFFする

1. Sound画面の  (メニュー) ボタンをタップします。
サウンドメニュー画面が表示されます。



サウンドメニュー画面

- ① **リバーブ設定ボタン**
リバーブ画面を表示します。(P. 25)
- ② **リバーブON/OFFスイッチ**
リバーブ動作をON/OFFします。(P. 25)
- ③ **エフェクト設定ボタン**
エフェクト画面を表示します。(P. 28)
- ④ **エフェクトON/OFFスイッチ**
エフェクト動作をON/OFFします。(P. 27)
- ⑤ **トランスポーズ**
キートランスポーズの値を設定します。(P. 102)
設定値を数字で表示します。
- ⑥ **キーボードセッティング**
キーボードセッティング画面を表示します。(P. 103)
※ Single選択時には表示されません。
- ⑦ **コンサートチューナー**
コンサートチューナー(サウンド)画面を表示します。
(P. 105)
- ⑧ **サウンドセッティング**
サウンドセッティング(サウンド)画面を表示します。
(P. 128)



⑨ セッティング

セッティング(サウンド)画面を表示します。(P.138)

⑩ フェイバリットへ保存

現在の状態をフェイバリットに保存します。(P.78)

⑪ ✕(閉じる)ボタン

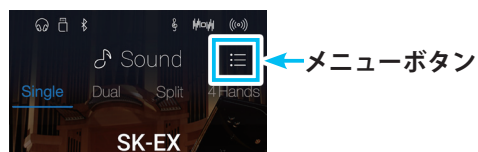
Sound画面に戻ります。

- リバーブ効果をかけるときには、サウンドメニュー画面のリバーブON/OFFスイッチのONをタップします。OFFにするときにはOFFをタップします。
- 画面一番下の✕(閉じる)ボタンをタップします。Sound画面に戻ります。



● リバーブの設定を変更する

- Sound画面の☰(メニュー)ボタンをタップします。サウンドメニュー画面が表示されます。サウンドメニュー画面の詳細は「サウンドメニュー画面」(P.24)をご覧ください。
- リバーブ設定ボタンをタップします。リバーブ画面が表示されます。



リバーブ画面

① 戻るボタン

サウンドメニュー画面に戻ります。

② タイプ

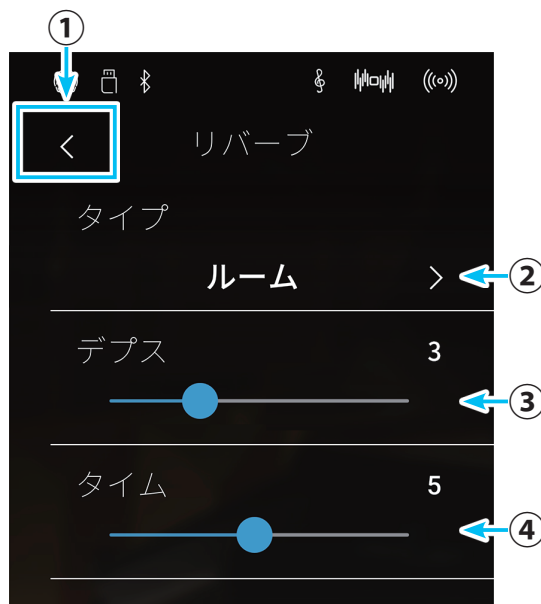
左右にスワイプしてリバーブタイプを選択します。中央にリバーブタイプが表示されます。

③ デプス

スライダーを動かしてリバーブの深さを設定します。

④ タイム

スライダーでリバーブタイムを設定します。



演奏を楽しむ前に

- リバーブ画面で、リバーブタイプ、深さ、タイムの各項目を設定します。
- < (戻る) ボタンをタップします。
サウンドメニュー画面に戻ります。



● 変更項目と効果

変更項目	効果
デプス	かかり具合が大きくなります。
タイム	効果時間が長くなります。


■ エフェクト

リバーブ以外にも音にさまざまな効果を加えることができます。このような効果を「エフェクト」といいます。本機は24種類のエフェクトを用意しています。

● エフェクトの種類

タイプ	効果
モノラルディレイ	音に山びこのような反響音を加える効果です。
ピンポンディレイ	音が左右交互に反響する効果です。
トリプルディレイ	音が中央、右、左の順に反響する効果です。
コーラス	原音にピッチのゆらぎを持つ音をあわせることにより、音に広がりを加える効果です。
クラシックコーラス	往年のコーラスをデジタル信号処理により再現した効果です。
アンサンブル	3相のコーラスにより、音に豊かさを与える効果です。
トレモロ	音量にゆらぎを与える効果です。
クラシクトレモロ	往年のトレモロをデジタル信号処理により再現した効果です。
ビブラートトレモロ	トレモロにビブラートを加えた効果です。
トレモロ+アンプ	アンプによる音の変化を再現し、トレモロと組み合わせた効果です。
オートパン	音の聞こえる位置を周期的に変化させる効果です。
クラシックオートパン	往年のオートパンをデジタル信号処理により再現した効果です。
オートパン+アンプ	アンプによる音の変化を再現し、オートパンと組み合わせた効果です。
フェイザー+オートパン	フェイザーにオートパンを加えた効果です。
フェイザー	原音に位相のずれた音をあわせることにより、音を飛び回らせる効果です。
クラシックフェイザー	往年のフェイザーをデジタル信号処理により再現した効果です。
フェイザー+アンプ	アンプによる音の変化を再現し、フェイザーと組み合わせた効果です。
フェイザー+コーラス	フェイザーにコーラスを加えた効果です。
ロータリー1	ロータリー(回転式)スピーカーによる音の変化を再現した効果です。 ソフトペダル(左のペダル)を踏むことによって回転の速さを切り換えることができます。
ロータリー2	ロータリー1に少しの歪を加えた効果です。
ロータリー3	ロータリー2にさらに歪を加えた効果です。
ロータリー4	ロータリー1にコーラスを加えた効果です。
ロータリー5	ロータリー2にコーラスを加えた効果です。
ロータリー6	ロータリー3にコーラスを加えた効果です。

● エフェクトをON/OFFする

1. Sound画面の  (メニュー) ボタンをタップします。
サウンドメニュー画面が表示されます。
サウンドメニュー画面の詳細は「サウンドメニュー画面」
(P. 24)をご覧ください。



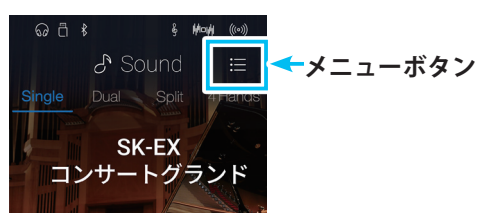
演奏を楽しむ前に

2. エフェクトをかけるときには、サウンドメニュー画面のエフェクトON/OFFスイッチのONをタップします。OFFにするときにはOFFをタップします。
3. 画面一番下の×(閉じる)ボタンをタップします。Sound画面に戻ります。



● エフェクトの設定を変更する

1. Sound画面の☰(メニュー)ボタンをタップします。サウンドメニュー画面が表示されます。サウンドメニュー画面の詳細は「サウンドメニュー画面」(P.24)をご覧ください。
2. エフェクト設定ボタンをタップします。エフェクト画面が表示されます。



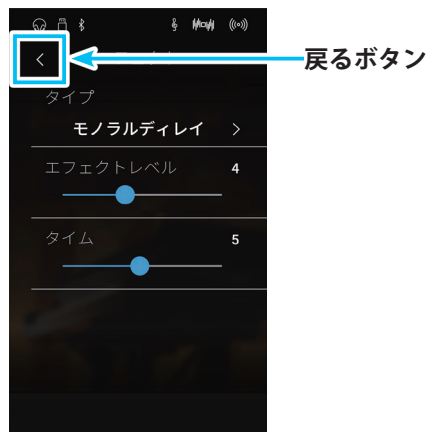
エフェクト画面

- ① 戻るボタン
サウンドメニュー画面に戻ります。
- ② エフェクトタイプ
左右にスワイプしてエフェクトのタイプを選択します。中央に選択したエフェクトタイプが表示されます。
- ③ 変更項目1
スライダーを動かして値を設定します。選択したエフェクトによって、設定値と効果は異なります。
- ④ 変更項目2
スライダーを動かして値を設定します。選択したエフェクトによって、設定値と効果は異なります。



3. エフェクト画面で、タイプ、変更項目の各項目を設定します。

4. < (戻る) ボタンをタップします。
サウンドメニュー画面に戻ります。



● 各エフェクトの変更項目と変化


変更できる項目と値を変更したときの変化は以下のとおりです。

エフェクト名	変更項目	効果 (数字を大きくした場合)
ディレイ3種	エフェクトレベル	かかり具合が深くなります。
	タイム	反響音の間隔が長くなります。
コーラス、アンサンブル	エフェクトレベル	かかり具合が深くなります。
	スピード	ゆらぎのスピードが速くなります。
クラシックコーラス	モノラル/ステレオ	音の広がりが増します。
	スピード	ゆらぎのスピードが速くなります。
トレモロ3種、 オートパン2種、フェイザー2種	エフェクトレベル	かかり具合が深くなります。
	スピード	ゆらぎやうねりのスピードが速くなります。
ロータリー6種	アクセルスピード	遅い方⇔速い方へ変化する際のスピードが速くなります。
	ロータリースピード	速い方のスピードが増します。
[エフェクト]+[エフェクト]	エフェクトレベル	かかり具合が深くなります。
[エフェクト]+アンプ	スピード	ゆらぎやうねりのスピードが速くなります。

いろいろな演奏方法

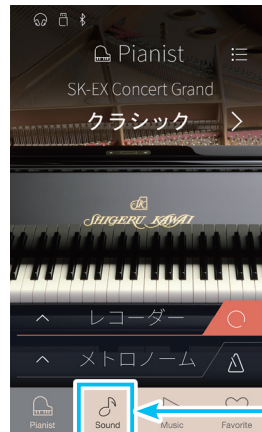
本機は、通常の演奏方法に加えて、2つの音色を重ね合わせるデュアル演奏や鍵盤を2つに分けて演奏するスプリットや連弾などさまざまな演奏を楽しむことができます。

■ Sound画面に切り替える

タブバーの  (Sound) ボタンをタップします。

Sound画面が表示されます。

通常はSoundボタンを押すと、シングルモードで演奏できる状態になっています。ただし、フェイバリットなどで起動時の設定を変更した場合にはこの限りではありません。



Soundボタン

1. 通常演奏(シングルモード)

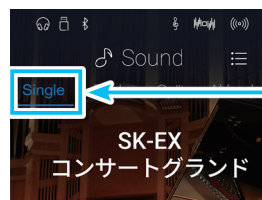
通常のピアノの演奏方法です。

■ シングルモードで演奏する

1. Sound画面のSingleボタンをタップします。

Sound (Single)画面が表示されます。

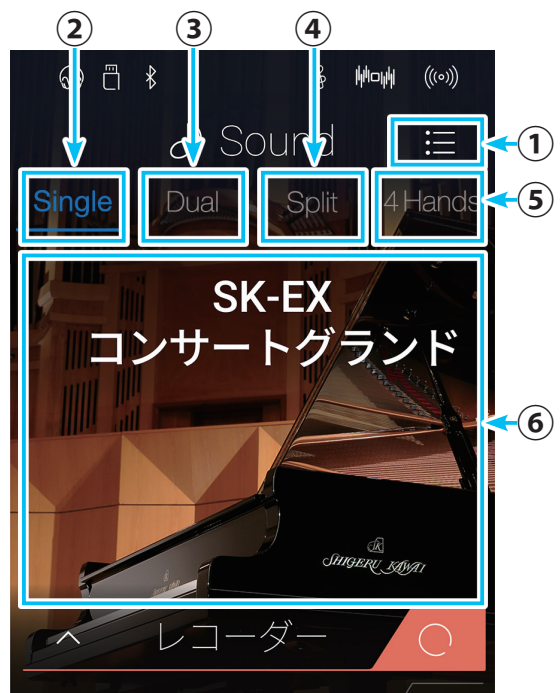
通常は本機を起動すると、シングルモードで演奏できる状態になっています。ただし、フェイバリットなどで起動時の設定を変更した場合にはこの限りではありません。



Singleボタン

Sound (Single) 画面

- ① **メニューボタン**
サウンドメニュー画面を表示します。
- ② **Single (シングル) ボタン**
シングルモードを選択中であることを表示しています。
- ③ **Dual (デュアル) ボタン**
Sound (Dual)画面を表示します。
- ④ **Split (スプリット) ボタン**
Sound (Split)画面を表示します。
- ⑤ **4Hands (4ハズ) ボタン**
Sound (4Hands)画面を表示します。
- ⑥ **音色表示**
選択している音色名と音色画像を表示します。



■ 音色を変更する

音色の変更方法は以下のとおり2種類あります。

<方法1>

音色表示を左右または上下にスワイプして音色を変更します。

<方法2>

1. Sound画面の音色表示に指をおくと音色画像が縮小し、サウンド選択画面になります。
2. サウンド選択画面上で左右または上下に指を動かして音色を変更します。
3. 目的の音色の音色画像を画面中央にセットして音色を確定します。

サウンド選択画面

① 音色選択



2. デュアル演奏

デュアル演奏とは2つの音色を重ね合わせる機能です。2つの音色を同時に発音させメロディーをデュエットさせたり、同系統の音色を混ぜて厚みのある音を作り出すことで音楽表現の幅が広がります。

■ デュアル演奏モードに入る

デュアル演奏での2つの音色の変更、音量バランス、オクターブやタッチの変更は、Sound (Dual) 画面で行います。

1. Sound画面のDualボタンをタップします。
Sound (Dual) 画面が表示されます。



Sound (Dual) 画面

- ① **メニューボタン**
サウンドメニュー画面を表示します。
- ② **Singleボタン**
Sound (Single) 画面を表示します。
- ③ **Dualボタン**
Dualを選択中であることを表示しています。
- ④ **Splitボタン**
Sound (Split) 画面を表示します。
- ⑤ **4Handsボタン**
Sound (4Hands) 画面を表示します。
- ⑥ **main音色表示(画面の上半分)**
選択しているmain音色名と音色画像を表示します。
左右または上下にスワイプするとデュアルモードのサウンド選択画面へ移動します。
- ⑦ **layered音色表示(画面の下半分)**
選択しているlayered音色名と音色画像を表示します。
左右または上下にスワイプするとデュアルモードのサウンド選択画面へ移動します。



■ デュアル演奏の音色を変更する

サウンド選択(デュアル)画面で音色を変更します。

1. Sound画面の音色表示を任意の方向にスワイプします。
サウンド選択(デュアル)画面が表示されます。

サウンド選択(デュアル)画面

① main音色選択

左右または上下にスワイプして音色を変更します。
指を離すと選択が確定し、Sound (Dual)画面に戻ります。

② layered音色選択

左右または上下にスワイプして音色を変更します。
指を離すと選択が確定し、Sound (Dual)画面に戻ります。

2. 変更したい方の音色選択をスワイプして、目的の音色を選択します。
指を放すと音色画像が拡大し、デュアルモードのSound画面に戻ります。
main、layeredの音色を一度に変更することはできません。
両方とも変更するときには、手順1からの操作を繰り返してください。



いろいろな演奏方法

■ デュアル演奏の設定を変更する

デュアル演奏では、以下の設定を行うことができます。

種類	初期設定	説明
バランス	9-9	2つの音色の音量バランスを設定します。
レイヤーオクターブシフト	0	デュアル演奏において、2番目の音色の音域をオクターブ単位で移動します。例えば「SK-EXコンサートグランド」と「ストリングアンサンブル」をデュアルで重ねて演奏するとき、ストリングアンサンブルの音色だけをオクターブ上げて(あるいは下げて)演奏することができます。
レイヤーダイナミクス	10	デュアル演奏において、2番目の音色のタッチ変化の仕方を調整します。例えば、「SK-EXコンサートグランド」と「ストリングアンサンブル」をデュアルで重ねて演奏するとき「ストリングアンサンブル」のタッチ変化の度合いを少なくすることにより、ダイナミックなピアノ音色をより強調した演奏をすることができます。

いろいろな演奏方法

1. Sound (Dual) 画面で、☰ (メニュー) ボタンをタップします。
サウンドメニュー画面が表示されます。
2. キーボードセッティングをタップします。
キーボードセッティング(デュアル)画面が表示されます。



キーボード
セッティング

キーボードセッティング(デュアル)画面

- ① 戻るボタン
サウンドメニュー画面に戻ります。
- ② バランス
スライダーを左右に動かしてmainとlayeredの音量バランスを設定します。設定値が数字で表示されます。
- ③ レイヤーオクターブシフト
スライダーを左右に動かしてレイヤーオクターブシフトの値を設定します。設定値が数字で表示されます。
- ④ レイヤーダイナミクス
スライダーを左右に動かしてレイヤーダイナミクスの値を設定します。設定値が数字で表示されます。



● バランスを調節する

mainの音色とlayeredの音色の、演奏時の音量バランスを調節します。

● レイヤーオクターブシフトを設定する

layeredの音色のオクターブを変更します。

-(マイナス)にするとオクターブが下がります。

※ レイヤーオクターブシフトでは、音色によっては高音域の音が設定したオクターブまで上がらない場合があります。

● レイヤーダイナミクスを設定する

layeredの音色のタッチ変化を調節します。数字が小さいほどタッチ変化の幅が小さくなります。

※ レイヤーダイナミクスの設定値10は単独で演奏した場合と同じダイナミクスになります。

3. スプリット演奏

スプリット演奏とは鍵盤を左右2つに分け、別々の音色を設定し演奏をすることです。低音側でベースパートを、高音側でメロディーパートを演奏したりすることができます。また鍵盤が分かれる位置を「スプリットポイント」といいます。初期設定ではスプリットポイントはC4(ド)に設定されています。

■ スプリット演奏モードに入る

1. Sound画面のSplitボタンをタップします。
Sound (Split) 画面が表示されます。



Sound (Split) 画面

- ① **メニューボタン**
サウンドメニュー画面を表示します。
- ② **Singleボタン**
Sound (Single) 画面を表示します。
- ③ **Dualボタン**
Sound (Dual) 画面を表示します。
- ④ **Splitボタン**
スプリットモードを選択中であることを表示しています。
- ⑤ **4Handsボタン**
Sound (4Hands) 画面を表示します。
- ⑥ **upper音色表示**
選択しているupper音色名と音色画像を表示します。
左右または上下にスワイプするとサウンド選択(スプリット)画面へ移動します。
- ⑦ **lower音色表示**
選択しているlower音色名と音色画像を表示します。
左右または上下にスワイプするとサウンド選択(スプリット)画面へ移動します。



■ スプリット演奏の音色を変更する

サウンド選択(スプリット)画面で音色を変更します。

1. Sound画面の音色表示を任意の方向にスワイプします。
サウンド選択(スプリット)画面が表示されます。

サウンド選択(スプリット)画面

① upper音色選択

左右または上下にスワイプして音色を変更します。
指を離すと選択が確定し、Sound (Split)画面に戻ります。

② lower音色選択

左右または上下にスワイプして音色を変更します。
指を離すと選択が確定し、Sound (Split)画面に戻ります。

2. 変更したい方の音色選択をスワイプして、目的の音色を選択します。
指を放すと音色画像が拡大し、Sound (Split)画面に戻ります。
upper、lowerの音色を一度に変更することはできません。
両方とも変更するときは、手順1からの操作を繰り返してください。



■ スプリット演奏の設定を変更する

スプリット演奏では下記の設定を行うことができます。

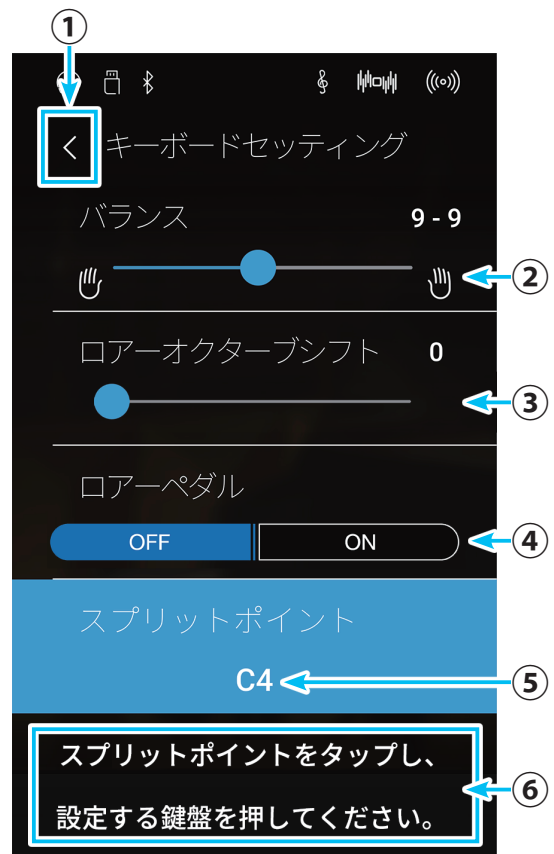
種類	初期設定	説明
バランス	9-9	2つの音色の音量バランスを設定します。
ロアーオクターブシフト	0	スプリット演奏時に低音側鍵盤の音域をオクターブ単位で移動します。
ロアーペダルのON/OFF	オフ	スプリット演奏時において、ペダルを使用した際、低音側鍵盤の音にペダル機能のオン/オフを設定します。 高音側鍵盤のペダル機能は常にオンとなります。
スプリットポイント	C4	スプリットポイントを設定します。

1. Sound (Split) 画面で、☰ (メニュー) ボタンをタップします。
サウンドメニュー画面が表示されます。
2. キーボードセッティングをタップします。
キーボードセッティング(スプリット)画面が表示されます。



キーボードセッティング(スプリット)画面

- ① 戻るボタン
サウンドメニュー画面に戻ります。
- ② バランス
スライダーを左右に動かして音量バランスを設定します。設定値が数字で表示されます。
- ③ ロアーオクターブシフト
スライダーでロアーオクターブシフトの値を設定します。設定値を数字で表示します。
- ④ ロアーペダルON/OFFスイッチ
ロアーペダルのON/OFFを設定します。
- ⑤ スプリットポイント
現在スプリットポイントに設定されている鍵盤番号が表示されます。タップするとスプリットポイントを変更することができます。
- ⑥ 操作ガイド
スプリットポイントの変更操作の説明を表示します。



いろいろな演奏方法

● バランスを調節する

高音側の音色と低音側の音色の音量バランスを設定します。

● ロアークターブシフトを設定する

スプリット演奏時に低音側鍵盤の音域をオクターブ単位で移動します。
オクターブ値を「0～3」の間で設定できます。

※ スプリットモードでLowerと表示されている音色のオクターブが変わります。

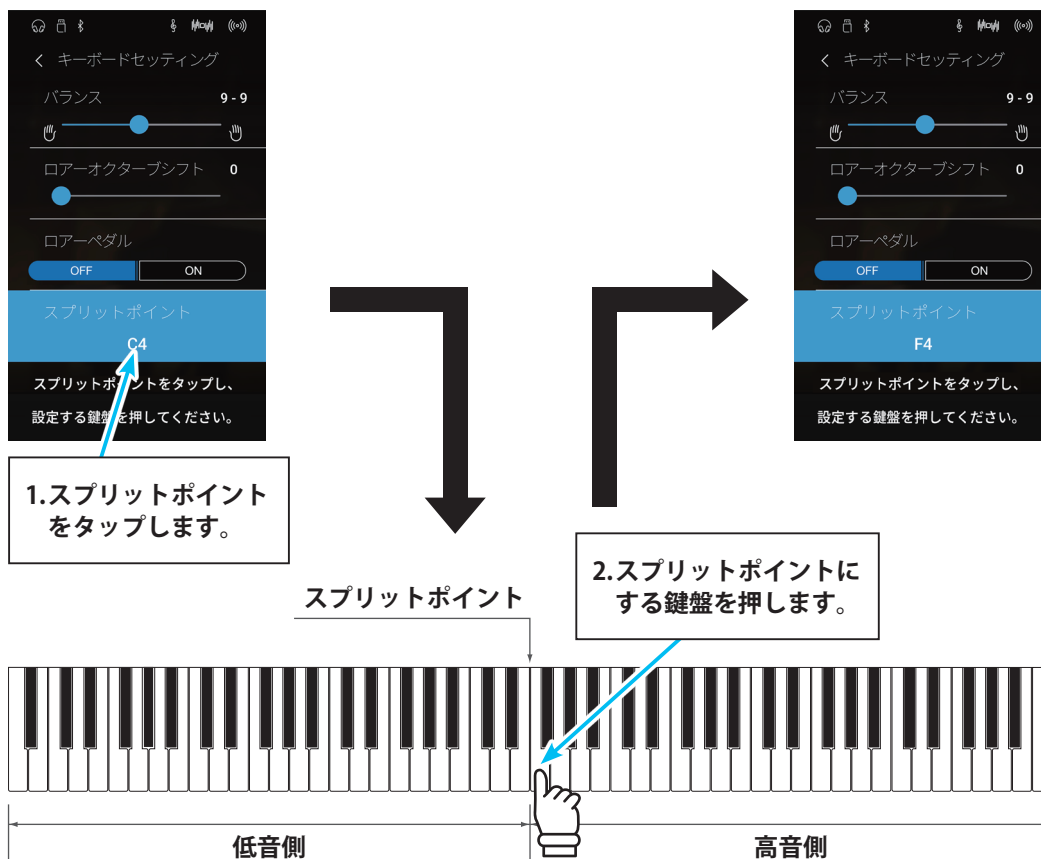
● ロアークターブシフトを設定する

スプリット演奏時に低音側鍵盤の音にペダル機能のオン/ オフを設定します。
高音側鍵盤のペダル機能は常にオンとなります。

※ オンにすると、ペダルを踏んで演奏した時に低音側鍵盤の音にもペダル機能が働きます。オフにすると、低音側鍵盤の音にはペダル機能が働かず、高音側鍵盤の音にのみペダル機能が働きます。

● スプリットポイントを変更する

1. スプリットポイントボタンをタップします。
2. 続いてスプリットポイントに設定したい鍵盤(高音側の最低音)を押して、スプリットポイントを変更します。



いろいろな演奏方法

4. 4ハンズモード(連弾演奏)

4ハンズモードとは鍵盤を左右2つに分け、それぞれ同じ音域で演奏することです。この時ダンパーペダル(右ペダル)は右側の鍵盤のダンパーペダルとして、ソフトペダル(左ペダル)は左側の鍵盤のダンパーペダルとして動作しますので、まるで2台のピアノのように使うことができます。初期設定ではスプリットポイントはF4(ファ)に設定されています。

■ 4ハンズモードに入る

1. Sound画面の4Handsボタンをタップします。
Sound (4Hands)画面が表示されます。



Sound (4Hands)画面

- ① **メニューボタン**
サウンドメニュー画面を表示します。
- ② **Singleボタン**
Sound (Single)画面を表示します。
- ③ **Dualボタン**
Sound (Dual)画面を表示します。
- ④ **Splitボタン**
Sound (Split)画面を表示します。
- ⑤ **4Handsボタン**
4ハンズモードを選択中であることを表示しています。
- ⑥ **right音色表示**
選択しているright音色名と音色画像を表示します。
左右または上下にスワイプするとサウンド選択(4ハンズ)を表示します。
- ⑦ **left音色表示**
選択しているleft音色名と音色画像を表示します。
左右または上下にスワイプするとサウンド選択(4ハンズ)を表示します。



※ スプリットモードと4ハンズモードの各設定方法は似ていますが、それぞれ個別に設定されます。例えばスプリットモードで設定した音量バランスは、4ハンズモードの音量バランスに影響しません。

■ 右側・左側の音色を変更する

サウンド選択(4ハンズ)画面で音色を変更します。

1. Sound画面の音色表示を任意の方向にスワイプします。
サウンド選択(4ハンズ)画面が表示されます。

サウンド選択(4ハンズ)画面

① right音色選択

左右または上下にスワイプして音色を変更します。
指を離すと選択が確定し、Sound(4Hands)画面に戻ります。

② left音色選択

左右または上下にスワイプして音色を変更します。
指を離すと選択が確定し、Sound(4Hands)画面に戻ります。

2. 変更したい方の音色選択をスワイプして、目的の音色を選択します。
指を放すと音色画像が拡大し、Sound(4Hands)画面に戻ります。
right、leftの音色を一度に変更することはできません。両方とも変更するときは、手順1からの操作を繰り返してください。



■ 4ハンズ演奏の設定を変更する

4ハンズ演奏では下記の設定を行うことができます。

種類	初期設定	説明
バランス	9-9	2つの音色の音量バランスを設定します。
ライトオクターブシフト	-2	右側鍵盤の音域をオクターブ単位で移動します。
レフトオクターブシフト	2	左側鍵盤の音域をオクターブ単位で移動します。
スプリットポイント	F4	スプリットポイントを設定します。

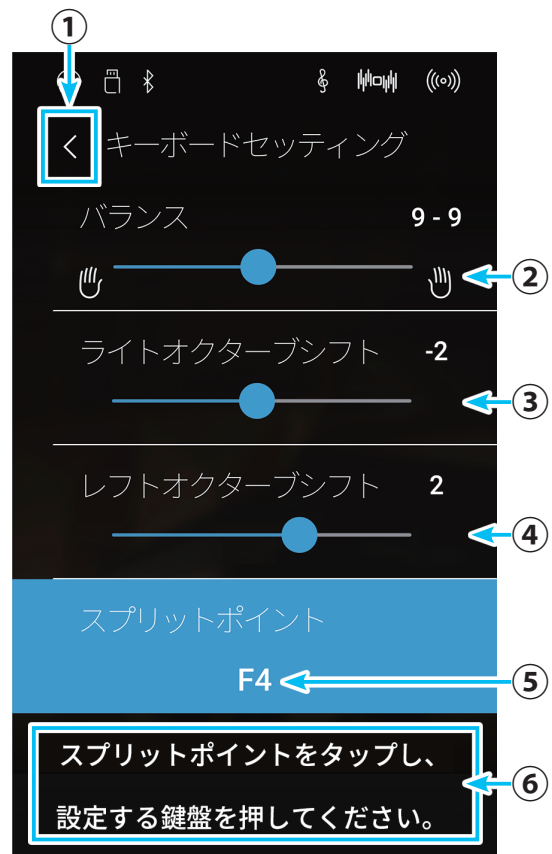
1. Sound (4Hands) 画面で、☰ (メニュー) ボタンをタップします。
サウンドメニュー画面が表示されます。
2. キーボードセッティングをタップします。
キーボードセッティング(4ハンズ)画面が表示されます。



キーボード
セッティング

キーボードセッティング(4ハンズ)画面

- ① 戻るボタン
サウンドメニュー画面に戻ります。
- ② バランス
スライダーを左右に動かして音量バランスを設定します。設定値が数字で表示されます。
- ③ ライトオクターブシフト
スライダーを左右に動かしてライトオクターブシフトを設定します。設定値を数字で表示します。
- ④ レフトオクターブシフト
スライダーを左右に動かしてレフトオクターブシフトを設定します。設定値を数字で表示します。
- ⑤ スプリットポイント
現在スプリットポイントに設定されている鍵盤番号が表示されます。タップするとスプリットポイントを変更することができます。
- ⑥ 操作ガイド
スプリットポイントの変更操作の説明を表示します。



いろいろな演奏方法

● バランスを調節する

右側の音色と左側の音色の、演奏時の音量バランスを調節します。

● ライトオクターブシフトを設定する

「-3～0」の間で設定します。

4ハンズ演奏で右側の音色のオクターブが変わります。

● レフトオクターブシフトを設定する

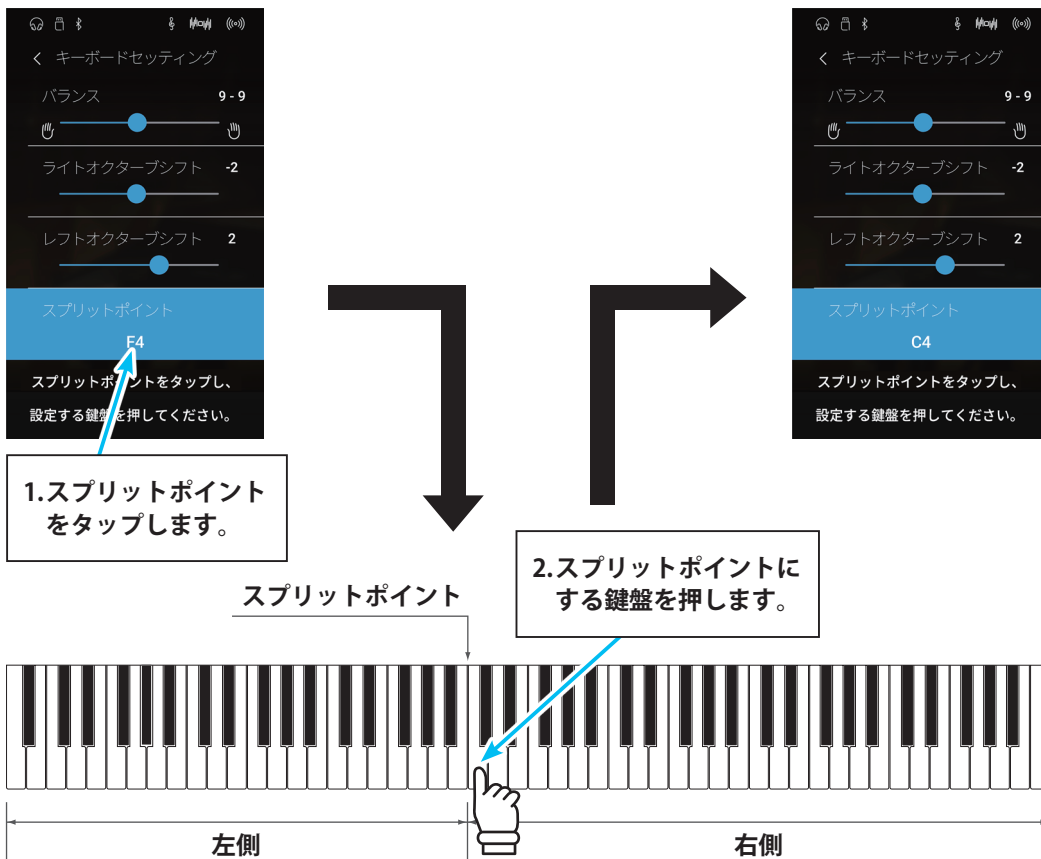
「0～3」の間で設定します。

4ハンズ演奏で左側の音色のオクターブが変わります。

● スプリットポイントを変更する

1. スプリットポイントボタンをタップします。

2. 続いてスプリットポイントに設定したい鍵盤(右側の最低音)を押して、スプリットポイントを変更します。




いろいろな演奏方法

いろいろな機能を楽しむ

NV10には音色ごとのデモ曲、発表会などで演奏されることの多い曲、レッスンに使用されることの多い曲などを内蔵しています。レッスンに便利な機能や手軽に本格的な演奏を可能にする機能を備えています。これらの曲を鑑賞したり、一緒に演奏したり、レッスン機能や演奏をサポートする機能など、本機のいろいろな演奏機能をご紹介します。

■ Music画面を表示する

デモ曲や演奏機能を利用するための入り口になるのがMusic画面です。

1. タブバーの  (Music) ボタンをタップします。
Music画面が表示されます。



Music画面

- ① **デモソング**
内蔵されているデモ曲を鑑賞します。(P. 44)
- ② **ピアノミュージック**
本機には発表会などで演奏されることの多いピアノ曲が収録されています。これらを鑑賞します。(P. 46)
- ③ **レッスン**
内蔵されている練習曲とさまざまなレッスン機能を利用してレッスンをを行います。(P. 48)
- ④ **コンサートマジック**
指一本で本格的なピアノ演奏を可能にするコンサートマジック機能を利用して演奏を楽しみます。(P. 55)
- ⑤ **レコーダープレイバック**
本機で録音した演奏を再生します。(P. 61)
- ⑥ **USBメモリープレーヤー**
本機に接続されたUSBメモリに記録された演奏などを再生します。(P. 70)
※ USBメモリが接続されていないときは表示されません。




いろいろな機能を楽しむ

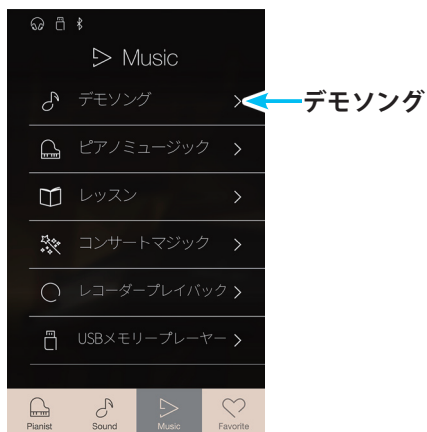
次ページから各機能ごとに説明します。

1. デモ曲を聴く

各音色ごとにデモ曲を内蔵しています。それぞれの音色にあったデモ演奏をお楽しみください。内蔵デモ曲については「3. デモ曲一覧」(P.158)をご参照ください。

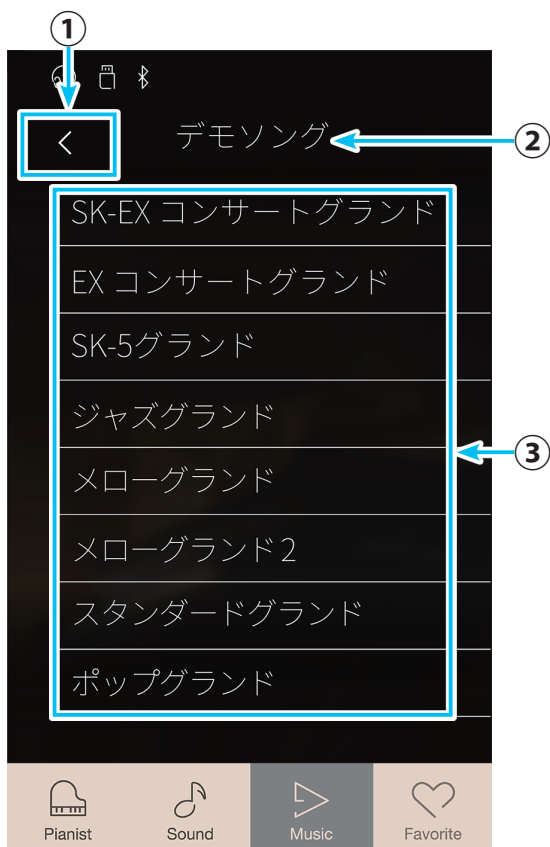
■ デモ曲モードに入る

1. Music画面で  デモソングをタップします。
選曲画面が表示されます。



選曲画面

- ① 戻るボタン
Music画面に戻ります。
- ② モード名
Music画面で選択したモード名が表示されます。
- ③ 曲目リスト
収録されている曲目のリストです。
選択したモードにより表示される曲目は異なります。

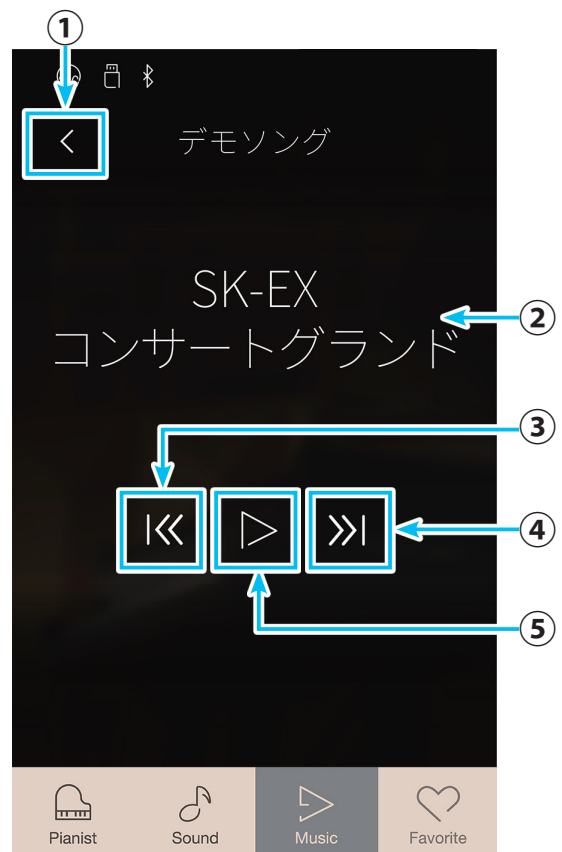


いろいろな機能を楽しむ

2. 曲目リストの中から聴きたい曲をタップします。
ミュージックプレイ(デモソング)画面が表示され、曲が再生されます。

ミュージックプレイ(デモソング)画面

- ① **戻るボタン**
Music画面に戻ります。
- ② **音色名表示**
選択中の音色名を表示します。
- ③ **1曲戻るボタン**
1曲前の曲に移ります。
- ④ **1曲進むボタン**
1曲次の曲に移ります。
- ⑤ **再生/停止ボタン**
デモ演奏を再生/停止します。
タップするたびに再生/停止が切り替わります。
3. ▶(再生)ボタンをタップします。
デモ曲が再生されます。
再生を止めるときは、◻(停止)ボタンをタップします。




■ デモ演奏を停止してデモ曲モードを終了する

- デモ曲の再生中に◻(停止)ボタンをタップするとデモ曲が停止します。
◀(戻る)ボタンをタップすると選曲画面に戻ります。

2. ピアノミュージックを聴く

NV10には発表会などでよく演奏される曲を中心に、バロック時代のラモーの作品からロマン派のショパンまでの作品29曲を内蔵しています。また対応楽譜「CLASSICAL PIANO COLLECTION」を付属しています。鑑賞や練習にご活用ください。曲名については「4. ピアノミュージック/レッスン曲集一覧」(P. 159)をご参照ください。

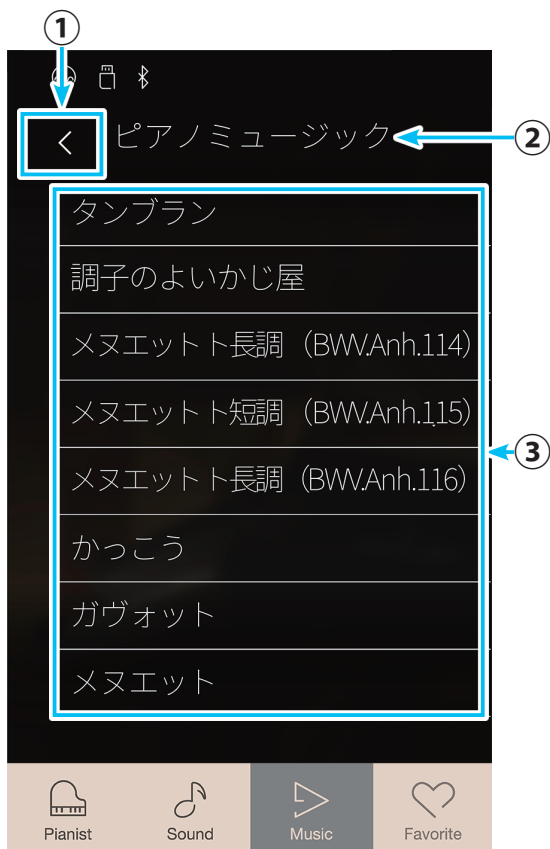
■ ピアノミュージックモードに入る

1. Music画面で  ピアノミュージックをタップします。選曲画面が表示されます。



選曲画面

- ① 戻るボタン
Music画面に戻ります。
- ② モード名
Music画面で選択したモード名が表示されます。
- ③ 曲目リスト
収録されている曲目のリストです。
選択したモードにより表示される曲目は異なります。

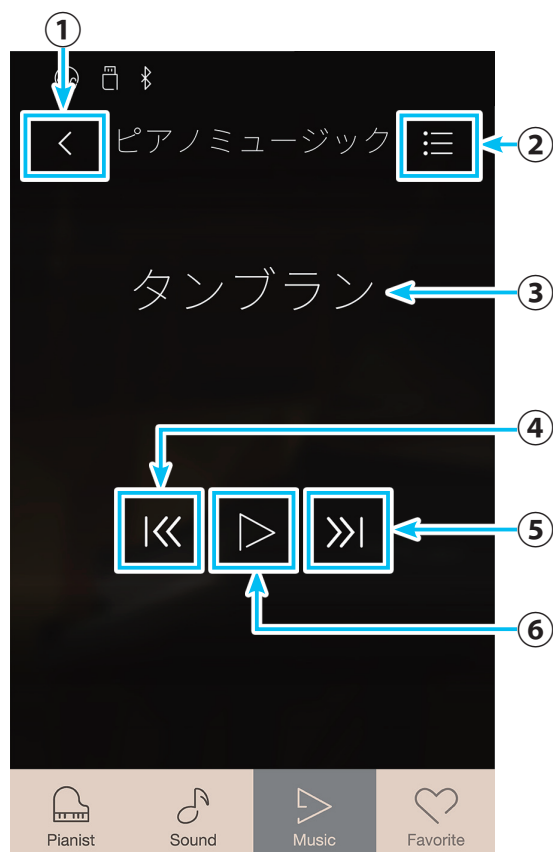


いろいろな機能を楽しむ

2. 曲目リストの中から聴きたい曲をタップします。
ミュージックプレイ(ピアノミュージック)画面が表示され、
曲が再生されます。

ミュージックプレイ(ピアノミュージック)画面

- ① 戻るボタン
Music画面に戻ります。
 - ② ミュージックメニューボタン
ミュージックメニュー画面を表示します。
左右の音量バランスを調整します。
 - ③ 曲名表示
選択中の曲名を表示します。
 - ④ 1曲戻るボタン
1曲前の曲に移ります。
 - ⑤ 1曲進むボタン
1曲次の曲に移ります。
 - ⑥ 再生/停止ボタン
デモ演奏を再生/停止します。
タップするたびに再生/停止が切り替わります。
3. ▶(再生)ボタンをタップします。
選択した曲が再生されます。
再生を止めるときは、◻(停止)ボタンをタップします。



■ 演奏を停止してピアノミュージックモードを終了する

- 曲の再生中に再生中に◻(停止)ボタンをタップすると演奏が停止します。
◀(戻る)ボタンをタップすると選曲画面に戻ります。

3. レッスン

NV10はピアノの上達に役立つ練習曲を内蔵しており、楽しみながら様々なレッスンを行うことができます。レッスン曲集の種類については「4. ピアノミュージック/レッスン曲集一覧」(P. 159)をご参照ください。

■ レッスン機能でできること

内蔵曲集から1曲を選んで次のような練習ができます。

1. 見本曲を再生して曲想を覚える。
2. 見本曲の左手(右手)パートを再生しながら右手(左手)パートを練習する。
3. テンポを変更して練習する。
4. 曲の途中の部分を繰り返して練習する。
5. 見本曲の左手(右手)パートを再生しながら右手(左手)パートの演奏を録音して聴いてみる。

※ これら練習曲のテンポは、お子様が無理なく練習できるように一部の曲を除いて遅くしてあります。


※ 設定されているテンポよりも遅くして再生した時、ブルクミュラーの一部の曲ではフェルマータの長さが変わらない場合があります。

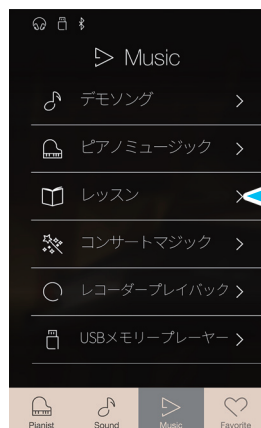
※ 練習時にお子様の指に無理な負担をかけないように、チェルニーの一部の曲を除いて強打時(フォルテ)の音量を下げています。

※ バッハ・インヴェンションの強弱記号などの表現記号については、カワイ出版楽譜、他を参考にしています。

※ ショパン・ワルツ集では、ワルツ独特のリズムの揺れやフレーズの抑揚を表現するため、演奏がメトロノームとずれています。メトロノームは速度表現のガイドとしてご利用ください。

■ レッスンモードに入る

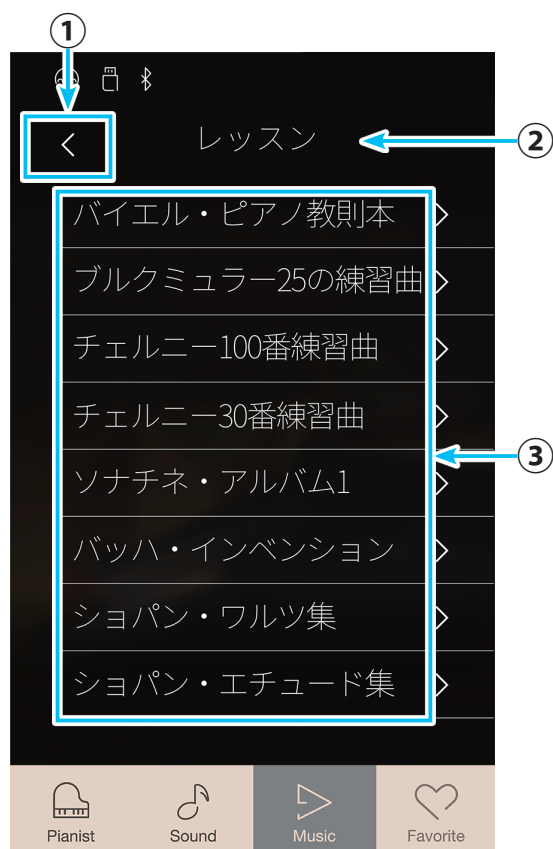
1. Music画面で  レッスンをタップします。
選曲画面が表示されます。



レッスン

選曲画面

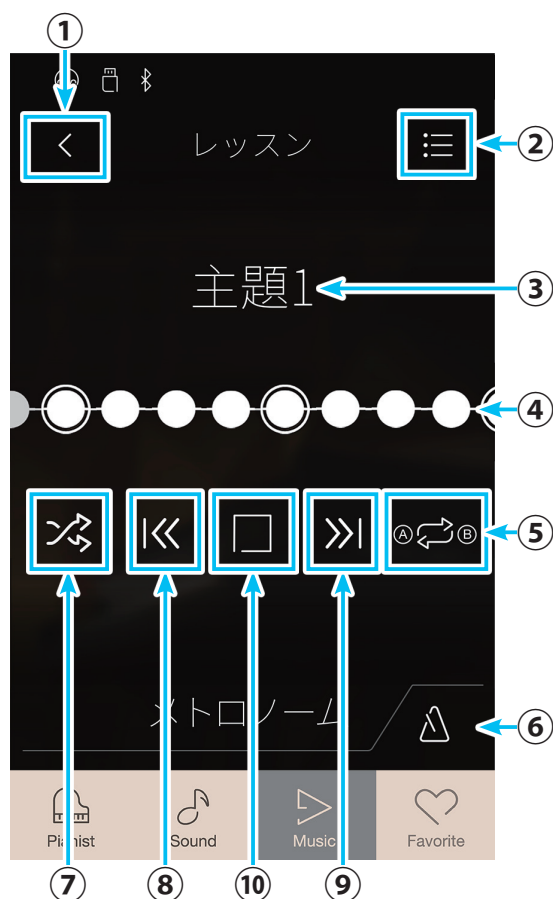
- ① 戻るボタン**
Music画面に戻ります。
- ② モード名**
Music画面で選択したモード名が表示されます。
- ③ 曲目リスト**
収録されている曲目のリストです。
選択したモードにより表示される曲目は異なります。



2. 曲目リストの中からレッスンに使用する曲をタップします。
ミュージックプレイ(レッスン)画面が表示され、レッスンモードに入ります。

ミュージックプレイ(レッスン)画面

- ① 戻るボタン**
選曲画面に戻ります。
- ② メニューボタン**
ミュージックメニュー画面を表示します。
- ③ 曲名表示**
再生する曲名を表示します。
- ④ ビートバー**
拍子を表示します。左右にスワイプして演奏位置を変更します。
- ⑤ A-Bリピートボタン**
指定した範囲を繰り返すリピート演奏でその範囲を指定します。
- ⑥ メトロノーム**
メトロノームのON/OFFや設定を行います。
- ⑦ 再生モードボタン**
再生モードを切り替えます。



いろいろな機能を楽しむ

いろいろな機能を楽しむ

⑧ 1曲戻るボタン

選曲画面の曲目リストの1つ前の曲に切り替えます。

⑨ 1曲進むボタン

選曲画面の曲目リストの1つ次の曲に切り替えます。

⑩ 再生/停止ボタン

タップするたびに演奏の再生/停止を切り替えます。

■ 練習曲を聴く

1. ▷ (再生) ボタンをタップします。

再生ボタンの表示が □ に変わり、メトロノームが1小節鳴った後、見本曲の演奏が始まります。

※ この間は現在の位置より1小節前の小節が表示されます。弱起の曲の場合、最初の小節位置はゼロになります。

※ 見本曲再生中はメトロノームが再生されません。メトロノームを鳴らしたい場合には、△ (メトロノームON/OFF) ボタンをタップしてメトロノームをONにします。

2. 再生を止めるときには □ (停止) ボタンをタップします。

停止ボタンの表示が ▷ に変わり、見本曲の再生が止まります。

3. もう一度 ▷ (再生) ボタンをタップすると、止めた小節の2小節前から再生が始まります。



■ レッスンモードを終了する

レッスンモードを終了するには、< (戻る) ボタンをタップします。

選曲画面に戻ります。



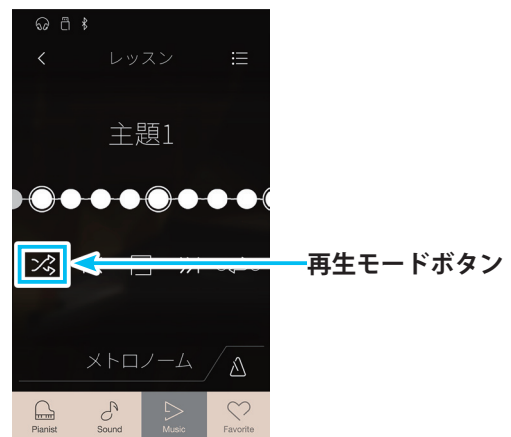
■ 再生モードを設定する

レッスンモードでは、下記の再生モードを設定することができます。

種類	説明
シングル	選択した曲を1度再生します。
1リピート	選択した曲をリピート再生します。
オールリピート	選択された曲目内にある曲をリピート再生します。
ランダム	選択された曲目内にある曲をランダム再生します。

ミュージックプレイ(レッスン)画面の再生モードボタンで設定します。

1. 再生モードボタンをタップします。
タップするたびに再生モードが切り替わります。
2. 目的の再生モードに設定します。



■ 練習曲の聴きたい範囲を繰り返し再生する

現在の曲の中の聴きたい範囲を選んで再生します。A-Bリピートボタンで聴きたい範囲を設定します。一度設定すると解除するまで設定範囲を繰り返し再生します。

1. 範囲を設定するために曲を再生します。
2. 範囲の始めの位置でA-Bリピートボタンをタップします。
ビートバーにAアイコンが表示されます。

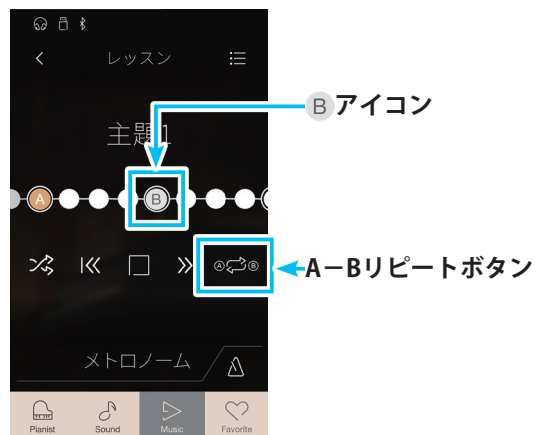


いろいろな機能を楽しむ

3. 範囲の終わりの位置でA-Bリピートボタンをタップします。ビートバーにBアイコンが表示されます。

AアイコンからBアイコンの範囲が繰り返し再生されます。

※ カウント・インのため、Aアイコンで選んだ小節の2小節前から再生されます。



4. 繰り返し再生を止めるときには、A-Bリピートボタンをタップします。

A-Bリピート再生が解除されます。



■ 片手で練習する

練習曲を聴きながら右手、左手別々に練習します。

右パート・左パートの音量バランスを変更することができます。右手パートを練習したいときは左パートのバランスを大きく、左手パートを練習したいときは右パートのバランスを大きくします。

1. ☰ (メニュー) ボタンをタップします。
ミュージックメニュー(レッスンソング)画面が表示されます。



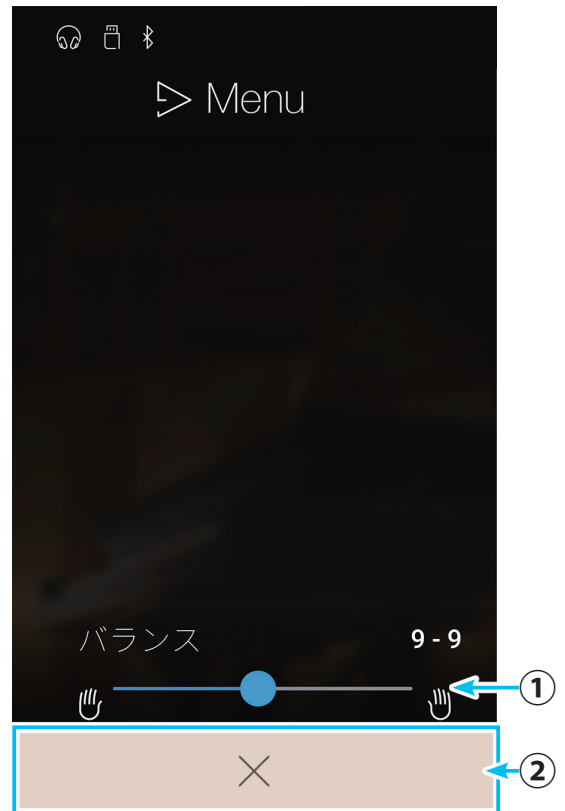
ミュージックメニュー(レッスンソング)画面

① バランス

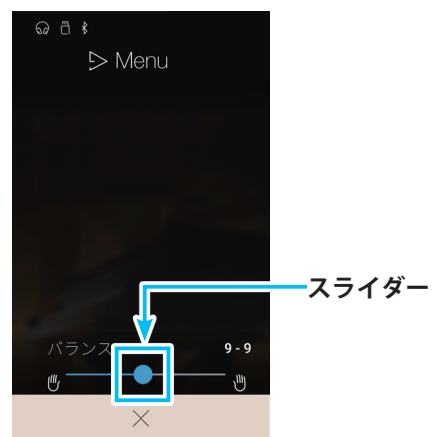
右手と左手の音量バランスを調節します。

② ✕(閉じる)ボタン

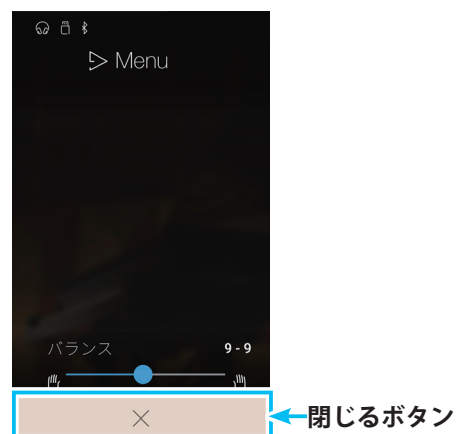
ミュージックメニュー画面を閉じてレッスン画面に戻ります。



2. バランスの●(スライダー)を左右にスワイプして左右の音量バランスを調節します。



3. バランスの調節後は✕(閉じる)ボタンをタップします。
ミュージックメニュー画面が閉じて、レッスン画面に戻ります。



● 練習曲の左手部分を再生しながら右手部分を練習したい場合

左の値を大きくすると練習曲の右手部分が小さくなり、ガイドメロディとなります。
値を9-1にすると右手部分は聴こえなくなり、ガイドメロディなしで練習できます。

● 練習曲の右手部分を再生しながら左手部分を練習したい場合

右の値を大きくすると練習曲の左手部分が小さくなり、ガイドメロディとなります。
値を1-9にすると左手部分は聴こえなくなり、ガイドメロディなしで練習できます。

※ 自分のパートの見本を再生しながら合わせて演奏した場合、弾く音程やタイミングによっては音質が変化することがありますが、これは故障ではありません。気になる場合は、練習曲の再生を小さくするか消してください。

※ バイエルの中で先生の伴奏がついている曲の場合には、左の値を大きくすると生徒のパートが小さくなり、右の値を大きくすると先生のパートが小さくなります。

4. コンサートマジック

コンサートマジックとは、指一本で本格的なピアノ演奏を可能にする画期的な機能です。NV10にはコンサートマジック曲を88曲内蔵しており、下記の3つのモードで演奏を楽しむことができます。曲名については「5. コンサートマジック曲目一覧」(P. 160)をご参照ください。

● マジカルタクトモード

一定の間隔で鍵盤を弾くことで演奏を進めることができます。弾く鍵盤はどの鍵盤でもかまいません。鍵盤を弾くタイミングや強さでテンポや強弱の表現を変えることができます。

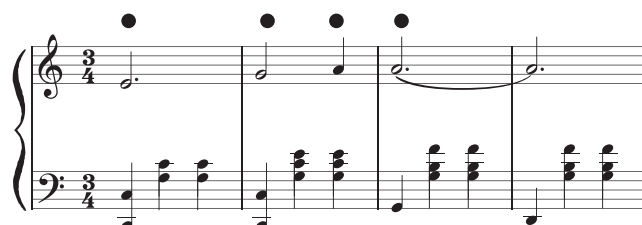
※「●」は鍵盤を弾くタイミングです。曲はスケーターズワルツです。



● マジカルメロディーモード

メロディーのタイミングに合わせて鍵盤を弾くことによって伴奏がついてきます。弾く鍵盤はどの鍵盤でもかまいません。鍵盤を弾くタイミングや強さでテンポや強弱の表現を変えることができます。

※「●」は鍵盤を弾くタイミングです。曲はスケーターズワルツです。




● マジカルメロディー&キーモード

メロディーのタイミングに合わせて鍵盤を弾くことによって伴奏がついてきます。弾いた鍵盤の音が出ますので正しい音を弾きましょう。

※モードの選び方は「■コンサートマジックを設定する」(P. 58)を参照してください。

■ コンサートマジックモードに入る

コンサートマジック曲の選択と演奏方法を説明します。

1. Music画面で  コンサートマジックをタップします。選曲画面が表示されます。

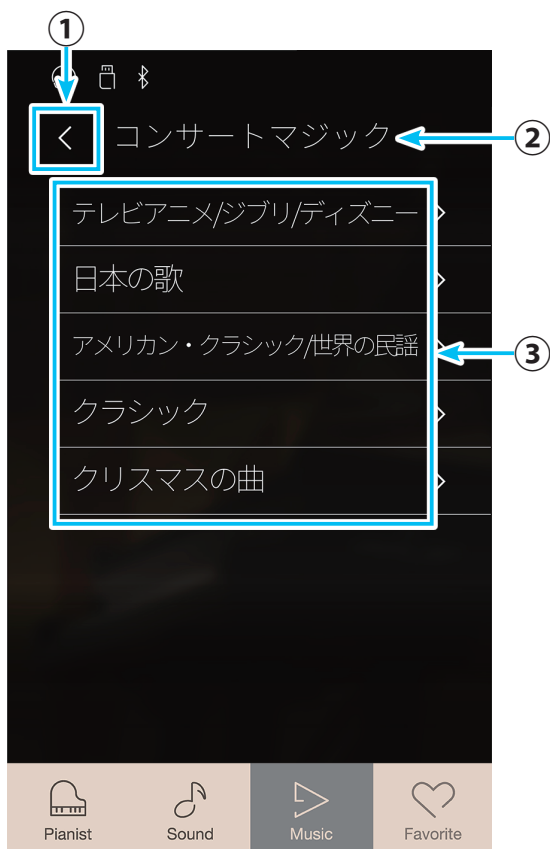


コンサートマジック

いろいろな機能を楽しむ

選曲画面

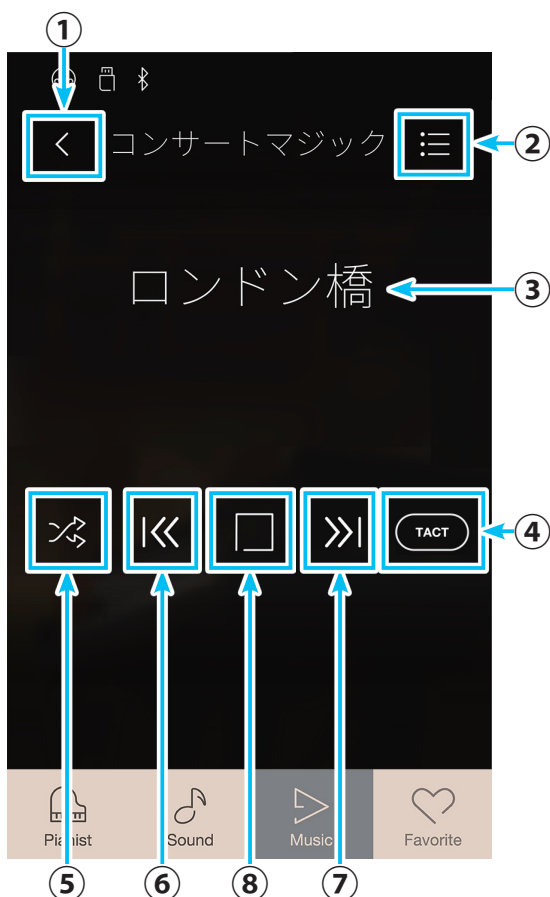
- ① **戻るボタン**
Music画面に戻ります。
- ② **モード名**
Music画面で選択したモード名が表示されます。
- ③ **曲目リスト**
収録されている曲目のリストです。
選択したモードにより表示される曲目は異なります。



- 2. 曲目リストの中から演奏する曲をタップします。
ミュージックプレイ(コンサートマジック)画面が表示され、コンサートマジックモードに入ります。

コンサートマジック画面

- ① **戻るボタン**
選曲画面に戻ります。
- ② **メニューボタン**
ミュージックメニュー(コンサートマジック)画面を表示します。
- ③ **曲名表示**
再生する曲名を表示します。
- ④ **コンサートマジックモードボタン**
コンサートマジックモードを切り替えます。
- ⑤ **再生モードボタン**
再生モードを切り替えます。
- ⑥ **1曲戻るボタン**
選曲画面の曲目リストの1つ前の曲に切り替えます。
- ⑦ **1曲進むボタン**
選曲画面の曲目リストの1つ次の曲に切り替えます。
- ⑧ **再生/停止ボタン**
タップするたびに演奏の再生/停止を切り替えます。



いろいろな機能を楽しむ

■ コンサートマジックを楽しむ

ひとつの鍵盤を弾いてみましょう。鍵盤を弾くタイミングで演奏が進んでいきます。鍵盤を弾くタッチによって強弱をつけることもできます。

通常の音色変更の場合と同様の操作で、音色を変更することができます。

終了するときは、< (戻る) ボタンをタップします。Music画面に戻ります。



※ 演奏によっては音が重なり、ノイズのように聞こえる場合がありますが、これは故障ではありません。

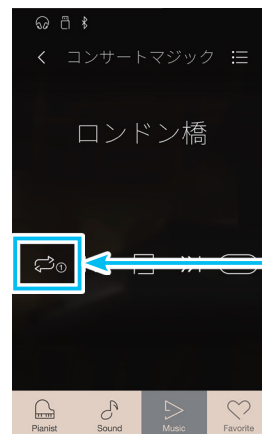
■ コンサートマジック曲を聴いてみよう

コンサートマジック曲は、普通のデモ曲として再生することができます。どんな曲かまず聴いてみたいときに便利な機能です。

● 1リピート

選択した曲を繰り返し再生します。

1. 選曲画面で再生したい曲をタップします。
コンサートマジック画面が表示されます。
2. 再生モードボタンをタップします。
タップするたびに再生モードが切り替わります。
3.  (1リピート) ボタンにします。
4.  (再生) ボタンをタップします。





再生モードボタン

● ランダム再生

コンサートマジック内蔵曲をランダムに演奏します。
コンサートマジック画面の再生モードボタンで切り替えます。

※ ランダム再生は、グループ内の曲をランダムに演奏します。

1. 再生モードボタンをタップします。
タップするたびに再生モードが切り替わります。
2.  (ランダム) ボタンにします。
3.  (再生) ボタンをタップします。



再生モードボタン

いろいろな機能を楽しむ

● グループ再生


選択した曲が含まれるグループの曲を順番に繰り返し再生します。

例えば、No.23の「ふるさと」が選ばれていると、この曲から演奏が開始され、No.21～No.31のグループ「日本の歌」を繰り返し再生します。

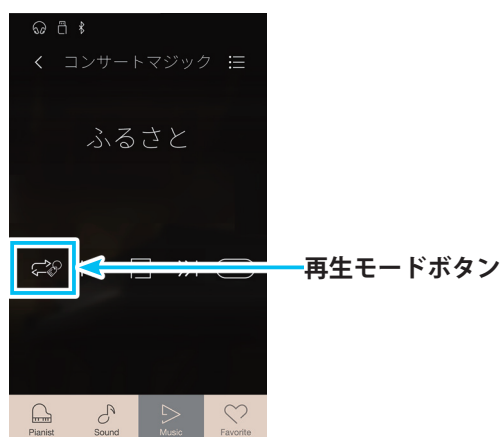
あらかじめ、聴きたいグループが含まれている曲を選択してから、コンサートマジック画面の再生モードボタンで切り替えます。

1. 選曲画面で再生したいグループの曲をタップします。
コンサートマジック画面が表示されます。

2. 再生モードボタンをタップします。
タップするたびに再生モードが切り替わります。

3.  (グループ) ボタンにします。

4.  (再生) ボタンをタップします。




■ コンサートマジックを設定する

コンサートマジックのテンポ、バランス、モードを設定します。


● 設定項目

種類	初期設定	説明
テンポ	-	曲のテンポを設定します。
バランス	7-9	コンサートマジックの曲は、メロディーと伴奏の2パートからできており、この2パートの音量バランスを調整することができます。
モード	マジカルタクトモード	コンサートマジックのモードを選択します。

テンポとバランスはミュージックメニュー(コンサートマジック)画面で設定します。

1. コンサートマジック画面で  (メニュー) ボタンをタップします。
ミュージックメニュー(コンサートマジック)画面が表示されます。



ミュージックメニュー(コンサートマジック)画面

- ① **バランス**
音量バランスを調節します。
- ② **再生テンポ**
再生するテンポを設定します。
- ③ ** (閉じる) ボタン**
ミュージックメニュー画面を閉じてコンサートマジック画面に戻ります。



● バランスを設定する。

メロディーと伴奏の2つのパートの音量バランスを調整します。


1. ミュージックメニュー画面で、バランスの  (スライダー) を左右にスワイプして調節します。
2. 調節を終了後は、 (閉じる) ボタンをタップします。
ミュージックメニュー画面が閉じて、コンサートマジック画面に戻ります。

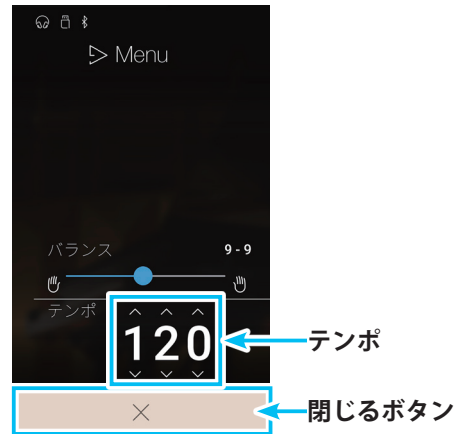


いろいろな機能を楽しむ

● テンポを設定する。

曲を再生するテンポを設定します。

1. ミュージックメニュー画面で、テンポの数値の各桁を上下にスワイプして数値で設定します。
2. 設定終了後は、 (閉じる) ボタンをタップします。ミュージックメニュー画面が閉じて、コンサートマジック画面に戻ります。



● モードを設定する。

コンサートマジックモードはコンサートマジック画面で切り替えます。

1. コン서트マジック画面でコンサートマジックモードボタンをタップします。タップするたびにコンサートマジックモードが切り替わります。
2. 目的のコンサートマジックモードを選択してください。



5. レコーダー再生

NV10本体に録音されている曲を再生します。

レコーダーの録音操作と設定は「演奏を録音・再生する」(P. 83)をご覧ください。

■ 再生可能なファイルに関して

NV10では以下のデータを再生することができます。


- 本体に録音・保存した曲
- USBメモリ上にあるSMFファイル
- USBメモリ上にあるKSOファイル(内部ソングフォーマットファイル)
- USBメモリ上にあるMP3ファイル(ビットレート: 8K~320bps、サンプリング周波数: 44.1kHz, 48kHz, 32kHz、ステレオ)
- USBメモリ上にあるWAVファイル(サンプリング周波数: 44.1kHz、16bit、ステレオ)

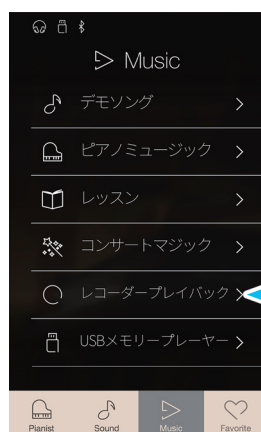
MP3: MPEG Layer-3 audio coding technology licensed from Fraunhofer IIS and Thomson.

著作権について

市販の音楽CDや音楽ファイル、SMFファイルなど、既存の著作物を利用して作られた作品を本機で利用する場合、個人的に、または家庭内その他これに準ずる限られた範囲内で使用すること以外は著作権法上、権利者に無断で使用できませんので十分注意をお願いします。お客様が著作権法に違反する行為を行った場合、当社は一切の責任を負いません。

■ レコーダー再生モードに入る

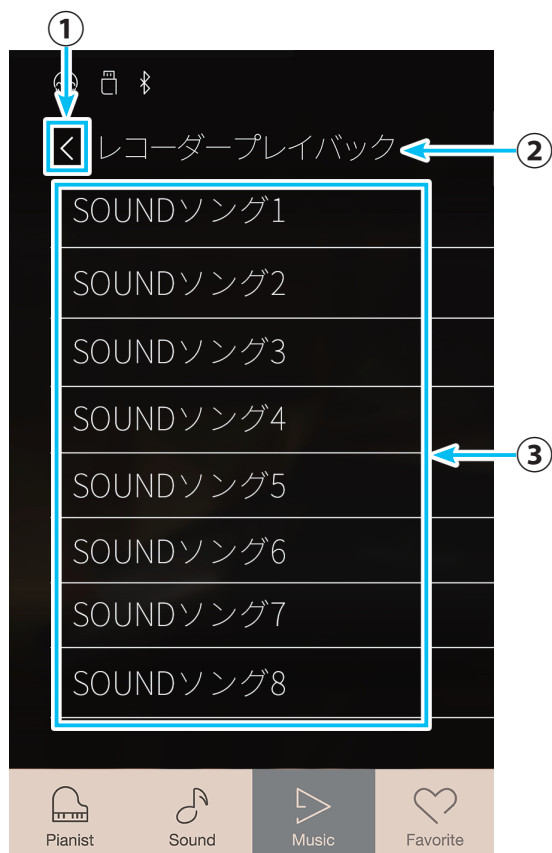
1. Music画面で  レコーダープレイバックをタップします。
選曲画面が表示されます。



レコーダー
プレイバック

選曲画面

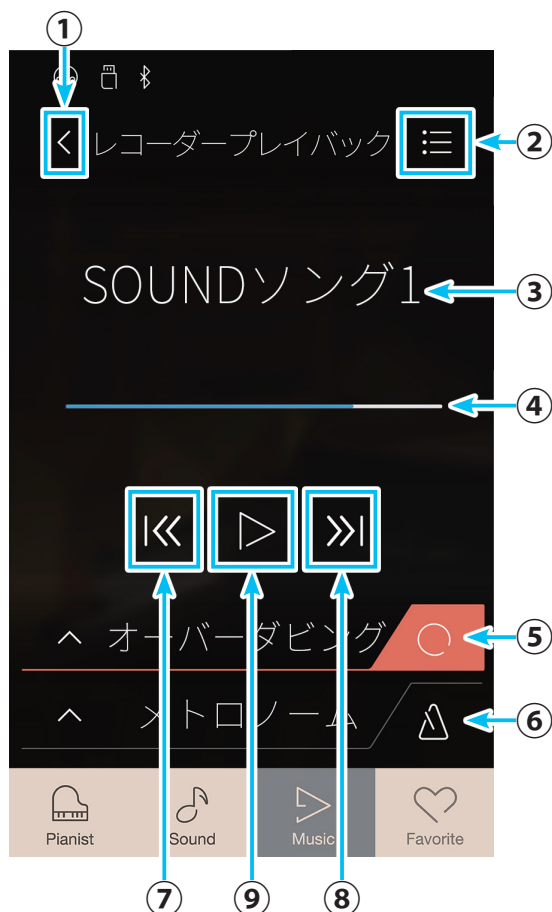
- ① **戻るボタン**
Music画面に戻ります。
- ② **モード名**
Music画面で選択したモード名が表示されます。
- ③ **曲目リスト**
収録されている曲目のリストです。
※ 録音すると曲目が表示されます。



- 2. 曲目リストの中から演奏する曲をタップします。
ミュージックプレイ(レコーダー再生)画面が表示され、曲が再生されます。

ミュージックプレイ(レコーダー再生)画面

- ① **戻るボタン**
選曲画面に戻ります。
- ② **メニューボタン**
ミュージックメニュー(レコーダー再生)画面を表示します。
- ③ **曲名表示**
再生するソング名を表示します。
- ④ **ソングバー**
曲の再生位置を表示します。
- ⑤ **オーバーダビングバー**
演奏の録音と設定を行います。
詳しくは「曲を聴きながら演奏を重ねて録音する(オーバーダビング)」(P.93)をご覧ください。
- ⑥ **メトロノームバー**
メトロノームのON/OFFと設定を行います。
詳しくは「2. メトロノーム/リズムを使う」(P.21)をご覧ください。



⑦ 1曲戻るボタン

選曲画面の曲目リストの1つ前の曲に切り替えます。

⑧ 1曲進むボタン

選曲画面の曲目リストの1つ次の曲に切り替えます。

⑨ 再生/停止ボタン

タップするたびに演奏の再生/停止を切り替えます。

- ▶ (再生) ボタンをタップします。
曲名表示されている曲が再生されます。
- 再生を止めるときには ◻ (停止) ボタンをタップします。
レコーダーについて詳しくは「演奏を録音・再生する」
(P. 83)をご覧ください。

■ 再生モードを設定する

ミュージックメニュー(レコーダー再生)では、再生するパートを選んだり、曲をトランスポーズ(移調)することができます。さらに、曲をUSBメモリに保存したり、USBメモリから読み込んだり、本体に保存されている曲を削除したりすることができます。

- ミュージックプレイ(レコーダー再生)画面で ≡ (メニュー) ボタンをタップします。
ミュージックメニュー(レコーダー再生)画面が表示されます。

ミュージックメニュー(レコーダー再生)画面

① パートセレクト

再生するパートを選択します。(P. 64)

② ソングトランスポーズ

トランスポーズ(移調)します。(P. 64)

③ USBにセーブ

選択されている内部(INT)またはSMF形式の曲をUSBメモリに保存します。(P. 65)

④ USBからロード

USBメモリに保存されている曲を呼び出します。
(P. 66)

⑤ ソングデリート

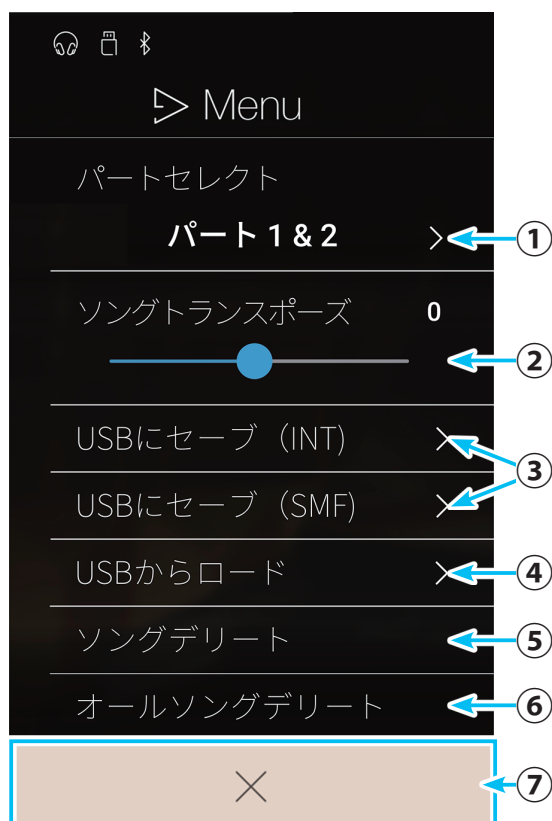
選択されている曲を消去します。(P. 67)

⑥ オールソングデリート

NV10本体に保存されているすべての曲を消去します。
(P. 68)


⑦ ✕ (閉じる) ボタン

ミュージックプレイ(レコーダー再生)画面に戻ります。



● パートを選んで再生する

選択されている曲のパート1、2、または両方を選んで再生します。


1. ミュージックメニュー(レコーダー再生)画面のパートセレクトを左右にスワイプして再生するパートを選択します。パート1、パート2、パート1&パート2の3つの中から選びます。
2.  (閉じる) ボタンをタップします。ミュージックプレイ(レコーダー再生)画面に戻ります。

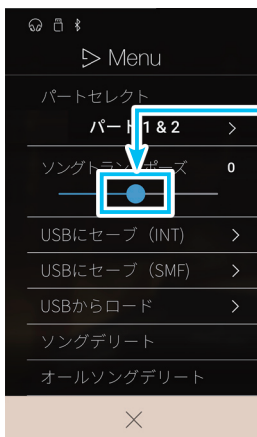


左右にスワイプして選択します。

● トランスポーズ(移調)する

選択されている曲をトランスポーズして再生します。

1. ミュージックメニュー(レコーダー再生)画面のソングトランスポーズの●(スライダー)を左右に動かして設定します。
2.  (閉じる) ボタンをタップします。ミュージックプレイ(レコーダー再生)画面に戻ります。



スライダーを左右に動かして設定します。

いろいろな機能を楽しむ

● USBメモリに保存する

選択されている曲をUSBメモリに保存します。

1. ミュージックメニュー(レコーダー再生)画面のUSBにセーブボタンをタップします。
名前を入力する画面が表示されます。
2. 保存する曲に付ける名前を入力し、リターンキーをタップします。
ソング名が確定し、ミュージックメニュー画面に戻ります。



USBにセーブボタン

3. (閉じる) ボタンをタップします。
ミュージックプレイ(レコーダー再生)画面に戻ります。



閉じるボタン

いろいろな機能を楽しむ

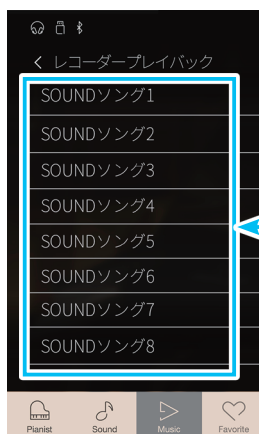
● USBメモリから読み込む

USBメモリ内の本機でセーブした曲(KSOファイル)を読み込むことができます。

1. ミュージックメニュー(レコーダー再生)画面のUSBからロードボタンをタップします。

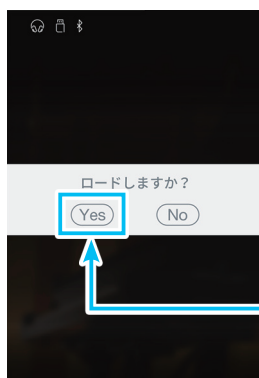


2. 読み込む場所を指定します。
読み込む場所は本体に演奏を録音するときを選択する10曲(10ソング)と共通です。
読み込む場所をタップします。
選曲画面が表示されます。
曲名が表示されます。USBメモリ内にフォルダがあれば、フォルダ名も表示されます。



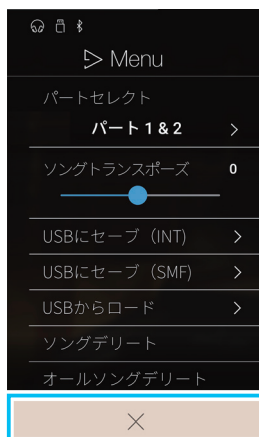
※ フォルダ名や再生する曲のファイル名、ソング名、アーティスト名などにNV10が認識できない文字が含まれている場合は、正確に表示されません。

3. 読み込みたい曲名をタップします。
読み込みたい曲がフォルダ内に保存されている場合にはフォルダ名をタップします。
フォルダ内の曲名が表示されますので、読み込みたい曲をタップします。
確認のメッセージが表示されます。



4. YESボタンをタップします。
ミュージックメニュー(レコーダー再生)画面に戻ります。

5. ✕(閉じる)ボタンをタップします。
ミュージックプレイ(レコーダー再生)画面に戻ります。



いろいろな機能を楽しむ

● ソングを消去する

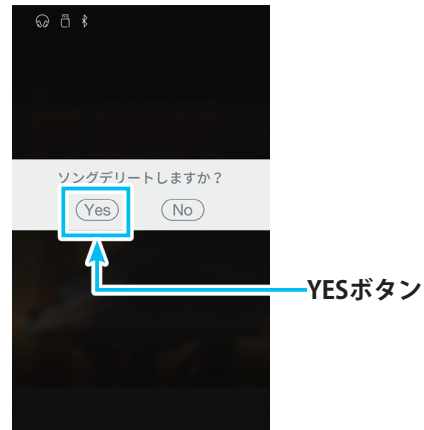
現在選択されているソングを消去します。

この操作で消去したデータは復活させることはできません。ご注意ください。

1. ミュージックメニュー(レコーダー再生)画面のソングデリートボタンをタップします。
確認画面が表示されます。



2. YESボタンをタップします。
ミュージックメニュー(レコーダー再生)画面に戻ります。



3. ✕(閉じる)ボタンをタップします。
ミュージックプレイ(レコーダー再生)画面に戻ります。



いろいろな機能を楽しむ

● 本体に録音されているソングをすべて消去する

NV10本体に保存されているソングをすべて消去します。

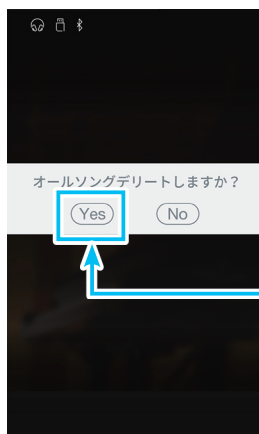
この操作で消去したデータを復活させることはできません。ご注意ください。

1. ミュージックメニュー(レコーダー再生)画面のオールソングデリートボタンをタップします。
確認画面が表示されます。



オールソングデリートボタン

2. YESボタンをタップします。
ミュージックメニュー(レコーダー再生)画面に戻ります。



YESボタン

3. ✕(閉じる)ボタンをタップします。
ミュージックプレイ(レコーダー再生)画面に戻ります。



閉じるボタン

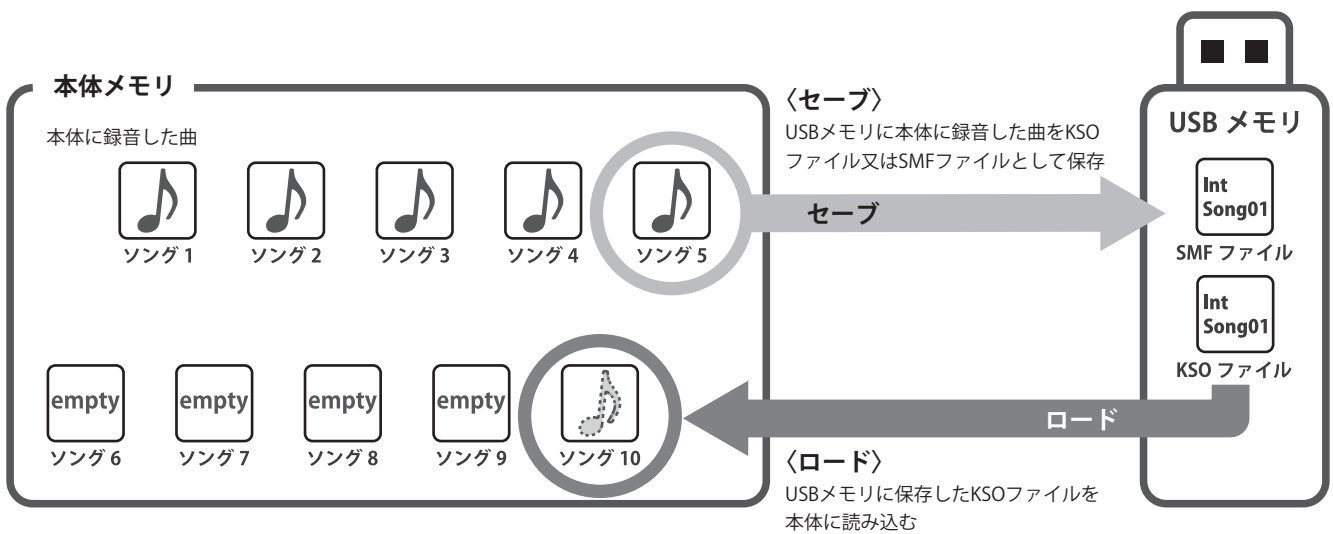
6. USBメモリープレーヤー

NV10に接続したUSBメモリに保存された曲を再生します。

ここでは基本的なレコーダーの再生操作を説明します。録音・再生の操作と設定について詳しくは「演奏を録音・再生する」(P.83)をご覧ください。


■ USBメモリのロード/セーブについて

USBメモリのロード/セーブの機能は下のイラストのようになっています。



* SMFファイルは本体に読み込めません。

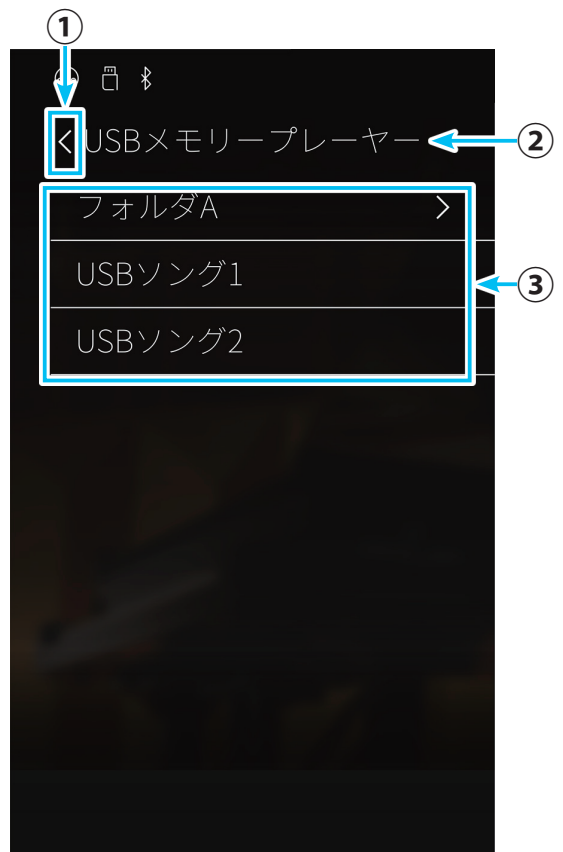
■ USBメモリープレーヤーモードに入る

1. Music画面で  USBメモリープレーヤーをタップします。
選曲画面が表示されます。USBメモリのフォルダ名または保存されている曲目が表示されます。



選曲画面

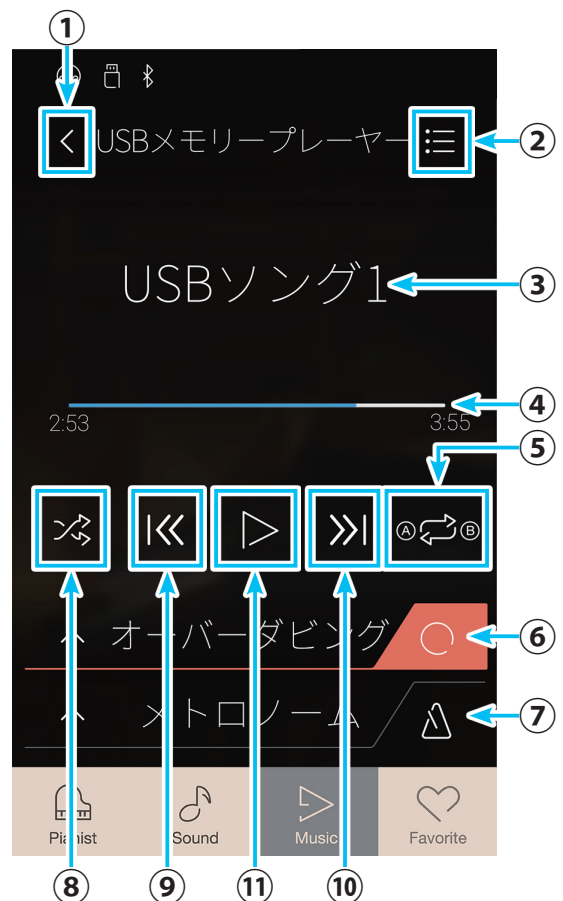
- ① 戻るボタン
Music画面に戻ります。
- ② モード名
Music画面で選択したモード名が表示されます。
- ③ 曲目リスト
保存されている曲目またはフォルダ名のリストです。



2. 曲目リストの中から再生する曲をタップします。
 ミュージックプレイ(USBメモリープレーヤー)画面が表示され、曲が再生されます。


ミュージックプレイ(USBメモリープレーヤー)画面

- ① **戻るボタン**
 選曲画面に戻ります。
- ② **メニューボタン**
 ミュージックメニュー(USBメモリープレーヤー)画面を表示します。
- ③ **曲名表示**
 再生する曲名を表示します。
- ④ **ソングバー**
 曲の再生位置を表示します。
- ⑤ **A-Bリピートボタン**
 指定した範囲を繰り返すリピート演奏でその範囲を指定します。
- ⑥ **オーバーダビングバー**
 演奏の録音と設定を行います。
 詳しくは「曲を聴きながら演奏を重ねて録音する(オーバーダビング)」(P.93)をご覧ください。
- ⑦ **メトロノームバー**
 メトロノームのON/OFFと設定を行います。詳しくは「2.メトロノーム/リズムを使う」(P.21)をご覧ください。
- ⑧ **再生モードボタン**
 再生モードを切り替えます。
- ⑨ **1曲戻るボタン**
 選曲画面の曲目リストの1つ前の曲に切り替えます。
- ⑩ **1曲進むボタン**
 選曲画面の曲目リストの1つ次の曲に切り替えます。
- ⑪ **再生/停止ボタン**
 タップするたびに演奏の再生/停止を切り替えます。

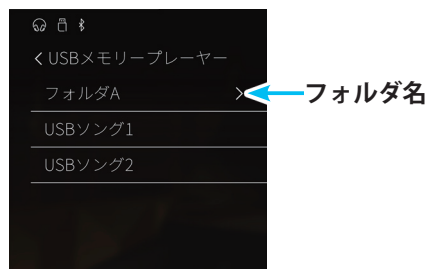


■ USBメモリの曲を再生する

※ 一般に販売されているオーディオファイルはマスタリング処理が施されている為に音量が限界まで大きくしてあるのに対し、楽器(ピアノ)はダイナミックレンジ幅が大きいため、普通に録音した音量は小さくなります。したがって、音量調整は必須です。



1. Music画面で  USBメモリープレーヤーをタップすると選曲画面が表示されます。
曲名が表示されます。USBメモリ内にフォルダがあれば、フォルダ名も表示されます。

※ フォルダ名や再生する曲のファイル名、ソング名、アーティスト名などにNV10が認識できない文字が含まれている場合は、正確に表示されません。



2. 再生したい曲名をタップします。
再生したい曲がフォルダ内に保存されている場合にはフォルダ名をタップします。
フォルダ内の曲名が表示されますので、再生したい曲をタップします。
ミュージックメニュー(USBメモリープレーヤー)画面が表示されます。



3.  (再生) ボタンをタップします。
選択した曲が再生されます。
4. 再生を止めるときには  (停止) ボタンをタップします。

■ 再生モードを設定する

USBメモリープレーヤーでは、下記の再生モードを設定することができます。

種類	説明
シングル	選択した曲を1度再生します。
1リピート	選択した曲をリピート再生します。
オールリピート	選択された曲のフォルダ内にあるソングをリピート再生します。*
ランダム	選択された曲のフォルダ内にあるソングをランダム再生します。*

※ フォルダ内の再生可能なソング全てを再生します。

ミュージック(USBメモリープレーヤー)画面の再生モードボタンで設定します。

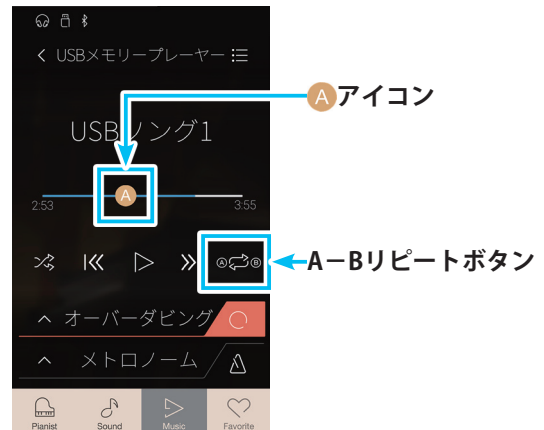
1. 再生モードボタンをタップします。
タップするたびに再生モードが切り替わります。
2. 目的の再生モードに設定します。



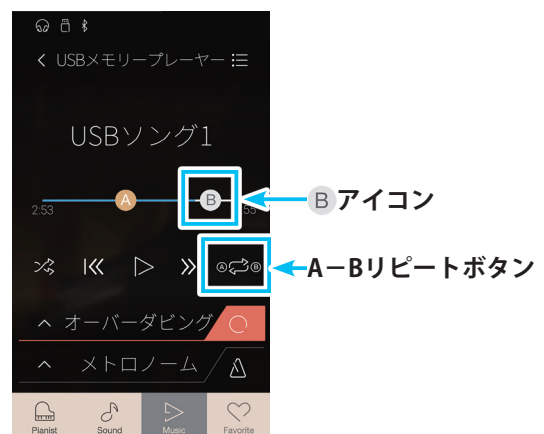
■ 聴きたい範囲を繰り返し再生する

曲の中の聴きたい範囲を選んで再生します。A-Bリピートボタンで聴きたい範囲を設定します。一度設定すると解除するまで設定範囲を繰り返し再生します。

1. 範囲を設定するために曲を再生します。
2. 範囲の始めの位置でA-Bリピートボタンをタップします。
ソングバーにAアイコンが表示されます。



3. 範囲の終わりの位置でA-Bリピートボタンをタップします。ソングバーにBアイコンが表示されます。
AアイコンからBアイコンの範囲が繰り返し再生されます。



4. 繰り返し再生を止めるときには、A-Bリピートボタンをタップします。
A-Bリピート再生が解除されます。



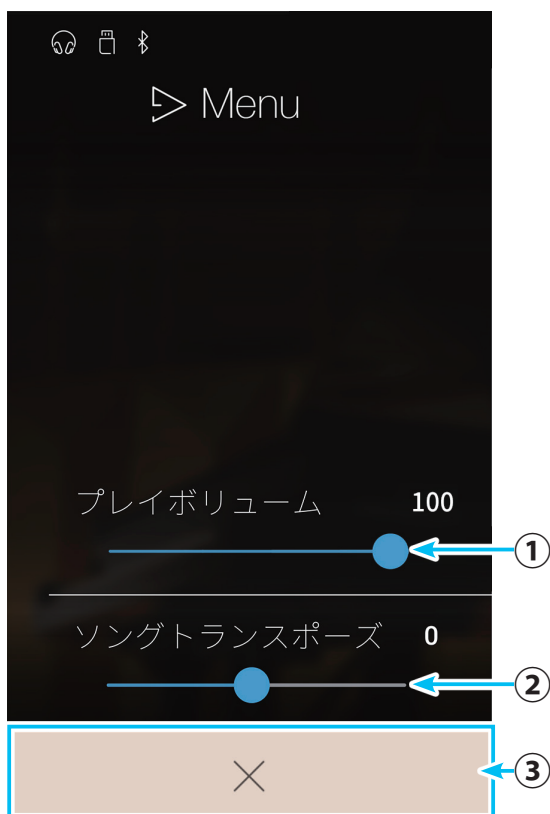
■ ボリューム、ソングトランスポーズを設定する

USBメモリ内に保存されたSMF/KSOファイルの選択時には、ボリュームを設定したり、ソング(曲)をトランスポーズ(移調)することができます。

1. ミュージック(USBメモリープレーヤー)画面でメニューをタップします。
ミュージックメニュー(USBメモリープレーヤー)画面が表示されます。

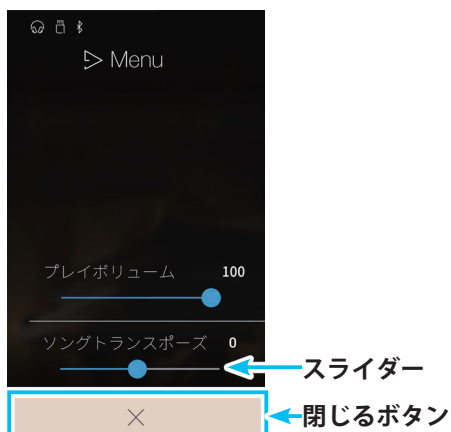
ミュージックメニュー(USBメモリープレーヤー)画面

- ① **プレイボリューム**
再生時の音量を設定します。
- ② **ソングトランスポーズ**
ソングトランスポーズを設定します。
※ SMF/KSOファイルの選択時のみ表示されます。
- ③ **✕(閉じる)ボタン**
Music画面に戻ります。



● ソングトランスポーズを設定する

1. ミュージックメニュー(USBメモリープレーヤー)画面のソングトランスポーズの●(スライダー)を左右にスワイプしてトランスポーズを調節します。
2. ✕(閉じる)ボタンをタップします。
ミュージックメニュー画面が閉じてMusic画面に戻ります。



● プレイボリュームを設定する

1. ミュージックメニュー(USBメモリープレーヤー)画面のプレイボリュームの●(スライダー)を左右にスワイプしてプレイボリュームを調節します。
2. ✕(閉じる)ボタンをタップします。
ミュージックメニュー画面が閉じてMusic画面に戻ります。



7. フェイバリットについて

フェイバリットとは音色やエフェクト等の設定をあらかじめ記憶しておく機能です。これらの設定はタップ操作ひとつで記憶した設定を呼び出すことができます。

フェイバリットは1ページに最大4個、それが最大4ページあり、計16個までフェイバリットに記憶することができます。初回電源投入時はフェイバリットに何も記憶されていない状態です。記憶するたびにフェイバリットが増えていきます。

タブバーのボタンをタップしてPianist画面やSound画面、Music画面を表示すると、フェイバリットの機能から抜けます。

※フェイバリットに記憶した各項目の設定内容は表示できません。

フェイバリットは以下の設定を記憶することができます。

通常設定

音色(デュアル・スプリットの音色設定を含む)

リバーブ、エフェクト

レンダリングキャラクター

レゾナンスデプス

アンビエンスタイプ、アンビエンスデプス

コンサートチューナー (P. 104)

タッチカーブ

ボイスिंग

ダンパーレゾナンス

ダンパーノイズ

ストリングレゾナンス

開放弦レゾナンス

キャビネットレゾナンス

キーオフエフェクト

キーアクションノイズ

ハンマーディレイ

大屋根の開閉

ディケイタイム

ミニマムタッチ

ストレッチ/ユーザーチューニング

音律の設定

88鍵ボリューム

ハーフペダルポイント

ソフトペダルデプス

サウンドセッティング (P. 128)

チューニング

トーンコントロール

ダンパーホールド

デュアル設定 (P. 32)

バランス

レイヤーオクターブシフト

レイヤーダイナミクス

スプリット設定 (P. 35)

バランス

ロアーオクターブシフト

ロアーペダルのON/OFF

スプリットポイント

4ハズ設定 (P. 39)

バランス

ライトオクターブシフト


レフトオクターブシフト

スプリットポイント

Favorite画面に入る

フェイバリットは1画面に4個表示されます。左右にスワイプすることで4画面まで切り替えることができます。合計で16個を記憶することができます。

使用したいフェイバリットをこの画面で選択して、フェイバリットメニュー画面で呼び出しや保存などの操作を行います。

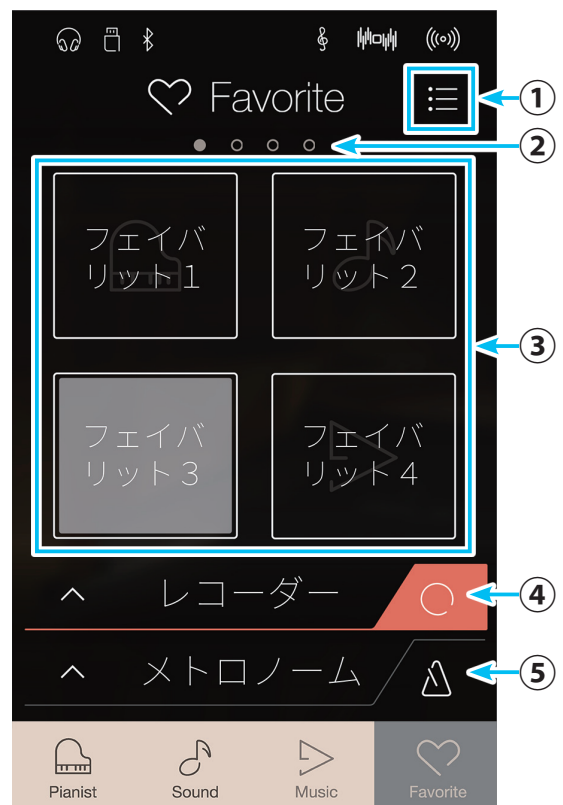
1. タブバーの  Favoriteボタンをタップします。
Favorite画面が表示されます。
登録したフェイバリットを選択する画面です。



Favorite画面

- ① **メニューボタン**
フェイバリットメニュー画面を表示します。
- ② **ページ表示**
現在表示されているフェイバリットのページ位置を表示します。
- ③ **フェイバリット選択ボタン※**
フェイバリットを表示します。
左右にスワイプすると、ページを切り替えることができます。
- ④ **レコーダーバー**
演奏の録音と設定を行います。詳しくは、「演奏を録音・再生する」(P.83)をご覧ください。
- ⑤ **メトロノームバー**
メトロノームのON/OFFと設定を行います。詳しくは「2. メトロノーム/リズムを使う」(P.21)をご覧ください。

※ 初回電源投入時は表示がありません。フェイバリットに記憶すると表示されます。



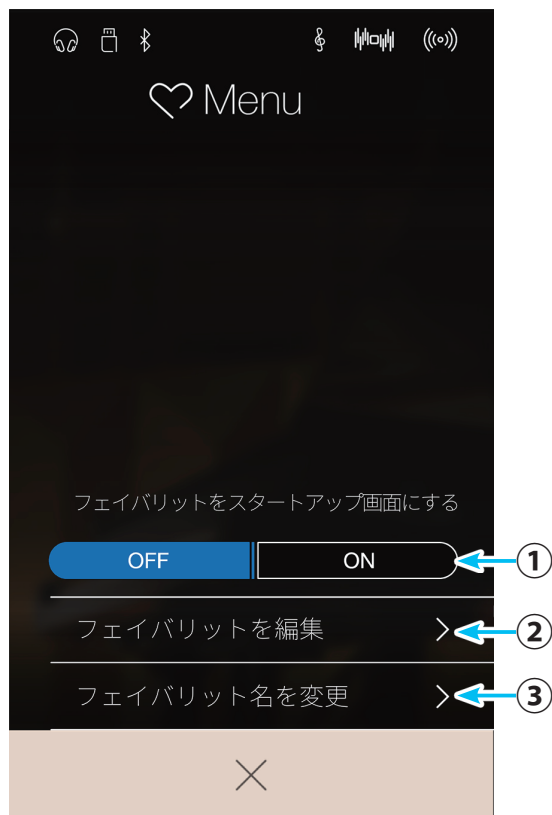
いろいろな機能を楽しむ

いろいろな機能を楽しむ

- Favorite画面の☰ (メニュー) ボタンをタップすると、
フェイバリットメニュー画面が表示されます。
フェイバリットの保存や呼び出し、内容表示などを行います。

フェイバリットメニュー画面

- ① **フェイバリットをスタートアップ画面にする ON/OFFスイッチ**
起動時にFavorite画面を表示するかどうかを設定します。
(P. 82)
- ② **フェイバリットを編集ボタン**
フェイバリットを編集します。(P. 80)
- ③ **フェイバリット名を変更ボタン**
フェイバリットの名前を変更します。(P. 80)



■ フェイバリットに記憶する

現在のNV10の設定状態をフェイバリットに記憶させます。

1. Pianist画面またはSound画面で☰ (メニュー) ボタンを
タップします。
メニュー画面が表示されます。
2. フェイバリットへ保存ボタンをタップします。
フェイバリットの名前を入力する画面が表示されます。
3. フェイバリットに付ける名前を入力し、フェイバリット名
を確定します。
フェイバリットメニュー画面に戻ります。
設定した状態がフェイバリットに登録されます。




ピアニストメニュー画面

サウンドメニュー画面

■ フェイバリットを呼び出す

記憶させたフェイバリットを呼び出します。

1. タブバーの  Favoriteボタンをタップします。



Favorite画面が表示されます。




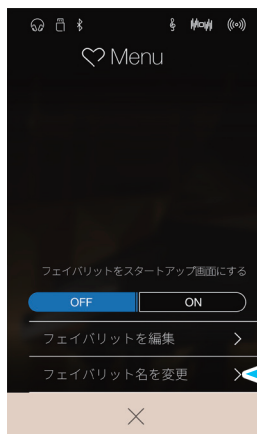
2. 呼び出したいフェイバリット選択ボタンをタップします。
左右にスワイプするとページを切り替えることができます。
現在のページはページ表示で確認できます。
フェイバリットが呼び出され、登録された設定が適用されます。



■ フェイバリットの名前を変更する

NV10本体に記憶されているフェイバリットを名前を変更します。

1. Favorite画面で  (メニュー) ボタンをタップします。
フェイバリットメニュー画面が表示されます。
2. フェイバリット名を変更ボタンをタップします。
フェイバリットの名前を入力する画面が表示されます。
3. 名前を入力、確定し保存します。
フェイバリットメニュー画面に戻ります。




← フェイバリット名を変更ボタン

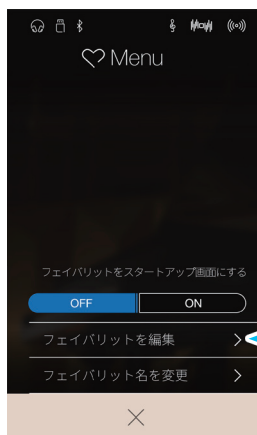
■ フェイバリットを編集する

NV10本体に記憶されているフェイバリットを削除したり、ボタンの配置を変えたりできます。

● フェイバリットを削除する

※ フェイバリットを16個まで登録するとそれ以上記憶することができません。削除してから新しいフェイバリットを登録してください。

1. Favorite画面で  (メニュー) ボタンをタップします。
フェイバリットメニュー画面が表示されます。
2. フェイバリットを編集ボタンをタップします。
フェイバリット編集画面が表示されます。



← フェイバリットを編集ボタン

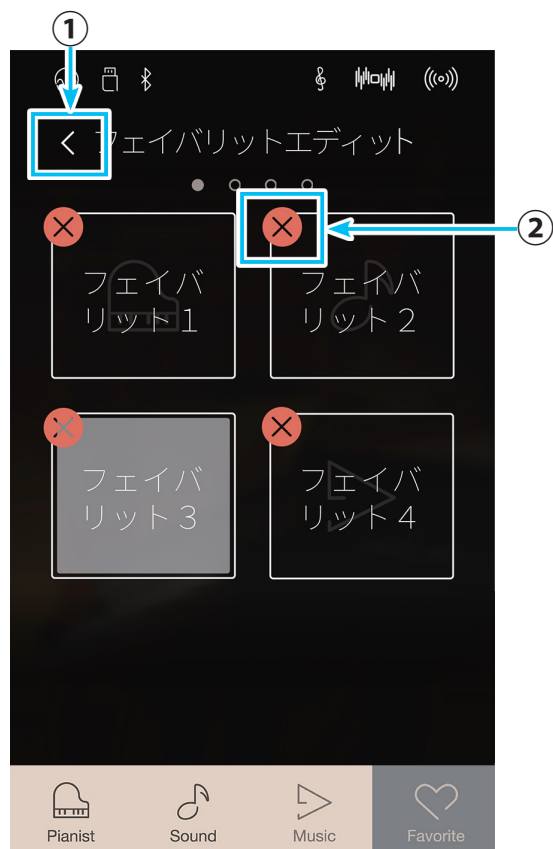
フェイバリット編集画面

① 戻るボタン

フェイバリットメニュー画面に戻ります。

② 消去ボタン

フェイバリットを消去します。



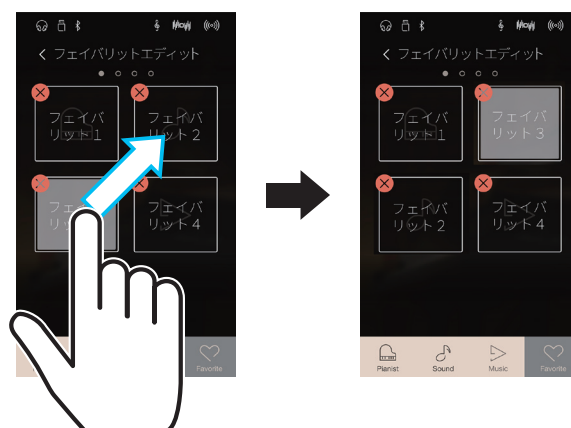
3. 消去するフェイバリットの消去ボタンをタップします。
続けて消去することができます。

4. 消去が終了したら < (戻る) ボタンをタップします。
フェイバリットメニュー画面に戻ります。

● フェイバリットの配置を変える

1. Favorite画面で、移動したいフェイバリットを指でドラッグ
(押さえたまま動かす) します。


2. 指を離すと配置が変わります。

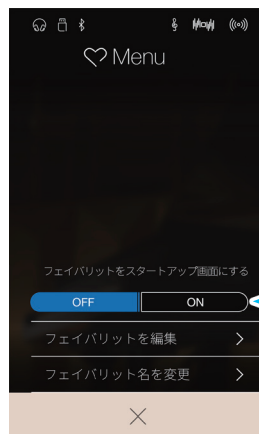


いろいろな機能を楽しむ

■ 起動時に Favorite画面を表示する

NV10本体の電源をONにしたときに、Favorite画面を表示するように設定することができます。

1. Favorite画面で  (メニュー) ボタンをタップします。
フェイバリットメニュー画面が表示されます。
2. フェイバリットをスタートアップ画面にするON/OFFスイッチをタップします。
3. 起動時にFavorite画面を表示するときは「ON」、表示せず、通常状態で起動するときは「OFF」にします。
ONにすると、次回起動時にFavorite画面が表示され、今と同じフェイバリットの設定で演奏を開始することができます。



フェイバリットを
スタートアップ画面に
するON/OFFスイッチ

演奏を録音・再生する

1. 録音・再生機能について

NV10は自分の演奏を本体に録音し再生したり、USBメモリ内に直接録音したり、再生したりすることができます。

■ 録音フォーマット形式について

NV10では下記のファイル、フォーマットにて録音することができます。

本体メモリ

内部フォーマット形式※

USBメモリ

MP3形式	ビットレート：256Kbps固定、サンプリング周波数：44.1kHz、ステレオ
WAV形式	サンプリング周波数：44.1kHz、16bit、ステレオ

※ Pianist画面で録音するときはMP3形式になります。

■ 録音中の設定変更について

- ・ 音色変更は記憶されません。
- ・ デュアルモード/スプリットモードの移行は記憶されません。
- ・ エフェクト設定の変更は記憶されず、現在選択されている音色に、選択されているエフェクトがそのまま使われます。
- ・ テンポ変更は記憶されません。
- ・ デュアルモード/スプリットモードのバランスの変更は記憶されません。録音直前のバランスで記憶されます。

■ 本体録音について

- ・ NV10の総記憶容量は、Pianist選択時では1曲あたり約10分間、Sound選択時では約90,000音[※]です。録音中に記憶容量がいっぱいになると録音が中止されます。中止直前までの演奏は録音されます。
- ・ レコーダーに録音した内容は本体の電源を切っても消えません。

※ 総記憶容量の目安として、例えば総記憶容量5,000音の場合、ペーターベンの「エリーゼのために」であれば約3～4回の録音ができ10～15分程度の録音が可能です。但し、曲の音符の数やテンポによって録音できる時間は変わります。またレコーダーはペダル操作も記録していますので、ペダルを踏んだ回数によっても録音時間は変わります。

また、Pianist画面で録音するときは、1曲あたり約10分間録音することができます。

2. 本体に録音する

NV10は本体に10曲(10ソング)^{※1}まで録音して再生することができます。それぞれのソングは2つのパートから構成されています^{※2}。

※1 Pianist画面で録音するときは3曲(3ソング)までになります。

※2 Pianist画面で録音するときは1つのパートになります。

- ① 1つのパートを使って両手の録音、再生をすることができます。
- ② 2つのパートを使えば右手と左手をそれぞれのパートに別々に録音した後、別々に再生して片手ずつの練習に役立てることができます。両方のパートを合わせて再生することもできます。

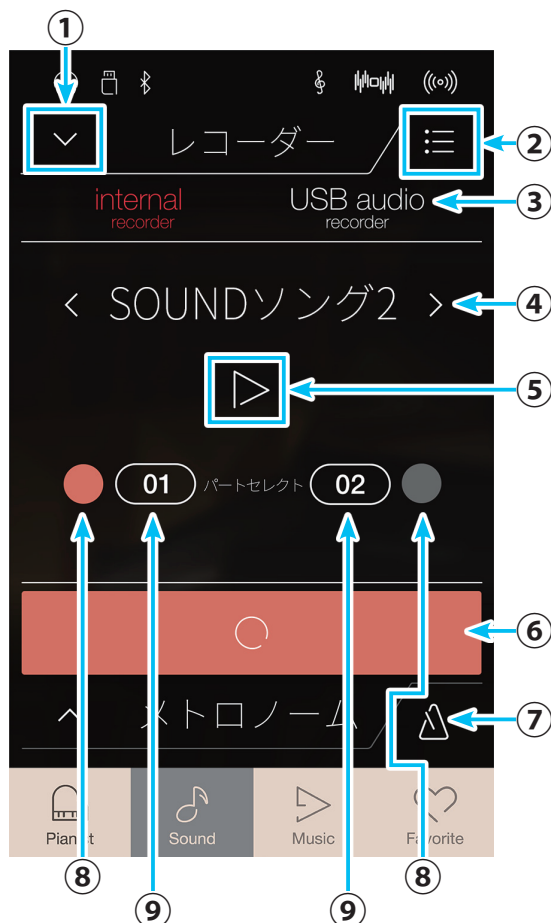
録音(インターナル)モードに入る

1. Pianist、Sound画面に表示されるレコーダーバーの ^ (レコーダーを開く) ボタンをタップします。
レコーダー画面が表示されます。



レコーダー画面

- ① **レコーダーを閉じるボタン**
レコーダー画面を閉じて元の画面に戻ります。
- ② **メニューボタン**
レコーダーメニュー画面を表示します。
- ③ **レコーダーモード選択ボタン**
インターナル録音モード/USB録音モードを切り替えます。
※ USBメモリが接続されていないときは「USB audio recoder」と表示されません。
- ④ **ソング選択**
録音するソングを選択します。また、選択されたソング名を表示します。
- ⑤ **再生/停止ボタン**
ソングを再生または再生を停止します。
- ⑥ **録音/録音停止ボタン**
録音を開始または停止します。
- ⑦ **メトロノームバー**
メトロノームのON/OFFや設定を行います。



⑧ 録音パート選択ボタン※

録音するパートを選択します。選択できるのはパート1またはパート2のどちらか一つです。

⑨ 再生パート選択ボタン※

録音時に同時再生するパートを選択します。パートが録音済みかどうかをアイコンで表示します。

※ Pianist画面で録音するときには表示されません。

■ ソングとパートの設定をする

1. レコーダー画面のソング選択を左右にスワイプして録音するソングを選択します。
ソング選択の中央にソング名が表示されます。
録音できるのはSONG1から10までのどれかです。
すでに録音されているソングは、再生パート選択ボタンが塗りつぶしになります。



2. 録音パート選択ボタンをタップして、録音するパートを選択します。※

※ Pianist画面で録音するときには選択できません。

再生パート選択ボタンが塗りつぶしの場合には、そのパートはすでに録音されています。このパートを選択すると、以前の録音に上書きされます。以前まであった演奏データが消去されますのでご注意ください。



3. 録音済みのパートを再生しながら同時に演奏して録音する場合は、再生パート選択ボタンで再生パートを選択します。録音済みのアイコンが表示されているパートを選択してください。※



※ Pianist画面で録音するときには選択できません。

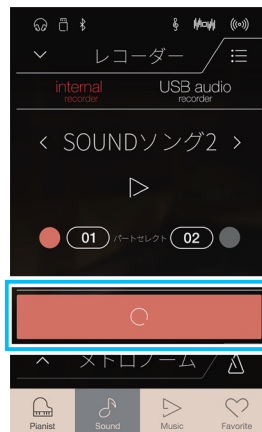


演奏を録音・再生する

■ 録音をスタートする

ソング番号、パートを設定した後、録音を開始します。



1.  (録音/録音停止) ボタンをタップします。
録音待機状態になります。
2. 再度  (録音/録音停止) ボタンをタップするか、または演奏を開始します。
録音が始まります。
再生しながら録音する場合には、再生が始まります。



← 録音/録音停止ボタン

■ 録音をストップする

演奏が終わったら録音を停止します。

1. 再度  (録音/録音停止) ボタンをタップします。
録音が終了します。
録音した演奏をすぐに聴きたいときには、▶ (再生) ボタンをタップします。
やり直しなどもう一度録音したいときには、 (録音/録音停止) ボタンをタップすると録音待機状態となります。何度でも繰り返して録音することができます。



← 再生ボタン


← 録音/録音停止ボタン

■ 録音した曲を聴く

録音した曲を聴いてみましょう。

ここではレコーダー画面での再生の手順を説明します。

レコーダーで録音した曲は、ミュージック(レコーダー再生)画面でも再生することができます。画面が異なりますので、Music画面での再生方法は、「5. レコーダー再生」(P.61)をご覧ください。


1. Pianist、Sound画面に表示されるレコーダーバーの  (レコーダーを開く) ボタンをタップします。
レコーダー画面が表示されます。
レコーダー画面の詳細は、「■ 録音(インターナル)モードに入る」(P.84)をご覧ください。




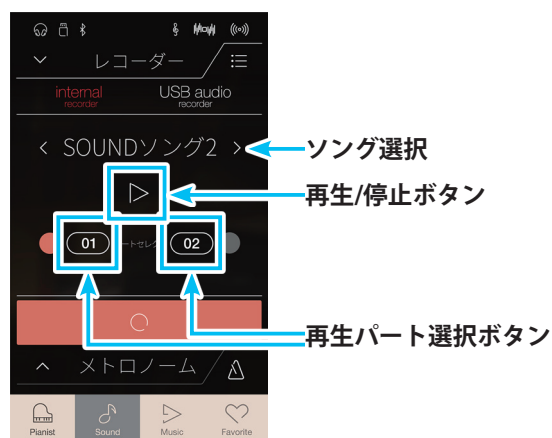
2. ソング選択を左右にスワイプして、再生する曲を選択します。

3. 再生パート選択ボタンをタップしてパートを選択します。
録音されているパートは塗りつぶしのボタンになっています。※

※ Pianist画面で録音するときは選択できません。


4.  (再生) ボタンをタップします。
再生を開始します。

5. 再度、 (停止) ボタンをタップすると、演奏を停止します。



■ ソングを消去する

選択中のソングを消去します。

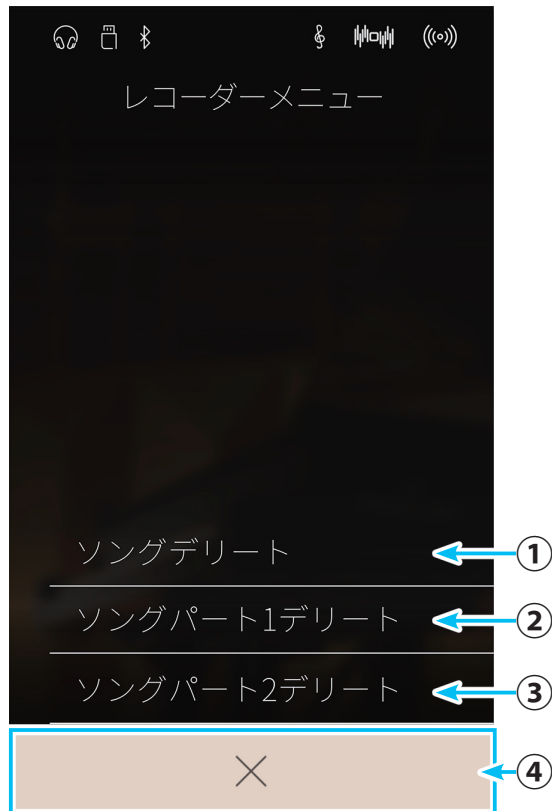
1. ソング選択をスワイプして、消去するソングを選択します。
2. レコーダー画面の  (メニュー) ボタンをタップします。レコーダーメニュー (内部) 画面が表示されます。




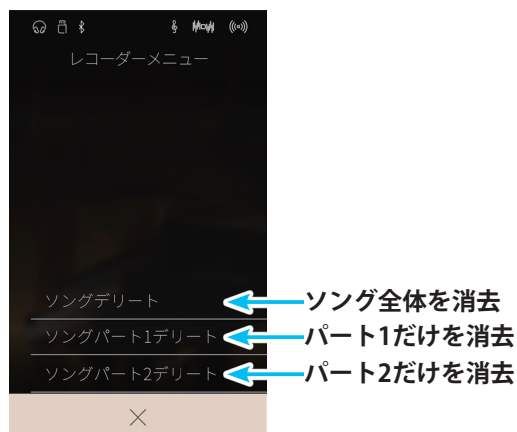
レコーダーメニュー (内部) 画面

- ① **ソングデリート**
現在のソングを消去します。
- ② **ソングパート1デリート※**
現在のソングのパート1だけを消去します。
- ③ **ソングパート2デリート※**
現在のソングのパート2だけを消去します。
- ④ **✕ (閉じる) ボタン**
レコーダー画面に戻ります。

※ Pianist画面では選択できません。



3. ソング全体か、どちらか一方か、消去する対象のボタンをタップします。
4.  (閉じる) ボタンをタップします。レコーダー画面に戻ります。




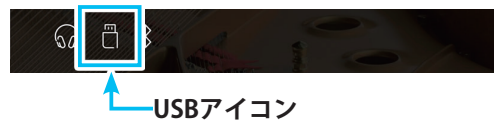
3. USBメモリに録音する


NV10は、USBメモリに直接演奏を録音(保存)することができます。ラインイン(P. 134)の音も合わせてUSBメモリに録音することができます。

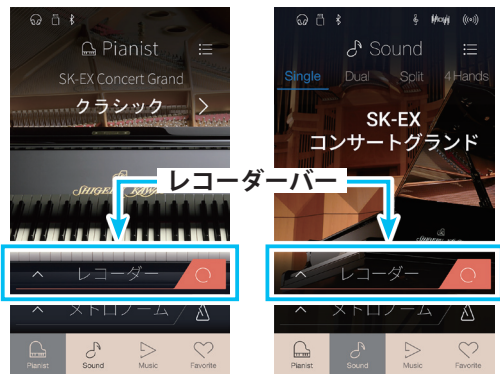
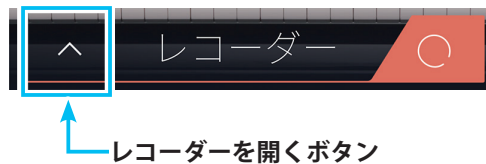
■ 録音モード(USB)に入る

USBメモリへの録音はUSBレコーダー画面で行います。

- 1. USBメモリを本体に接続します。
ステータスバーに  (USB)アイコンが表示されます。



- 2. Pianist、Sound画面に表示されるレコーダーバーの  (レコーダーを開く)ボタンをタップします。
レコーダー画面が表示されます。



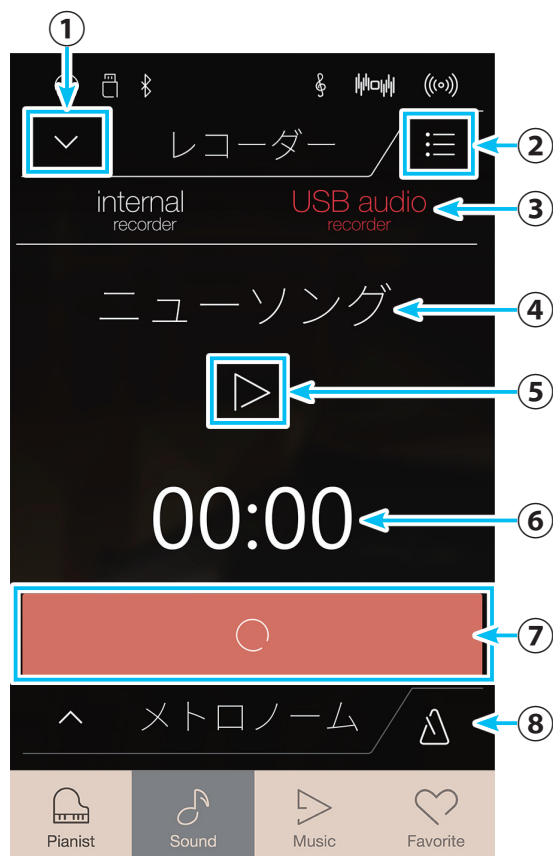
- 3. レコーダー画面で、レコーダーモード選択ボタンのUSB録音モードをタップします。
レコーダー(USB)画面が表示されます。



演奏を録音・再生する


レコーダー(USB)画面

- ①レコーダーを閉じるボタン**
レコーダー画面を閉じて元の画面に戻ります。
- ②メニューボタン**
レコーダーメニュー画面を表示します。
- ③レコーダーモード選択ボタン**
インターナル録音モード/USB録音モードを切り替えます。
- ④ソング選択**
録音するソングを選択します。また、選択されたソング名を表示します。
- ⑤再生/停止ボタン**
ソングを再生または再生を停止します。
- ⑥録音時間表示**
ソングの録音時間を表示します。
- ⑦録音/録音停止ボタン**
録音を開始または停止します。
- ⑧メトロノームバー**
メトロノームのON/OFFや設定を行います。



■ USBレコーダーを設定する

USBレコーダーでは、録音するファイル形式と録音レベルを設定することができます。

1. レコーダー(USB)画面で  (メニュー) ボタンをタップします。
レコーダーメニュー(USB)画面が表示されます。



レコーダーメニュー(USB)画面

- ① **フォーマット**
ファイル形式を選択します。
- ② **ゲイン**
録音レベルを調節します。
- ③ **✕(閉じる)ボタン**
レコーダー(USB)画面に戻ります。



● 録音するデータ形式を選ぶ

録音するデータのファイル形式を選びます。
ファイル形式はMP3かWAVを選ぶことができます。

1. レコーダーメニュー画面で、フォーマットをタップして選択します。
2. ✕(閉じる)ボタンをタップします。
レコーダー画面に戻ります。



演奏を録音・再生する

● 録音レベルを設定する

弾く曲に合わせた録音レベル調節を行うことができます。

レベルは0～15dBの範囲で調整できます。演奏する内容に合わせて調整してください。

1. レコーダーメニュー画面で、ゲインの●(スライダー)を左右にスワイプして調節します。
2. ✕(閉じる)ボタンをタップします。
レコーダー画面に戻ります。



■ 録音する

ソング番号、同時再生、録音するファイルフォーマット、ゲインを設定した後、録音を開始します。

● 録音をスタートする

1. ●(録音/録音停止)ボタンをタップします。
録音待機状態になります。
2. 再度●(録音/録音停止)ボタンをタップするか、または演奏を開始します。
録音が始まります。
再生しながら録音する場合には、再生が始まります。



● 録音をストップする

演奏が終わったら録音を停止します。

1. 再度●(録音/録音停止)ボタンをタップします。
録音が終了します。
録音した演奏をすぐに聴きたいときには、▶(再生)ボタンをタップします。
「USBへ保存しますか?」と表示されますので、保存する場合はYesを選択しファイル名を入力します。やり直しなどもう一度録音したい場合は、Noを選択します。



● 録音した曲をすぐに聴く

録音した曲を聴いてみましょう。

ここではレコーダー画面での再生の手順を説明します。

ミュージック (USBメモリープレーヤー) 画面ではより詳しい設定をして再生することができます。詳しくは、「6. USBメモリープレーヤー」(P. 69)をご覧ください。

1. ▶ (再生) ボタンをタップします。再生を開始します。
2. ◻ (停止) ボタンをタップすると、演奏を停止します。



■ 曲を聴きながら演奏を重ねて録音する(オーバーダビング)

曲を聴きながら演奏をUSBメモリに重ねて録音することができます。


* SMF/KSOファイルをオーバーダビングしてSMF/KSOファイルにすることはできません。SMFファイルをオーバーダビングする場合は、MP3/WAVファイルに変換されます。

1. Music画面で ◯ レコーダープレイバックまたは USBメモリープレーヤーをタップします。
選曲画面が表示されます。
2. 曲目リストの中から再生する曲をタップします。
ミュージックプレイ(レコーダー再生)画面またはミュージックプレイ(USBメモリープレーヤー)画面が表示されます。
3. ミュージックプレイ(レコーダー再生)画面、ミュージックプレイ(USBメモリープレーヤー)画面に表示されるオーバーダビングバーの ◯ (オーバーダビングを開く) ボタンをタップします。オーバーダビング画面が表示されます。
操作に関しては、レコーダー(USB)画面と同じです。



NV10を設定する

NV10では、演奏を楽しむためにさまざまな設定を行うことができます。こうした設定をまとめて設定メニューと呼びます。

設定メニューは、Pianist画面、Sound画面から  (メニュー) ボタンで表示させることができます。同じ設定メニューでもどちらの画面で呼び出したかで設定できる項目が異なります。


1. ピアニストメニュー

Pianist画面から表示するピアニストメニューでの設定項目は次の表のとおりです。

■ ピアニストメニューの設定項目


設定メニュー	設定内容	設定できる項目	説明ページ
アンビエンス	再生する音の広がりを設定します。	タイプ	P. 96
		デプス	P. 96
コンサートチューナー	ピアノに関する様々な調整を電子的にシミュレートし、演奏者の好みのピアノにするための設定です。 ピアニストメニューから呼び出すコンサートチューナーの設定項目は、演奏に直接影響するものをまとめてあります。 より詳細に設定したい場合には、サウンドメニューから設定します。	タッチカーブ	P. 109
		ボイスシング	P. 111
		ダンパーノイズ	P. 113
		キーアクションノイズ	P. 117
		ハンマーディレイ	P. 118
		ミニマムタッチ	P. 119
		88鍵ボリューム	P. 125
		ハーフペダルポイント	P. 126
		ソフトペダルデプス	P. 127
		保存	—
サウンドセッティング	演奏音に関する設定を行います。 スピーカーやヘッドホン、ライン入力の音量・音質を設定します。	トーンコントロール	P. 132
		スピーカーボリューム	P. 134
		ラインインレベル	P. 134
		ウォールEQ	P. 135
		スペシャルヘッドホンサウンド	P. 135
		ヘッドホンタイプ	P. 136
		ヘッドホンボリューム	P. 136
		Bluetooth MIDI	P. 141
セッティング	NV10本体に関する設定を行います。 MIDI、Bluetooth-MIDI、Bluetooth Audio、USBに関する設定、画面消去、ロック、カラータッチ液晶ディスプレイ(LCD)のコントラスト調整、言語の設定を行います。	Bluetoothオーディオ	P. 141
		Bluetoothオーディオ ボリューム	P. 142
		リネームファイル	P. 143
		デリートファイル	P. 144
		USBフォーマット	P. 145
		MIDIチャンネル	P. 148
		プログラムナンバー送信	P. 148
		ローカルコントロール	P. 149
		プログラムナンバー送信のON/OFF	P. 149
		チャンネルミュート	P. 150
		LCDコントラスト	P. 151
		オートディスプレイオフ	P. 151
		オートパワーオフ	P. 152
		言語	P. 152
		ファクトリーリセット	P. 153

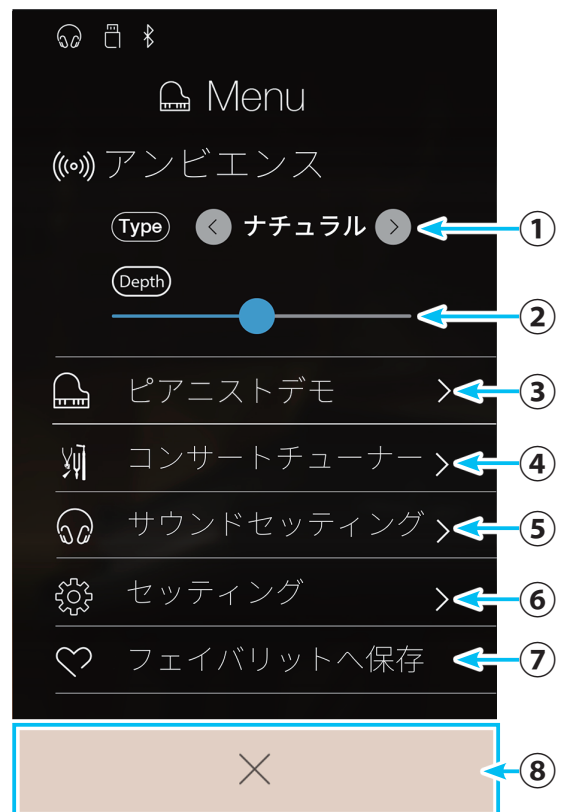
■ ピアニストメニューを表示する

1. Pianist画面の  (メニュー) ボタンをタップします。
ピアニストメニュー画面が表示されます。




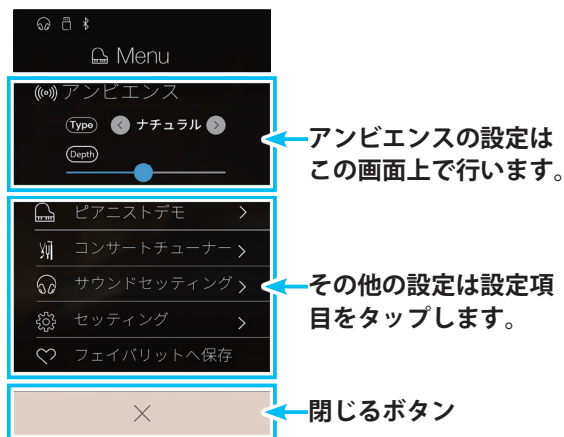
ピアニストメニュー画面

- ① **アンビエンスタイプ**
音の広がり、空気感を調節します。(P. 96)
- ② **アンビエンスデプス**
アンビエンスの深さ・奥行き感を設定します。(P. 96)
- ③ **ピアニストデモボタン**
ピアニストデモ画面を表示します。(P. 97)
- ④ **コンサートチューナーボタン**
コンサートチューナー(ピアノ)画面を表示します。
(P. 105)
- ⑤ **サウンドセッティングボタン**
サウンドセッティング(ピアノ)画面を表示します。
(P. 128)
- ⑥ **セッティングボタン**
本機のセッティング(ピアノ)画面を表示します。
(P. 138)
USBやBluetooth、MIDIなどの設定を行います。
- ⑦ **フェイバリットへ保存ボタン**
現在の本機の設定状態をフェイバリットに保存します。
(P. 78)
- ⑧ ** (閉じる) ボタン**
ピアニストメニュー画面を閉じてPianist画面に戻ります。



NV10を設定する

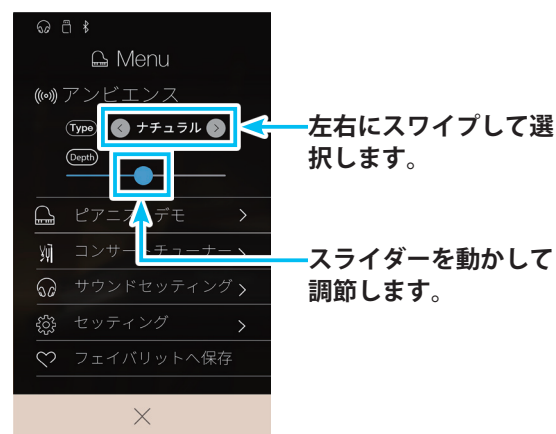
2. 設定したい項目をタップします。
選択した設定画面が表示されます。
3. 設定を終了または中止したいときは、 (閉じる) ボタンをタップします。
Pianist画面に戻ります。





● アンビエンスを設定する

音の広がり、空気感を設定します。

1. タイプの領域を左右にスワイプしてアンビエンスタイプを選択します。
中央に選択したアンビエンスタイプが表示されます。



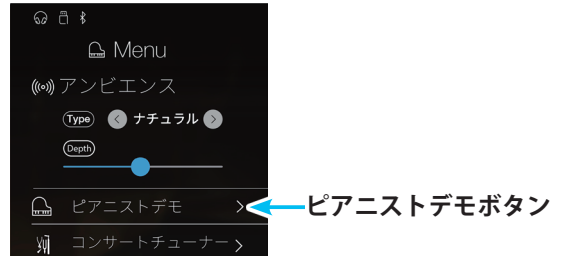
アンビエンスタイプ	効果
ナチュラル	自然な広がりを再現した効果です。
スモールルーム	小さな部屋の余韻を再現した効果です。
ミディアムルーム	やや大きな部屋の余韻を再現した効果です。
ラージルーム	大きな部屋の余韻を再現した効果です。
メロウラウンジ	落ち着いたラウンジの柔らかな余韻を再現した効果です。
ブライトラウンジ	ラウンジの明るい余韻を再現した効果です。
スタジオ	レコーディングスタジオの余韻を再現した効果です。
ウッドスタジオ	木製のレコーディングスタジオを再現した効果です。
ライブステージ	ステージでの反射を再現した効果です。
エコー	やまびこの様な反射を再現した効果です。

2. デプスは (スライダー) を左右に動かして調節します。
3.  (閉じる) ボタンをタップします。
Pianist画面に戻ります。

● ピアニストデモを聴く

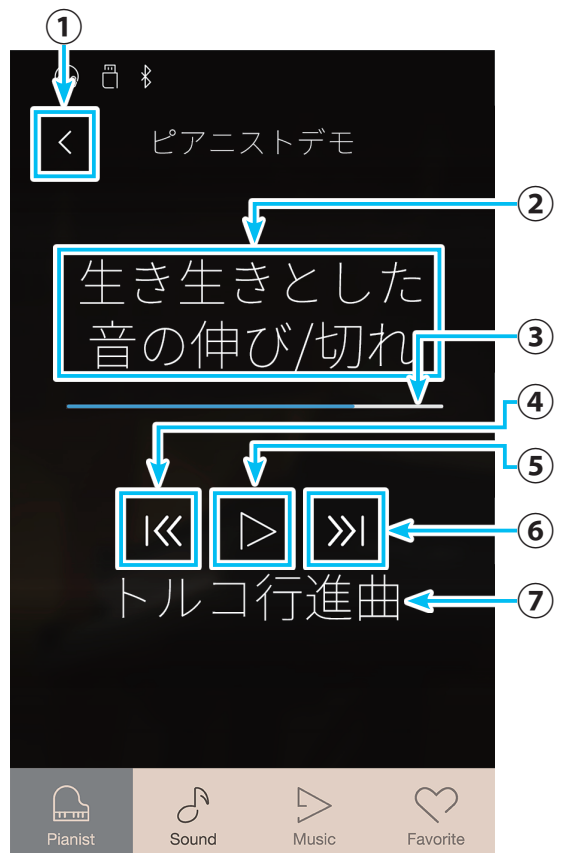
NV10本体に内蔵されているデモソングを再生します。

1. ピアニストデモボタンをタップします。
ピアニストデモ画面が表示されます。

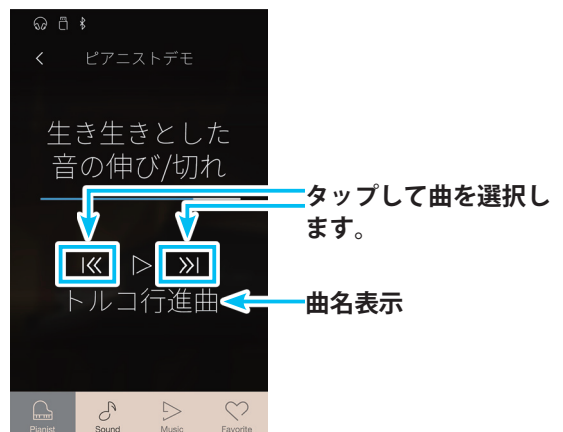


ピアニストデモ画面

- ① 戻るボタン
ピアニストメニュー画面に戻ります。
- ② ピアノ音説明
再生されているピアノの音についての説明を表示します。
- ③ ソングバー
曲の再生位置を表示します。
- ④ 1曲戻るボタン
1つ前の曲になります。
- ⑤ 再生/停止ボタン
曲を再生または停止します。
- ⑥ 1曲進むボタン
1つ次の曲になります。
- ⑦ 曲名表示
選択されている曲名を表示します。



2. |<< (1曲戻る) ボタンまたは >>| (1曲進む) ボタンをタップして曲を選択します。
曲名表示で確認します。



NV10を設定する

- ▶ (再生) ボタンをタップします。
再生を開始します。
- 完了または中断するときは ◻ (停止) ボタンをタップします。
再生を停止します。



再生/停止ボタン

● ピアノ曲デモ曲リスト

	曲名	作曲家
1	英雄ポロネーズ	ショパン
2	ベルガマスク組曲 第1番 プレリュード	ドビュッシー
3	トルコ行進曲	モーツァルト

● その他のピアノストメニュー

上記以外のピアノストメニューの各項目は以下のページをご覧ください。

- コンサートチューナー： 3. コンサートチューナー (P. 104)
サウンドセッティング： 4. サウンドセッティング (P. 128)
セッティング： 5. その他のセッティング (P. 137)

2. サウンドメニュー


■ サウンドメニューの設定項目

Sound画面から表示するサウンドメニューでの設定項目は次の表のとおりです。

設定メニュー	設定内容	設定できる項目	説明ページ
リバーブ	リバーブの効果を設定します。	タイム	P. 24
		デプス	P. 24
エフェクト	エフェクトの種類や効果を設定します。	タイプ	P. 27
		変更項目2種類	P. 27
キートランスポーズ	キー(調)を変更します。	キー(調)	P. 102
キーボードセッティング (Single選択時には表示されません)	バランスやオクターブシフトなどの設定を行います。	デュアル バランス、レイヤーオクターブシフト、レイヤーダイナミクス	P. 33
		スプリット バランス、ローオクターブシフト、ローペダル、スプリットポイント	P. 37
		4ハンズ バランス、ライトオクターブシフト、レフトオクターブシフト、スプリットポイント	P. 41
コンサートチューナー	ピアノに関する様々な調整を電子的にシミュレートし、演奏者の好みのピアノにするための設定です。 ダンパー、弦、鍵盤などの共振やノイズなどピアノの詳細な部分までシミュレートすることができます。 おまかせ設定にすることもできます。	コンサートチューナーモード	P. 104
		タッチカーブ	P. 109
		ボイスिंग	P. 111
		ダンパーレゾナンス	P. 113
		ダンパーノイズ	P. 113
		ストリングレゾナンス	P. 114
		開放弦レゾナンス	P. 115
		キャビネットレゾナンス	P. 116
		キーオフエフェクト	P. 116
		キーアクションノイズ	P. 117
		ハンマーディレイ	P. 118
		大屋根の開閉	P. 118
		ディケイタイム	P. 119
		ミニマムタッチ	P. 119
		ストレッチチューニング	P. 120
		音律	P. 122
		音律の主音	P. 124
		88鍵ボリューム	P. 125
		ハーフペダルポイント	P. 126
		ソフトペダルデプス	P. 127
保存	—		
おまかせ設定	P. 108		

設定メニュー	設定内容	設定できる項目	説明ページ
サウンドセッティング	演奏音に関する設定を行います。 スピーカーやヘッドホン、ライン入力の 音量・音質を設定します。	チューニング	P. 131
		ダンパーホールド	P. 131
		トーンコントロール	P. 132
		スピーカーボリューム	P. 134
		ラインインレベル	P. 134
		ウォールEQ	P. 135
		スペシャルヘッドホンサウンド	P. 135
		ヘッドホンタイプ	P. 136
		ヘッドホンボリューム	P. 136
セッティング	本機全体に係わる設定を行います。 MIDIに関する設定、Bluetooth-MIDI、 Bluetooth Audio、USB、画面消去、ロッ ク、カラータッチ液晶ディスプレイ(LCD) のコントラスト調整、言語の設定を行 います。	Bluetooth MIDI	P. 141
		Bluetoothオーディオ	P. 141
		Bluetoothオーディオ ボリューム	P. 142
		リネームファイル(USB接続時のみ)	P. 143
		デリートファイル(USB接続時のみ)	P. 144
		USBフォーマット(USB接続時のみ)	P. 145
		MIDIチャンネル	P. 148
		プログラムナンバー送信	P. 148
		ローカルコントロール	P. 149
		プログラムナンバー送信のON/OFF	P. 149
		マルチティンバーモード	P. 150
		チャンネルミュート	P. 150
		LCDコントラスト	P. 151
		オートディスプレイオフ	P. 151
		オートパワーオフ	P. 152
		言語	P. 152
ファクトリーリセット	P. 153		

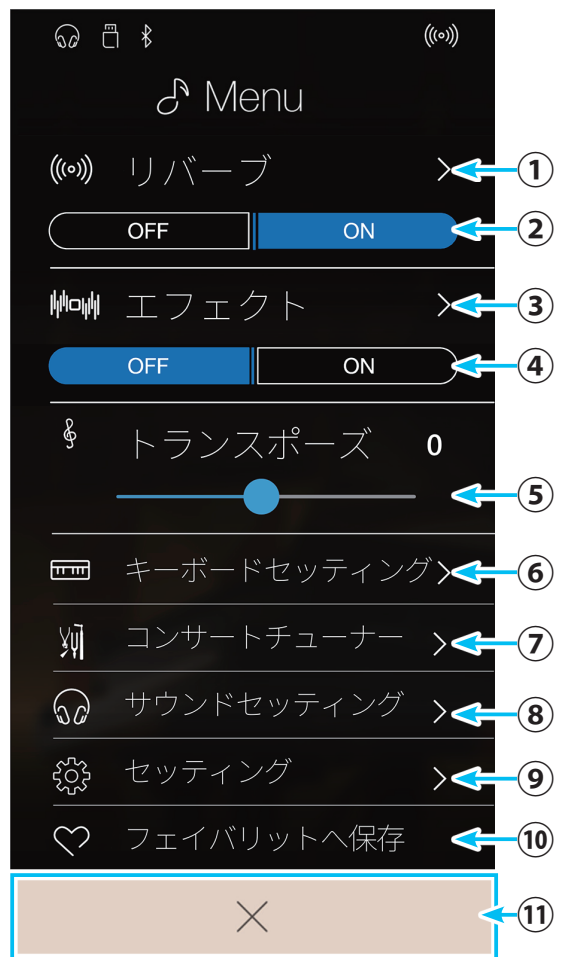
■ サウンドメニューを表示する

1. Sound画面の  (メニュー) ボタンをタップします。
サウンドメニュー画面が表示されます。



サウンドメニュー画面

- ① **リバーブ設定ボタン**
リバーブ画面を表示します。(P. 102)
- ② **リバーブON/OFFスイッチ**
リバーブ動作をON/OFFします。(P. 102)
- ③ **エフェクト設定ボタン**
エフェクト画面を表示します。(P. 102)
- ④ **エフェクトON/OFFスイッチ**
エフェクト動作をON/OFFします。(P. 102)
- ⑤ **トランスポーズ**
キートランスポーズの値を設定します。(P. 102)
- ⑥ **キーボードセッティングボタン**
キーボードセッティング画面を表示します。(P. 103)
※ Single選択時には表示されません。
- ⑦ **コンサートチューナーボタン**
コンサートチューナー(サウンド)画面を表示します。(P. 105)
- ⑧ **サウンドセッティングボタン**
サウンドセッティング(サウンド)画面を表示します。(P. 128)
- ⑨ **セッティングボタン**
セッティング(サウンド)画面を表示します。(P. 138)
- ⑩ **フェイバリットへ保存ボタン**
現在の状態をフェイバリットに保存します。(P. 78)
- ⑪ **✕(閉じる)ボタン**
Sound画面に戻ります。



NV10を設定する

● リバーブの設定

リバーブのON/OFFとリバーブ画面でリバーブのタイプ/デプスを設定します。

詳細は「**リバーブ**」(P. 24)をご覧ください。

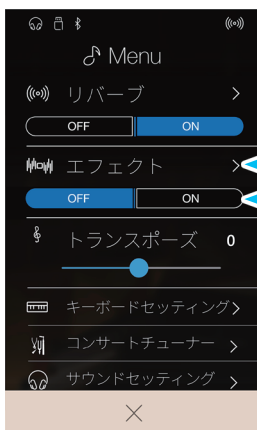


リバーブ設定ボタン
リバーブON/OFF
スイッチ

● エフェクトの設定

エフェクトのON/OFFとエフェクト画面でエフェクトのタイプ、変更項目を設定します。

詳細は「**エフェクト**」(P. 27)をご覧ください。



エフェクト設定ボタン
エフェクトON/OFF
スイッチ

● トランスポーズの設定

トランスポーズは半音単位で調を変えることです。キー(調)の異なる楽器とのアンサンブル演奏や歌の伴奏をするときに、弾く鍵盤を変えずに簡単に移調できます。

1. トランスポーズの●(スライダー)を動かして、キートランスポーズを調整します。
半音単位で動かすことができます。
2. 設定終了後は、**X**(閉じる)ボタンをタップします。



トランスポーズ
スライダー

● キーボード設定

デュアルモード、スプリットモード、4ハンズモードでのキーボードのバランスやオクターブシフト、スプリットポイントを設定します。

現在の演奏モードにより表示される画面と設定項目が異なります。詳しくは下記をご覧ください。


- デュアル演奏：** 2. デュアル演奏
■ デュアル演奏の設定を変更する (P. 33)
- スプリット演奏：** 3. スプリット演奏
■ スプリット演奏の設定を変更する (P. 37)
- 4ハンズモード：** 4. 4ハンズモード (連弾演奏)
■ 4ハンズ演奏の設定を変更する (P. 41)



キーボード
セッティングボタン

● フェイバリットに登録する

現在のサウンドメニューの設定状態をフェイバリットに保存します。フェイバリットに登録しておくと、簡単な操作で登録した設定を呼び出すことができるだけでなく、NV10の起動時に設定を自動的に呼び出すことができます。

1. サウンドメニュー内の各項目を設定します。
2. フェイバリットへ保存ボタンをタップします。
現在の設定状態がフェイバリットに保存されます。
3. 設定終了後は、 (閉じる) ボタンをタップします。



フェイバリットへ保存
ボタン

● その他のサウンドメニュー

上記以外のサウンドメニューの各項目は以下のページをご覧ください。

- コンサートチューナー：** 3. コンサートチューナー (P. 104)
- サウンドセッティング：** 4. サウンドセッティング (P. 128)
- セッティング：** 5. その他のセッティング (P. 137)

3. コンサートチューナー

ピアノ調律師はアコースティックピアノには欠くことができません。調律師は調律 / 整調 / 整音作業により、ピアニストの趣好に合わせてピアノの調整をします。

コンサートチューナーはこれらの作業を電子的にシミュレートし、演奏者の好みに近いピアノに調整することができます。19項目にも及ぶ調整項目を細かく調整できるだけでなく、調整方法を知らなくてもオススメの19項目の設定を瞬時に行うおまかせ設定もありますので、簡単に様々なピアノ調整を楽しむことが可能です。

また、これらの調整した設定を音色毎に保存することも可能です。

さらに、これらの設定は、フェイバリットに記憶することができます。「7. フェイバリットについて」(P. 76)をご参照ください。

■ おまかせ設定と詳細設定

おまかせ設定 コンサートチューナーの多くの調整機能をあらかじめ組み合わせたおすすめの設定です。
ピアノ調整機能の内容を知らなくてもプリセットを選ぶだけで、ピアノ調整の変化を楽しむことができます。
※おまかせ設定は、Sound選択時のみの機能です。

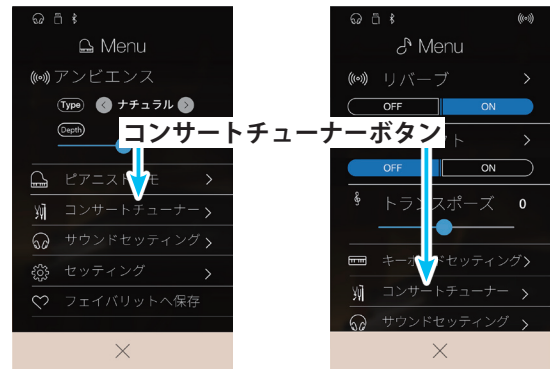
詳細設定 ハンマー調整や、タッチカーブ調整、ダンパーペダル音調整など、ピアノ調整のディテールを調律師のように調整することができます。

■ 詳細設定の種類と内容、電源ON時の設定

種類	初期設定	効果のかかる音色
1. タッチカーブ	ノーマル	全音色
2. ボイシング	ノーマル	全音色
3. ダンパーレゾナンス	5	ピアノ音色のみ
4. ダンパーノイズ	5	ピアノ音色のみ
5. スtringレゾナンス	5	ピアノ音色のみ
6. 開放弦レゾナンス	5	ピアノ音色のみ
7. キャビネットレゾナンス	1	ピアノ音色のみ
8. キーオフエフェクト	5	ピアノ音色 クラシック E.ピアノ / 60's E.ピアノ / クラシック E.ピアノ 2
9. キーアクションノイズ	5	ピアノ音色 ハーブシコード / オクターブハーブシコード / ハーブシコード 2
10. ハンマーディレイ	オフ	ピアノ音色のみ
11. 大屋根の開閉	オープン3	ピアノ音色のみ
12. ディケイタイム	5	全音色
13. ミニマムタッチ	1	ピアノ音色 クラシック E.ピアノ / 60's E.ピアノ / クラシック E.ピアノ 2
14. ストレッチチューニング	(音色毎に異なる)	全音色
15. 音律の設定	平均律	全音色
16. 音律の主音の設定	C	全音色
17. 88鍵ボリューム	オフ	全音色
18. ハーフペダルポイント	5	全音色
19. ソフトペダルデプス	3	全音色

■ コンサートチューナーを表示する

1. それぞれのメニュー画面のコンサートチューナーボタンをタップします。
コンサートチューナー画面が表示されます。



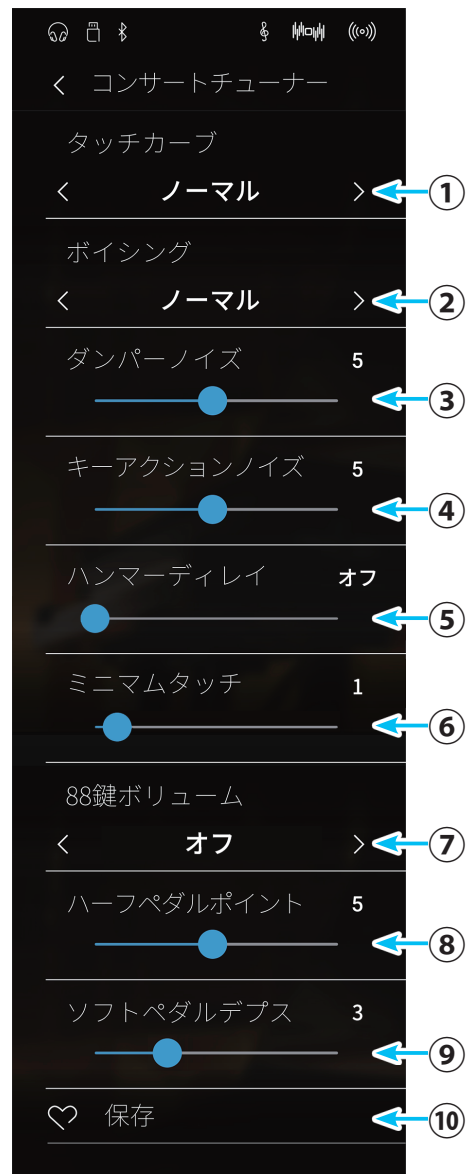
ピアニストメニュー画面

サウンドメニュー画面

コンサートチューナー(ピアニストメニュー)

各機能の詳細と操作方法は、コンサートチューナー(サウンド)の後に項目ごとに説明します。

- ① **タッチカーブ**
タッチカーブのタイプを選択します。(P. 109)
ユーザーが作成することもできます。
- ② **ボイシング**
ボイシングのタイプを選択します。(P. 111)
ユーザーが作成することもできます。
- ③ **ダンパーノイズ**
ダンパーノイズの値を設定します。(P. 113)
- ④ **キーアクションノイズ**
キーアクションノイズの値を設定します。(P. 117)
- ⑤ **ハンマーディレイ**
ハンマーディレイの値を設定します。(P. 118)
- ⑥ **ミニマムタッチ**
ミニマムタッチの値を設定します。(P. 119)
- ⑦ **88鍵ボリューム**
88鍵ボリュームのタイプを選択します。(P. 125)
ユーザーが作成することもできます。
- ⑧ **ハーフペダルポイント**
ハーフペダルポイントの値を設定します。(P. 126)
- ⑨ **ソフトペダルデプス**
ソフトペダルデプスの値を設定します。(P. 127)
- ⑩ **保存**
コンサートチューナーの設定を音色に保存します。



※ 上記の画面は説明のために、メニュー項目を全て表示しています。実際には1度に全部のメニューを表示することはできません。スクロールして表示します。

コンサートチューナー(サウンドメニュー)

各機能の詳細と操作方法は、コンサートチューナー(サウンド)の後に項目ごとに説明します。

① コン서트チューナーモードスイッチ

コンサートチューナーモードを切り替えます。(P.108)

② タッチカーブ

鍵盤のタッチレスポンスのカーブを選択します。(P.109)

ユーザーが作成することもできます。

③ ボイシング

弦を叩くハンマーの状態をシミュレートした7種類のハンマータイプから選択します。(P.111)

ユーザーが作成することもできます。

④ ダンパーレゾナンス

ダンパーペダルを踏んだときの共鳴音の音量を調整します。(P.113)

⑤ ダンパーノイズ

ダンパーペダルを踏んだり離したりしたときに発生するノイズの音量を調整します。(P.113)

⑥ スtringレゾナンス

ピアノの弦の共鳴音の音量を調整します。(P.114)

⑦ 開放弦レゾナンス

ピアノの開放弦の高音部の共鳴音の音量を調整します。(P.115)

⑧ キャビネットレゾナンス

グランドピアノの筐体そのものの余韻を調整します。(P.116)

⑨ キーオフエフェクト

鍵盤を強く弾いてから離れたときに、音が止まる直前にダンパーが弦に触れる音の音量を調整します。(P.116)

⑩ キーアクションノイズ

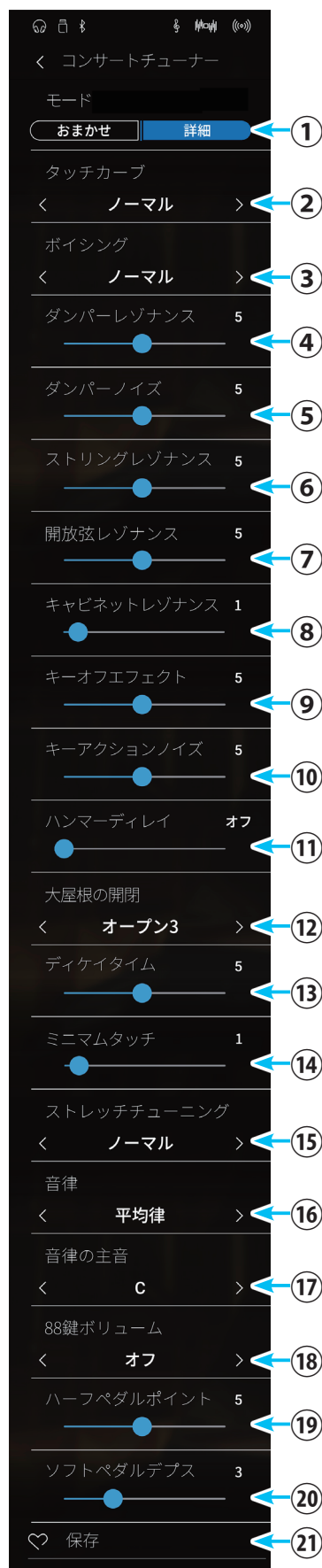
鍵盤を離れた後、鍵盤アクションが戻った時に発生するノイズ音の音量を調整します。(P.117)

⑪ ハンマーディレイ

ハンマーが弦を叩くタイミングのわずかな遅れをシミュレートしたもので、演奏しやすいタイミングに調整します。(P.118)

⑫ 大屋根の開閉

グランドピアノの大屋根の開き具合を選択します。(P.118)



※ 上記の画面は説明のために、メニュー項目を全て表示しています。実際には1度に全部のメニューを表示することはできません。スクロールして表示します。

⑬ ディケイタイム

鍵盤を弾いたあとの音の減衰の長さを調整します。
(P.119)

⑭ ミニマムタッチ

一番小さい音が出るタッチの強さを設定します。
(P.119)

⑮ ストレッチチューニング

通常の平均律に比べ低音側は低く、高音側は高くするピアノ特有の調律のこと。2種類から選択します。(P.120)

⑯ 音律

音律を選択します。(P.122)

⑰ 音律の主音

音律の主音を設定します。(P.124)

⑱ 88鍵ボリューム

ピアノでは、鍵盤によって音量が異なります。あらかじめ設定した4種類のボリュームの組み合わせから選択します。(P.125)
ユーザーが作成することもできます。

⑲ ハーフペダルポイント

ハーフペダルが掛かり始めるポイント(音が伸び始めるポイント)を調整します。(P.126)

⑳ ソフトペダルデプス

ソフトペダルの効き具合を調整します。(P.127)

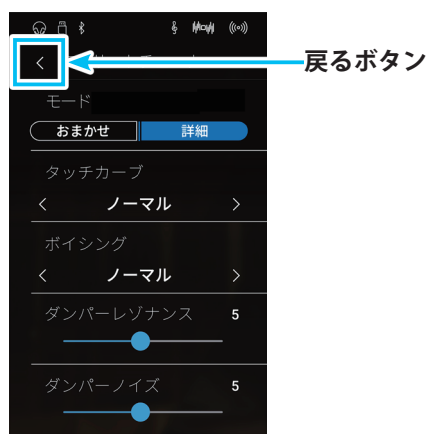
㉑ 保存

コンサートチューナーの設定を音色に保存します。

2. コンサートチューナーを終了するときには、画面上部の
◀ (戻る) ボタンをタップします。

ピアニストメニュー画面またはサウンドメニュー画面に戻ります。

各設定項目については次項からの説明をご覧ください。



■ コンサートチューナーの各項目を設定する

★印の項目は、コンサートチューナー(サウンドメニュー)にのみ表示され、コンサートチューナー(ピアニストメニュー)では表示されません。

「おまかせ設定」を選ぶことで、コンサートチューナーの細かい調整内容を知らなくても、簡単に様々なピアノ調整を楽しむことができます。

おまかせ設定に切り替える

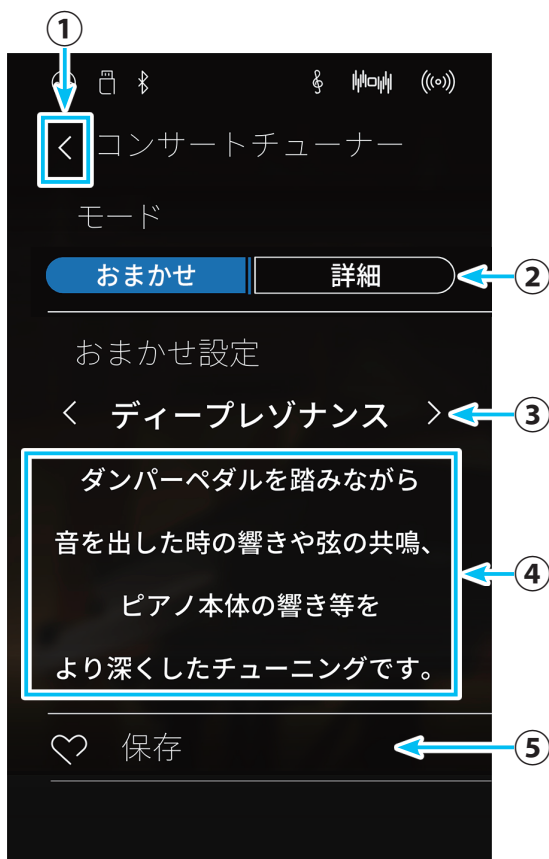
詳細設定画面で、コンサートチューナーモードスイッチで、おまかせボタンまたは詳細ボタンをタップしてそれぞれの設定画面に切り替えます。

1. おまかせボタンをタップします。
コンサートチューナーおまかせ設定画面が表示されます。

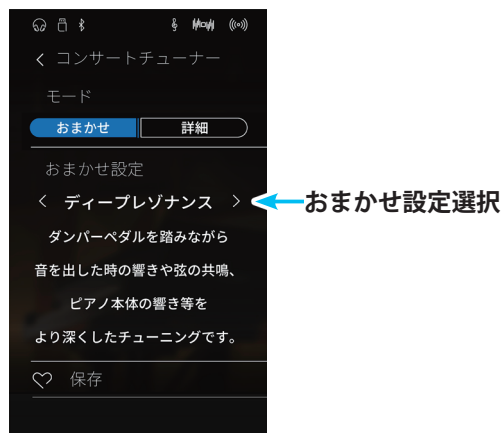


コンサートチューナーおまかせ設定画面

- ① 戻るボタン
サウンドメニュー画面に戻ります。
- ② コンサートチューナーモードスイッチ
詳細設定とおまかせ設定を切り替えます。
- ③ おまかせ設定選択
おまかせ設定のタイプを選択します。
- ④ 案内表示
選択されているおまかせ設定タイプの説明を表示します。
- ⑤ 保存
選択されている設定を現在の音色に保存します。



2. おまかせ設定選択の領域を左右にスワイプして、おまかせ設定のタイプを選択します。



おまかせ設定を音色に保存する

おまかせ設定の値を現在の音色に保存すると、再起動した後もその音色を選択すると保存したおまかせ設定の値が反映されます。

おまかせ設定のタイプを選択後、保存をタップします。



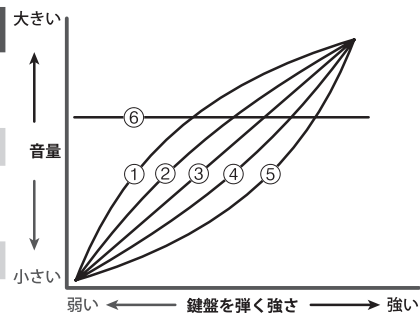
● タッチカーブ

ピアノでは鍵盤を弾く力をだんだん強くしていくと、音量もだんだん大きくなっていきます。この鍵盤を弾く強さと音量との関係を表したものをタッチカーブと呼びます。

NV10では、6種類のタッチカーブに加え、演奏する人の力に最も適したタッチカーブを作るユーザータッチカーブ作成機能を搭載しています。

タッチカーブの種類

種類	効果
①ライト+	弱いタッチで弾いても大きな音がでます。
②ライト	小さなお子様や、オルガンプレーヤー向けのタッチカーブです。
③ノーマル	アコースティックピアノと同程度のタッチで音量が変化します。
④ヘビー	強いタッチで弾かないと大きな音が出ません。
⑤ヘビー+	指の力の強い人向けのタッチカーブです。
⑥オフ	タッチの強弱に関わらず一定の音量で発音します。
ユーザー	ユーザーが入力したタッチによりタッチカーブが作成されます。



NV10を設定する

タッチカーブの種類を選択する

詳細設定画面で、タッチカーブの領域を左右にスワイプして種類を選択します。

「ユーザー」を選択した場合は次項をご覧ください。

※ タッチカーブは全音色に効果があります。



ユーザータッチカーブの作成

ユーザータッチカーブ作成機能とは、ユーザーの鍵盤を弾く指の力に合わせて、自動的にタッチカーブを作成する機能です。

1. 詳細設定画面で、タッチカーブの領域を左右にスワイプしてユーザーを選択します。
編集ボタンをタップすると、ユーザータッチカーブ作成画面が表示されます。

ユーザータッチカーブ作成画面

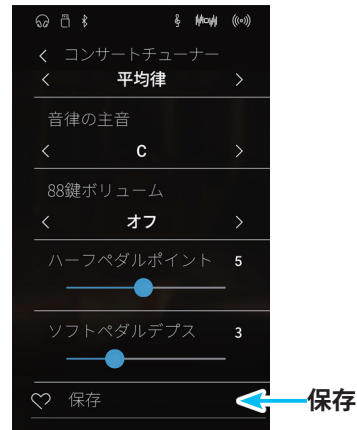
- ① **戻るボタン**
コンサートチューナー詳細設定画面に戻ります。
- ② **案内表示**
タッチカーブ作成状態を表示します。
- ③ **タッチカーブ作成開始/終了ボタン**
タップして作成を開始します。
操作の進行に応じてスタート、ストップ、okと文字表示が変わります。
2. スタート(タッチカーブ作成開始/終了)ボタンをタップします。
ボタンの表示がストップに変わります。
3. 適当な鍵盤を使って弱打から強打まで弾きます。
4. 演奏が終わったら、ストップ(タッチカーブ作成開始/終了)ボタンをタップします。
案内表示が「アナライズコンプリート」に変わり、OK(タッチカーブ作成開始/終了)ボタンをタップしたら作成完了です。
5. < (戻る)ボタンをタップします。



ユーザータッチカーブを音色に保存する

作成したユーザータッチカーブの値を現在の音色に保存すると、再起動した後もその音色を選択すると保存したユーザータッチカーブの値が反映されます。

ユーザータッチカーブ設定後、コンサートチューナー詳細設定画面で、保存をタップします。



● ボイシング

アコースティックピアノにおける、弦を叩くハンマーの状態をシミュレートしたもので、7種類のハンマータイプが選べます。

※ 任意の鍵盤だけにボイシングを行うこと(ユーザーボイシング)も可能です。

ハンマーの状態の種類

種類	効果
ノーマル	通常の設定です。
メロウ1	やわらかめのハンマーをシミュレートしたソフトな音色になります。
メロウ2	メロウ1よりやわらかなハンマーをシミュレートした音色になります。
ダイナミック	タッチの強弱に応じてソフトな音色からブライトな音色までダイナミックに変化します。
ブライト1	硬めのハンマーをシミュレートしたブライトな音色になります。
ブライト2	ブライト1より硬めのハンマーをシミュレートした音色になります。
ユーザー	任意の鍵盤に対してボイシング調整が可能になります。

ボイシングの種類を選択する

詳細設定画面で、ボイシングの領域を左右にスワイプして種類を選択します。

「ユーザー」を選択した場合は次項をご覧ください。

※ ボイシングは全音色に効果があります。



NV10を設定する

ユーザーボイスング

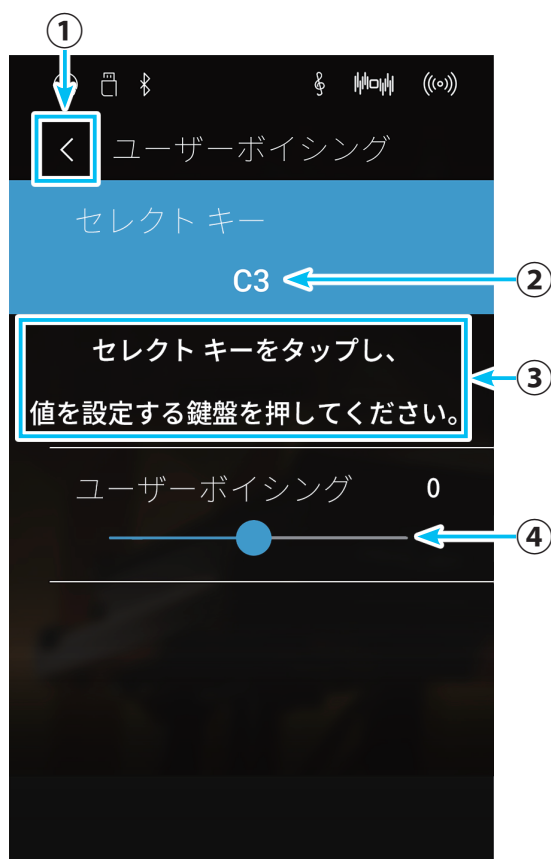
任意の鍵盤に対してボイスング調整を行います。

1. 詳細設定画面で、ボイスングの領域を左右にスワイプしてユーザーを選択します。
編集ボタンをタップすると、ユーザーボイスング作成画面が表示されます。

ユーザーボイスング作成画面

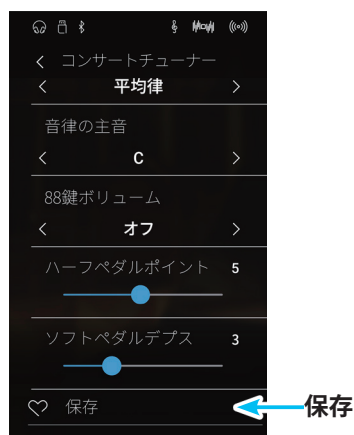
- ① **戻るボタン**
詳細設定画面に戻ります。
 - ② **鍵盤表示**
鍵盤を押すと、ユーザーボイスングを設定する鍵盤番号が表示されます。
 - ③ **案内表示**
操作説明を表示します。
 - ④ **ユーザーボイスング**
ユーザーボイスングの値を設定します。
2. ユーザーボイスングを設定したい鍵盤を押します。
鍵盤表示に押した鍵盤番号が表示されます。
 3. ユーザーボイスングの●(スライダー)を動かしてユーザーボイスングを調節します。
 4. < (戻る) ボタンをタップします。
設定を終了します。

※ ユーザーボイスングはピアノ音色のみに効果があります。



ユーザーボイスングの設定を音色に保存する

作成したユーザーボイスングの値を現在の音色に保存すると、再起動した後もその音色を選択すると保存したユーザーボイスングの値が反映されます。
ユーザーボイスング設定後、コンサートチューナー詳細設定画面で、保存をタップします。



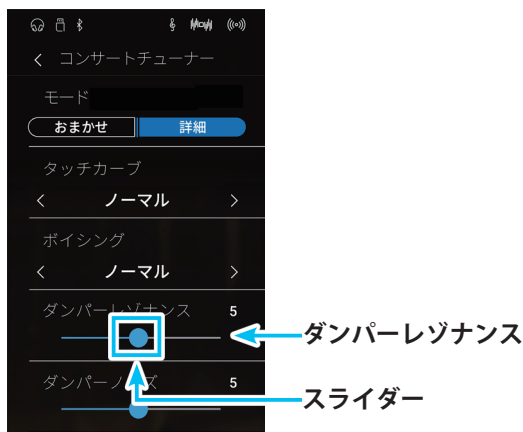
● ダンパーレゾナンス★

ダンパーペダル(P. 15参照)を踏んだときのピアノ全体の共鳴効果をシミュレートしたもので、この共鳴音の音量を設定することができます。

ダンパーレゾナンスの値を設定する

詳細設定画面で、ダンパーレゾナンスの●(スライダー)を動かして、値を設定します。値はオフ、1~10です。「1」がもっとも弱く、「10」がもっとも強く響きます。「オフ」の場合は共鳴音はありません。

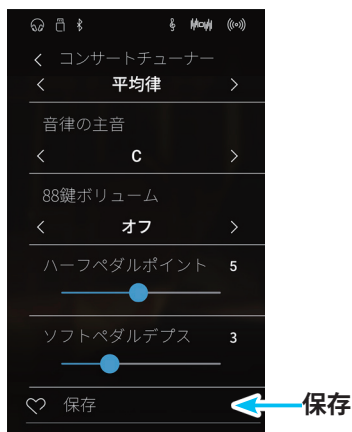
※ ダンパーレゾナンスはピアノ音色のみに効果があります。



ダンパーレゾナンスの設定を音色に保存する

設定したダンパーレゾナンスの値を現在の音色に保存すると、再起動した後もその音色を選択すると保存したダンパーレゾナンスの値が反映されます。

ダンパーレゾナンスの設定後、コンサートチューナー詳細設定画面で、保存をタップします。



● ダンパーノイズ

ダンパーペダルを踏んだときと、離れたとき、ダンパーヘッドが弦に触れたり、離れたりする際のノイズ音が発生します。このノイズの音量を調整します。

ダンパーノイズを設定する

詳細設定画面で、ダンパーノイズの●(スライダー)を動かして、値を設定します。値はオフ、1~10です。「1」がもっとも小さく、「10」がもっとも大きくなります。「オフ」の場合はダンパーノイズは鳴りません。

※ ダンパーノイズはピアノ音色のみに効果があります。

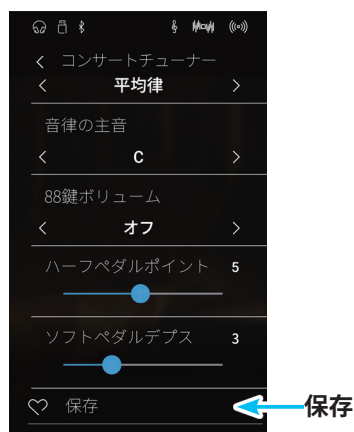


NV10を設定する

ダンパーノイズの設定を音色に保存する

設定したダンパーノイズの値を現在の音色に保存すると、再起動した後もその音色を選択すると保存したダンパーノイズの値が反映されます。

ダンパーノイズの設定後、コンサートチューナー詳細設定画面で、保存をタップします。



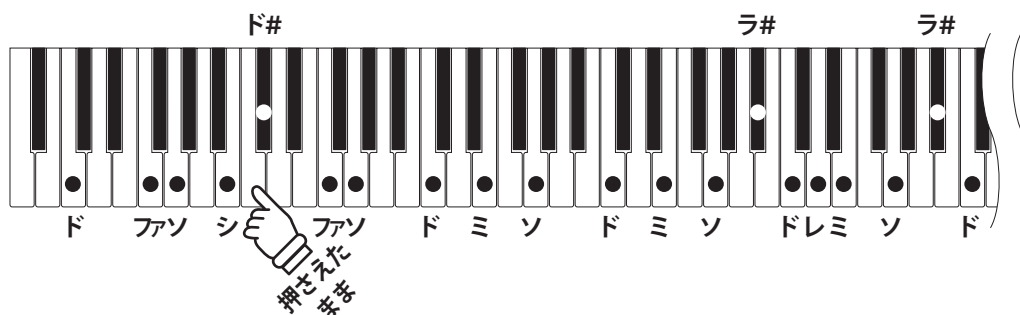
● スtring レゾナンス ★

ピアノの弦の共鳴効果(STRING レゾナンス)をシミュレートしたもので、この共鳴音の音量を好みに合わせて変更することができます。

STRING レゾナンスとは？

ピアノは各鍵盤毎に弦が張られています。ある鍵盤を押さえた状態で他の鍵盤を弾くと、2つの鍵盤の音程の関係によって弦の共鳴が発生して音が出ます。これが「STRING レゾナンス」です。

例えばドの鍵盤を押さえたままの時、下図の鍵盤を弾くとドの鍵盤の弦が共鳴して音が出ます。ドの鍵盤をそっと押さえたままにして下図の鍵盤を弾いてすぐに止めると共鳴音が鳴っていることが良くわかります。



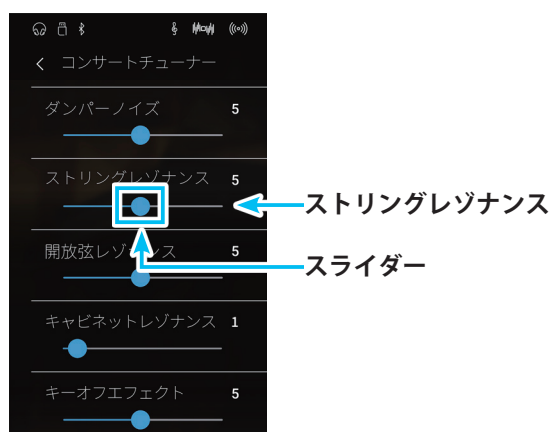
ピアノではある鍵盤を押さえたままにして隣の鍵盤を弾くと振動が伝わっておさえていた弦が共鳴して音が出ます。NV10ではこの現象もシミュレートしています。

ダンパーペダルを踏んだまま弾いた場合はSTRING レゾナンス効果はありません。

STRING レゾナンスの値を設定する

詳細設定画面で、STRING レゾナンスの●(スライダー)を動かして、値を設定します。値はオフ、1~10です。「1」がもっとも小さく、「10」がもっとも大きく鳴ります。「オフ」の場合は弦の共鳴音はありません。

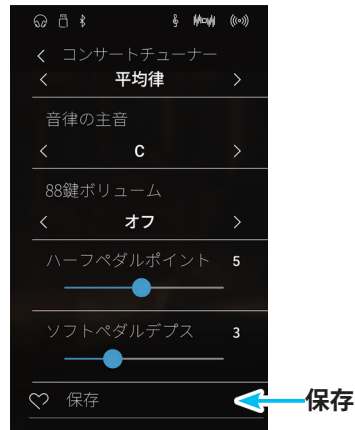
※ STRING レゾナンスはピアノ音色のみに効果があります。



ストリングレゾナンスの設定を音色に保存する

設定したストリングレゾナンスの値を現在の音色に保存すると、再起動した後もその音色を選択すると保存したストリングレゾナンスの値が反映されます。

ストリングレゾナンスの設定後、コンサートチューナー詳細設定画面で、保存をタップします。



● 開放弦レゾナンス★

グランドピアノの高音部はダンパーが付いておらず、その高音部の弦はダンパーペダルを踏む/踏まないに関わらず常に開放されている状態となっています。開放弦レゾナンスは、その常に開放されている高音部の弦共鳴をシミュレートします。

開放弦レゾナンスの値を設定する

詳細設定画面で、開放弦レゾナンスの●(スライダー)を動かして、値を設定します。値はオフ、1～10です。「1」がもっとも弱く「10」がもっとも強く鳴ります。「オフ」の場合は弦の共鳴はありません。

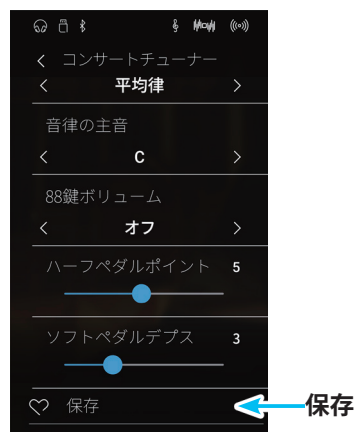
※ 開放弦レゾナンスはピアノ音色のみに効果があります。



開放弦レゾナンスの設定を音色に保存する

設定した開放弦レゾナンスの値を現在の音色に保存すると、再起動した後もその音色を選択すると保存した開放弦レゾナンスの値が反映されます。

開放弦レゾナンスの設定後、コンサートチューナー詳細設定画面で、保存をタップします。



NV10を設定する

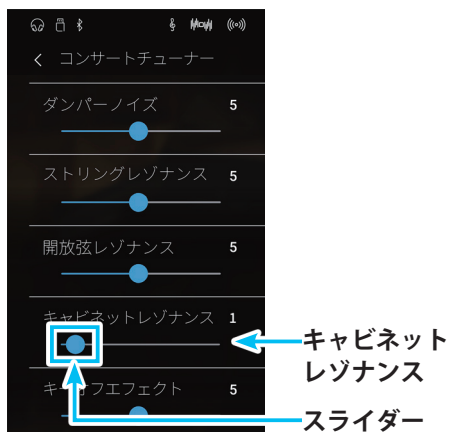
● キャビネットレゾナンス★

キャビネットレゾナンスはグランドピアノの筐体そのものの余韻をシミュレートします。

キャビネットレゾナンスの値を設定する

詳細設定画面で、キャビネットレゾナンスの●(スライダー)を動かして、値を設定します。値はオフ、1~10です。「1」がもっとも弱く「10」がもっとも強く鳴ります。「オフ」の場合は筐体の余韻はありません。

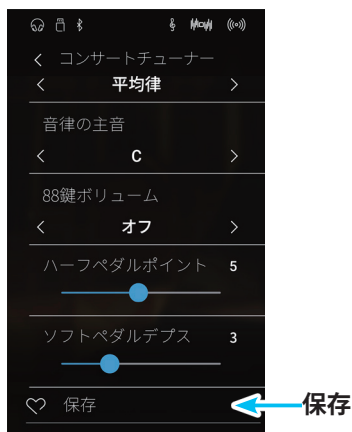
※ キャビネットレゾナンスはピアノ音色のみに効果があります。



キャビネットレゾナンスの設定を音色に保存する

設定したキャビネットレゾナンスの値を現在の音色に保存すると、再起動した後もその音色を選択すると保存したキャビネットレゾナンスの値が反映されます。

キャビネットレゾナンスの設定後、コンサートチューナー詳細設定画面で、保存をタップします。



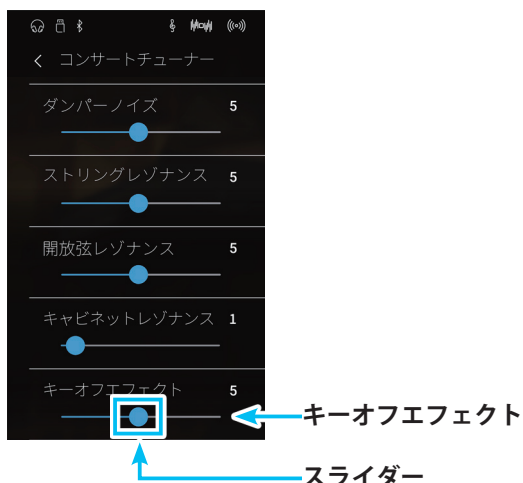
● キーオフエフェクト★

特に低音でピアノの鍵盤を強く弾いてから離れたときに、音が止まる直前にダンパーが弦に触れる音をシミュレートしたもので、この音量をお好みに合わせて調整することができます。

キーオフエフェクトの値を設定する

詳細設定画面で、キーオフエフェクトの●(スライダー)を動かして、値を設定します。値はオフ、1~10です。「1」がもっとも弱く、「10」がもっとも強く鳴ります。「オフ」の場合効果はありません。

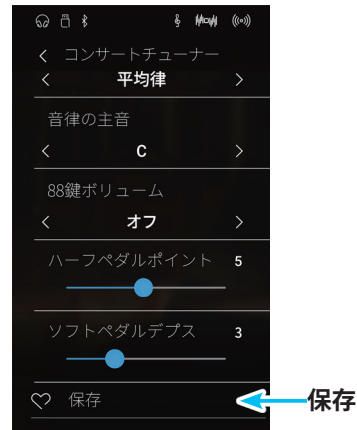
※ キーオフエフェクトはピアノ音色、クラシック E.ピアノ、60's E.ピアノ、クラシック E.ピアノ2にのみ効果があります。



キーオフエフェクトの設定を音色に保存する

設定したキーオフエフェクトの値を現在の音色に保存すると、再起動した後もその音色を選択すると保存したキーオフエフェクトの値が反映されます。

キーオフエフェクトの設定後、コンサートチューナー詳細設定画面で、保存をタップします。



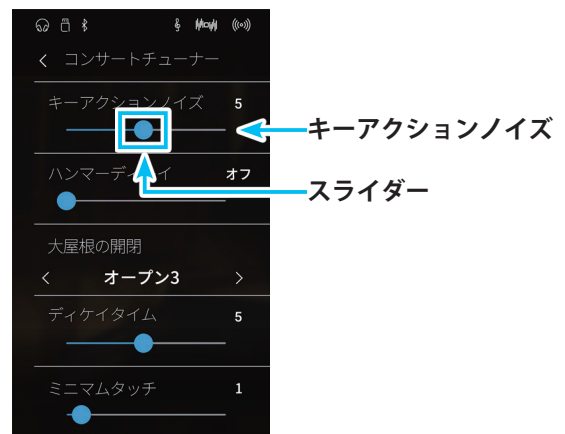
● キーアクションノイズ

ピアノでは、鍵盤を離した際に鍵盤アクションも同時に戻りますが、この際に鍵盤アクションからノイズ音が発生します。キーアクションノイズはこのノイズ音をシミュレートしたもので、このノイズの音量を設定することができます。

キーアクションノイズを設定する

詳細設定画面で、キーアクションノイズの●(スライダー)を動かして、値を設定します。値はオフ、1~10です。「1」がもっとも小さく、「10」がもっとも大きく鳴ります。「オフ」の場合はキーアクションノイズは鳴りません。

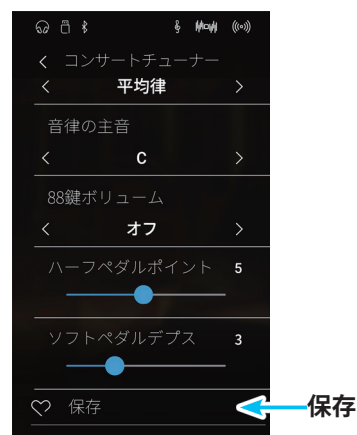
※ キーアクションノイズはピアノ音色、ハーブシコード、オクターブハーブシコード、ハーブシコード2に効果があります。



キーアクションノイズの設定を音色に保存する

設定したキーアクションノイズの値を現在の音色に保存すると、再起動した後もその音色を選択すると保存したキーアクションノイズの値が反映されます。

キーアクションノイズの設定後、コンサートチューナー詳細設定画面で、保存をタップします。



NV10を設定する

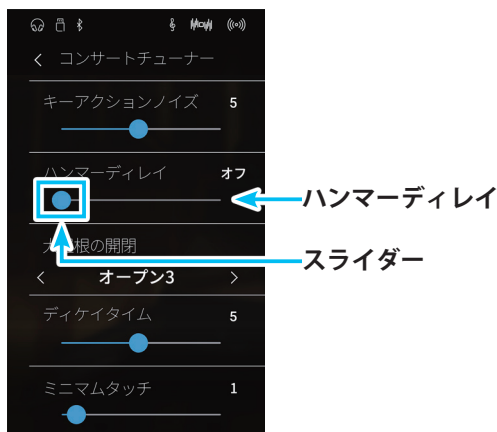
●ハンマーディレイ

ピアノでは、ピアノシモ(最弱打)で弾いた際、ハンマーが弦を叩くタイミングがわずかに遅くなります。ハンマーディレイはこのハンマーの遅れをシミュレートしたもので、演奏しやすいタイミングに調整することができます。

ハンマーディレイを設定する

詳細設定画面で、ハンマーディレイの●(スライダー)を動かして、値を設定します。値はオフ、1~10です。「1」がもっともハンマー遅れが小さく、「10」がもっともハンマー遅れが大きくなります。「オフ」の場合はハンマーディレイは発生しません。

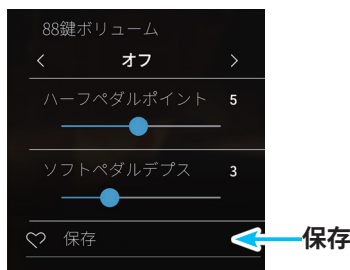
※ハンマーディレイはピアノ音色のみに効果があります。



ハンマーディレイの設定を音色に保存する

設定したハンマーディレイの値を現在の音色に保存すると、再起動した後もその音色を選択すると保存したハンマーディレイの値が反映されます。

ハンマーディレイの設定後、コンサートチューナー詳細設定画面で、保存をタップします。



●大屋根の開閉★

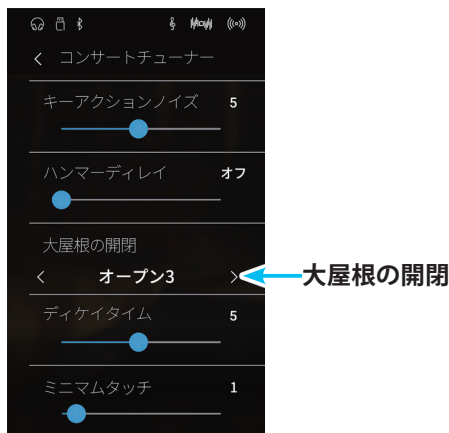
グランドピアノの大屋根の開き具合による音の違いをシミュレートします。

種類	効果
オープン3	大屋根を一番開いた状態を再現します。
オープン2	大屋根を中程度開いた状態を再現します。
オープン1	大屋根を少し開いた状態を再現します。
クローズ	大屋根を閉じた状態を再現します。

大屋根の開閉を設定する

詳細設定画面で、大屋根の開閉の領域で左右にスワイプして、大屋根の種類を選択します。

※大屋根の開閉はピアノ音色のみに効果があります。



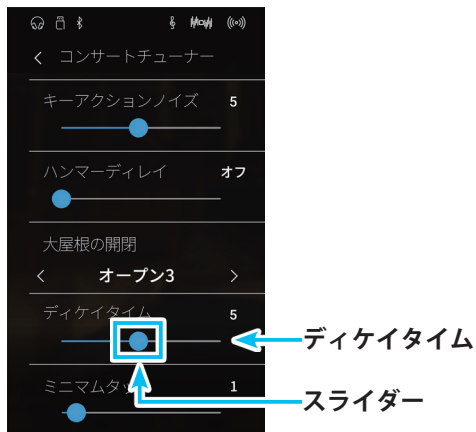
● ディケイタイム★

鍵盤を弾いたあとの音の減衰の長さを調整します。

ディケイタイムを設定する

詳細設定画面で、ディケイタイムの●(スライダー)を動かして、値を設定します。値は1～10があります。「1」がもっとも減衰が短く、「10」がもっとも減衰が長くなります。

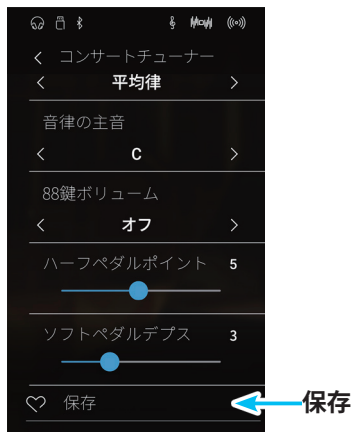
※ ディケイタイムは全音色に効果があります。



ディケイタイムの設定を音色に保存する

設定したディケイタイムの値を現在の音色に保存すると、再起動した後もその音色を選択すると保存したディケイタイムの値が反映されます。

ディケイタイムの設定後、コンサートチューナー詳細設定画面で、保存をタップします。



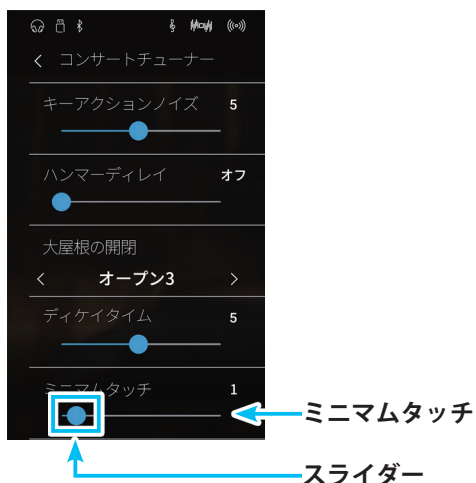
● ミニмумタッチ

ピアノによって、一番小さい音が出るタッチの強さは異なります。ミニмумタッチは、この一番小さい音が出るタッチの強さを設定することができます。

ミニмумタッチを設定する

詳細設定画面で、ミニмумタッチの●(スライダー)を動かして、値を設定します。値は1～20があります。「1」がもっともミニмумタッチが小さく、非常に弱いタッチでも音がでます。「20」がもっともミニмумタッチが大きくなり、非常に弱いタッチだと音が出なくなります。

※ ミニмумタッチはピアノ音色、クラシック E.ピアノ、60's E.ピアノ、クラシック E.ピアノ2に効果があります。

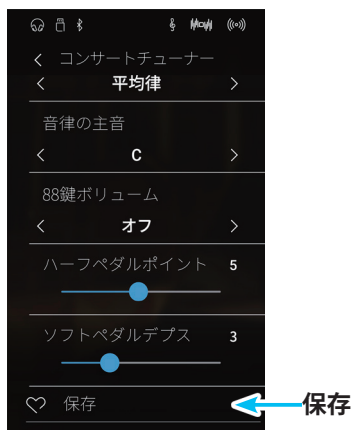


NV10を設定する

ミニマムタッチの設定を音色に保存する

設定したミニマムタッチの値を現在の音色に保存すると、再起動した後もその音色を選択すると保存したミニマムタッチの値が反映されます。

ミニマムタッチの設定後、コンサートチューナー詳細設定画面で、保存をタップします。



● ストレッチチューニング★

ストレッチチューニングとは通常の平均律に比べ低音側は低く、高音側は高くするピアノ特有の調律のことです。NV10は2種類のストレッチチューニングから選ぶことができます。この機能は音律の設定(P. 122)で平均律が選ばれているときのみ有効な機能です。

ストレッチチューニングの種類

名称	説明
オフ	通常の平均律のチューニングそのままの状態です。
ノーマル	通常の平均律に比べ低音側は低く、高音側は高くなります。
ワイド	通常の平均律に比べ低音側はより低く、高音側はより高くなります。
ユーザー	1鍵1鍵ごとにチューニングを設定できます。

ストレッチチューニングを選択する

詳細設定画面で、ストレッチチューニングの領域で左右にスワイプして、「オフ」、「ノーマル」、「ワイド」の中から好みのストレッチチューニングを選択します。

「ユーザー」を選択した場合は「ユーザーチューニングを設定する」をご覧ください。

※ ストレッチチューニングの設定は全音色に効果があります。



ユーザーチューニングを設定する

1. 詳細設定画面で、ストレッチチューニングの領域を左右にスワイプしてユーザーを選択します。
編集ボタンをタップすると、ユーザーチューニング画面が表示されます。

ユーザーチューニング画面

① 戻るボタン

詳細設定画面に戻ります。

② 鍵盤表示

鍵盤を押すと、ユーザーチューニングを設定する鍵盤番号が表示されます。

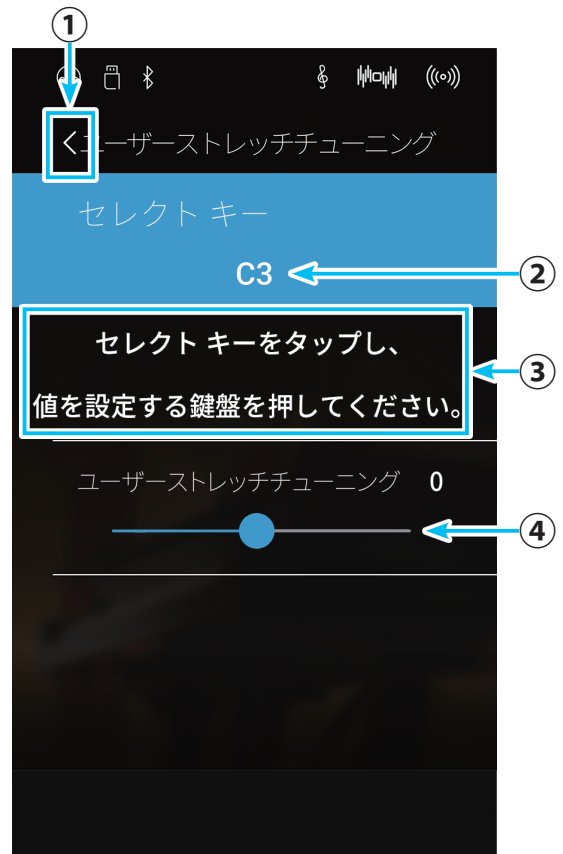
③ 案内表示

操作説明を表示します。

④ ユーザーストレッチチューニング

ストレッチチューニングの値を設定します。

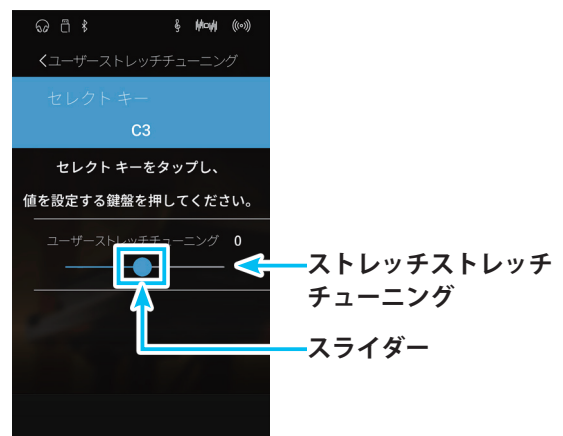
2. チューニングする鍵盤を押します。



3. ● (スライダー) を動かして値を設定します。-50 ~ +50 まで設定できます。

4. < (戻る) ボタンをタップします。ユーザーチューニング画面が閉じます。

※ ユーザーチューニングは全音色に効果があります。

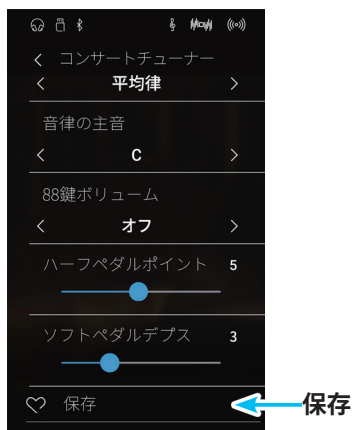


NV10を設定する

ストレッチチューニング/ユーザーチューニングの設定を音色に保存する

設定したチューニングの値を現在の音色に保存すると、再起動した後もその音色を選択すると保存したチューニングの値が反映されます。

ストレッチチューニング/ユーザーチューニングの設定後、コンサートチューナー詳細設定画面で、保存をタップします。



● 音律の設定★

NV10ではピアノの調律法として、最も一般的な平均律だけでなく、ルネッサンス、バロック等の時代に用いられた古典音律にも設定することができます。

音律の種類

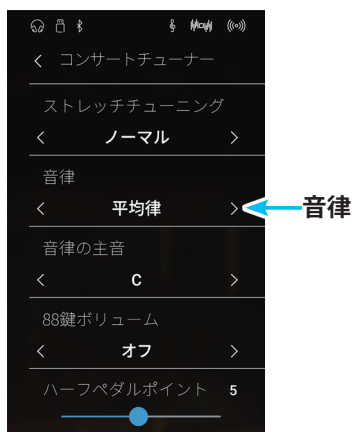
音律名	音律の説明
平均律	現在のピアノの調律方法として最も一般的なもので、どのように転調や移調をしても和音の響きが変わらないという特長があります。
純正律(長調/短調)	主要な3度と5度のうなりをなくした調律法です。 主要3和音が美しく響きますが、それ以外の和音は濁るものがあります。 ※ 演奏する楽曲の調に合わせて主音を設定してお使いください。
ピタゴラス音律	ほとんどの5度のうなりをなくした調律法で、多くの3度がうなるため和音を演奏すると響きが濁りますが、旋律を演奏するとその個性が良く出るのが特長です。
中全音律	主要な長3度のうなりをなくすために少しだけ5度のうなりを許した調律法で、古い時代の鍵盤楽器で広く使用されました。
ヴェルクマイスター第三法 キルンベルガー第三法	調号の少ない調は、和音の美しい中全音律に近く、調号が増えるにしたがって、旋律の個性が良く出るピタゴラス音律に近づく調律法です。古典音楽の作曲家の意図した“調性の性格”を反映することができます。
ユーザー音律	オリジナルの音律を設定できます。

音律を選択する

詳細設定画面で、音律の領域で左右にスワイプして、音律を選択します。

「ユーザー」を選択した場合は「ユーザー音律の設定」をご覧ください。

※ 音律の設定は全音色に効果があります。



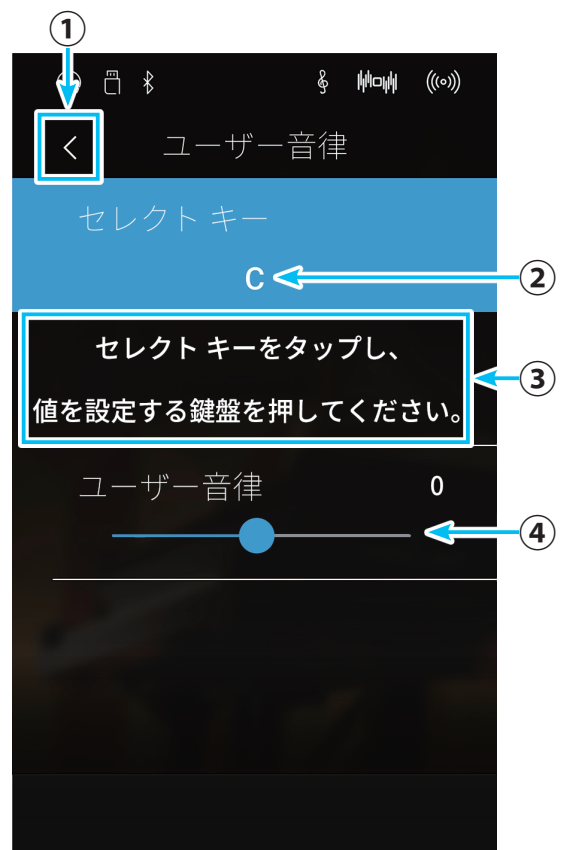
ユーザー音律の設定

ユーザー音律では各音のセント値(100セント=半音)が設定できます。

1. 詳細設定画面で、音律の領域で左右にスワイプして、ユーザーを選択します。
編集ボタンをタップすると、ユーザー音律画面が表示されます。

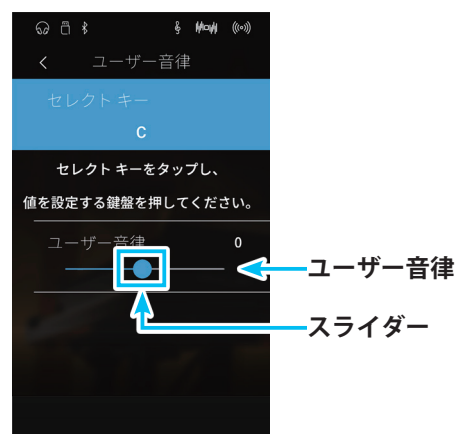
ユーザー音律画面

- ① 戻るボタン
詳細設定画面に戻ります。
 - ② 鍵盤表示
鍵盤を押すと、音律を設定する鍵盤番号が表示されます。
 - ③ 案内表示
操作説明を表示します。
 - ④ ユーザー音律
音律の値を設定します。
2. 設定する鍵盤を押します。



3. ● (スライダー)を動かしてセント値を設定します。
-50～+50まで設定できます。
4. < (戻る)ボタンをタップします。
ユーザー音律画面が閉じます。

※ ユーザー音律は全音色に効果があります。

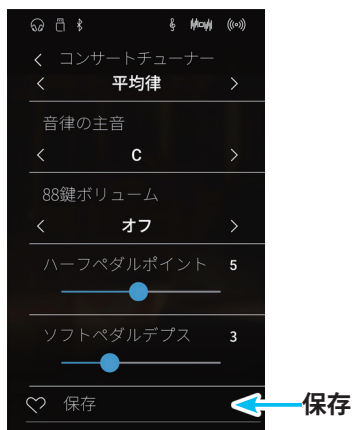


NV10を設定する

音律/ユーザー音律の設定を音色に保存する

設定した音律/ユーザー音律の値を現在の音色に保存すると、再起動した後もその音色を選択すると保存した音律/ユーザー音律の値が反映されます。

音律/ユーザー音律の設定後、コンサートチューナー詳細設定画面で、保存をタップします。



● 音律の主音の設定★

平均律以外の音律は調号に合わせた音律ですので、音律の主音を設定します。演奏する曲の調号に合わせます。

主音を選択する

詳細設定画面で、音律の主音の左右にスワイプして、音律の主音を選択します。「C～B」の間で設定できます。

平均律(フラット)を選択している場合は主音の設定をしても変化はありません。

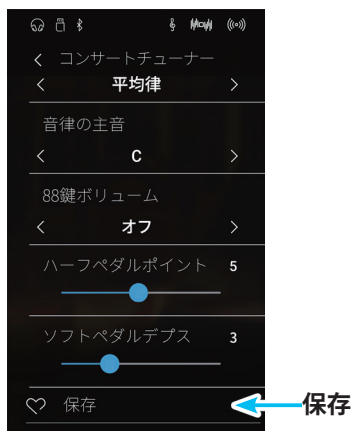
※ 音律の主音の設定は全音色に効果があります。



音律の主音の設定を音色に保存する

設定した音律の主音の値を現在の音色に保存すると、再起動した後もその音色を選択すると保存した音律の主音の値が反映されます。

音律の主音の設定後、コンサートチューナー詳細設定画面で、保存をタップします。



● 88鍵ボリューム

ピアノでは、鍵盤によって音量が異なります。これを88鍵ボリュームと呼びます。NV10では、4種類の88鍵ボリュームに加え、演奏する人の好みに88鍵それぞれの音量を調整できるユーザー88鍵ボリュームを搭載しています。

88鍵ボリュームの種類

名称	説明
オフ	通常の状態です。
ハイダンピング	上の音域に行くに従って、音量が次第に減少します。
ローダンピング	下の音域に行くに従って、音量が次第に減少します。
ハイ&ローダンピング	上と下の音域に行くに従って、音量が次第に減少します。
センターダンピング	中央の鍵盤の音量が次第に減少します。
ユーザー	88鍵それぞれの音量をお好みに調整できます。

88鍵ボリュームを選択する

詳細設定画面で、88鍵ボリュームの領域で左右にスワイプして、88鍵ボリュームの種類を選択します。ユーザーを選択した場合は「ユーザー88鍵ボリュームを設定する」をご覧ください。

※ 88鍵ボリュームは全音色に効果があります。



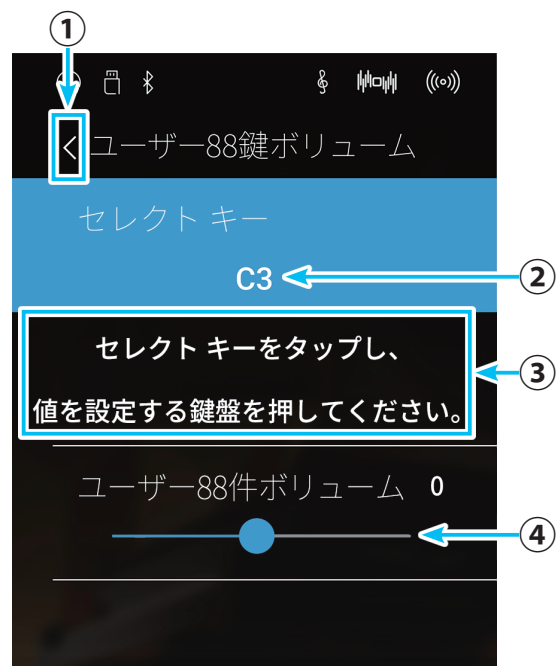
ユーザー88鍵ボリュームを設定する

1. 詳細設定画面で、88鍵ボリュームの領域で左右にスワイプして、ユーザーを選択します。
編集ボタンをタップすると、ユーザー88鍵ボリューム設定画面が表示されます。

ユーザー88鍵ボリューム設定画面

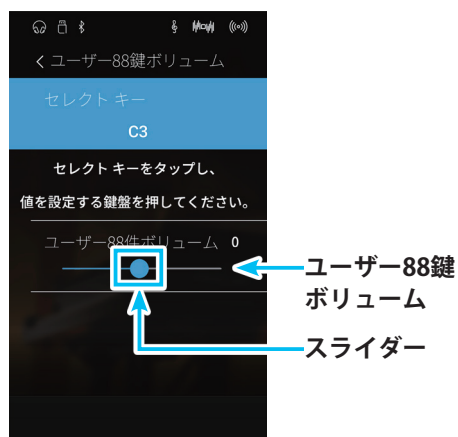
- ① **戻るボタン**
詳細設定画面に戻ります。
- ② **鍵盤表示**
選択された鍵盤番号を表示します。
- ③ **案内表示**
操作方法などの説明を表示します。
- ④ **ユーザー88鍵ボリューム**
88鍵ボリュームを調節します。

2. 設定する鍵盤を押します。



NV10を設定する

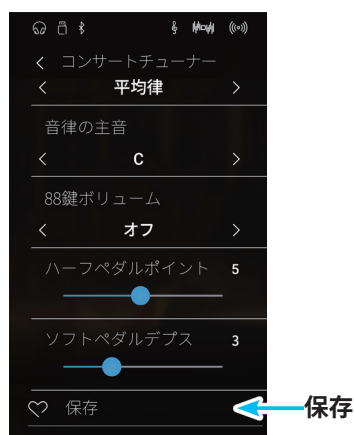
3. ● (スライダー)を動かしてユーザー88鍵ボリュームを設定します。
-50～+50まで設定できます。
4. < (戻る) ボタンをタップします。
ユーザー88鍵ボリューム設定画面が閉じます。



88鍵ボリューム/ユーザー88鍵ボリュームの設定を音色に保存する

設定した88鍵ボリューム/ユーザー88鍵ボリュームの値を現在の音色に保存すると、再起動した後もその音色を選択すると保存した88鍵ボリューム/ユーザー88鍵ボリュームの値が反映されます。

88鍵ボリューム/ユーザー88鍵ボリュームの設定後、コンサートチューナー詳細設定画面で、保存をタップします。



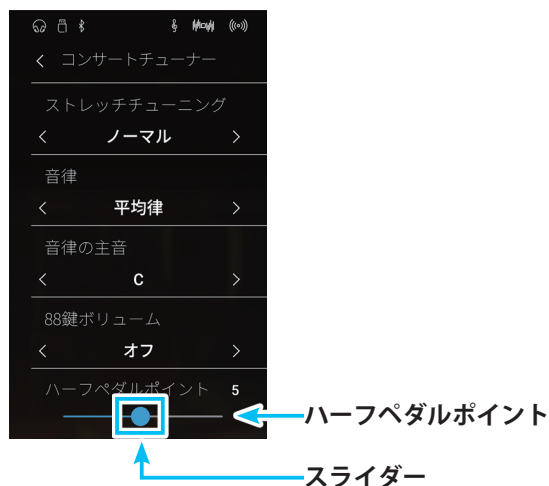
● ハーフペダルポイント

ハーフペダルポイントでは、ダンパーペダルにおいてハーフペダルが掛かり始めるポイント (音が伸び始めるポイント) を調整することができます。

ハーフペダルポイントを設定する

詳細設定画面で、ハーフペダルポイントの● (スライダー) を動かして、ハーフペダルポイントの値を設定します。値は1～10です。「1」がもっともハーフペダルスタートが早く、「10」がもっとも遅くなります。

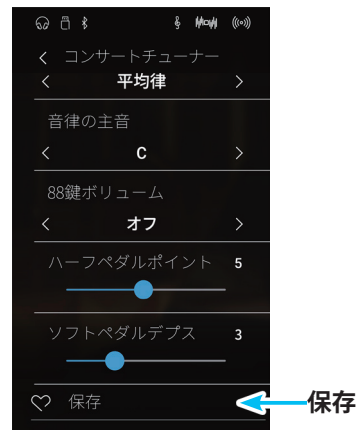
※ ハーフペダルポイントは全音色に効果があります。



ハーフペダルポイントの設定を音色に保存する

設定したハーフペダルポイントの値を現在の音色に保存すると、再起動した後もその音色を選択すると保存したハーフペダルポイントの値が反映されます。

ハーフペダルポイントの設定後、コンサートチューナー詳細設定画面で、保存をタップします。



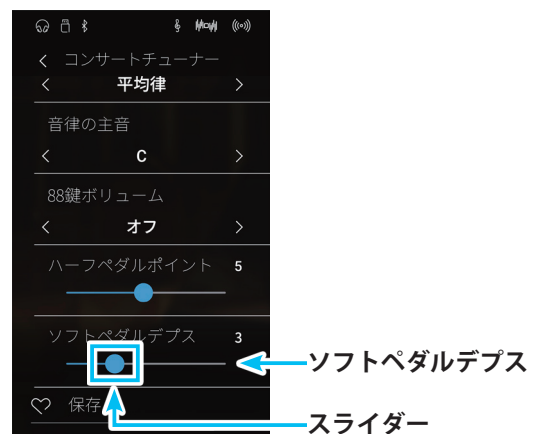
● ソフトペダルデプス

ソフトペダルデプスでは、ソフトペダルにおいてソフトペダルの効き具合を調整することができます。

ソフトペダルデプスを設定する

詳細設定画面で、ソフトペダルデプスの●(スライダー)を動かして、ソフトペダルデプスの値を設定します。値は1～10です。「1」がもっともソフトペダルの効きが弱く、「10」がもっとも強くなります。

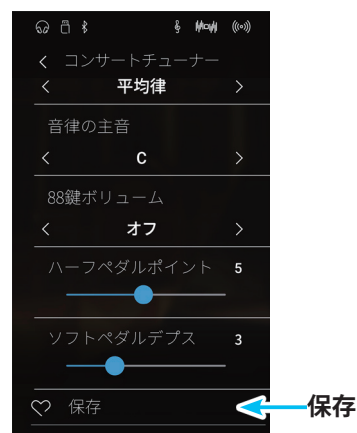
※ソフトペダルデプスは全音色に効果があります。



ソフトペダルデプスの設定を音色に保存する

設定したソフトペダルデプスの値を現在の音色に保存すると、再起動した後もその音色を選択すると保存したソフトペダルデプスの値が反映されます。

ソフトペダルデプスの設定後、コンサートチューナー詳細設定画面で、保存をタップします。



4. サウンドセッティング

NV10の音量や音質に関する設定を行います。

サウンドセッティングの種類と初期設定

種類	初期設定	説明
チューニング	440.0Hz	音のピッチ(音程)を調整します。
ダンパーホールド	OFF	ダンパーペダルを踏んで鍵盤を弾いたときに鍵盤から手を離れた後も音を持続させます。
トーンコントロール	オフ	音質を調整します。
スピーカーボリューム	ノーマル	スピーカーの音量を選択します。
ラインインレベル	0	ライン入力レベルを調節します。
ウォールEQ	OFF	壁際に設置したときに適した音質に設定します。
スペシャルヘッドホンサウンド	ノーマル	ヘッドホンでの演奏時に自然な立体感や臨場感を再現します。
ヘッドホンタイプ	ノーマル	お手持ちのヘッドホンに最適な音質に設定します。
ヘッドホンボリューム	ノーマル	ヘッドホンの音量を設定します。

サウンドセッティング画面を表示する

1. ピアニストメニュー画面またはサウンドメニュー画面で、サウンドセッティングボタンをタップします。サウンドセッティング画面が表示されます。ピアニストメニュー画面から表示されたサウンドセッティングとサウンドメニュー画面から表示されたサウンドセッティング画面が一部異なります。



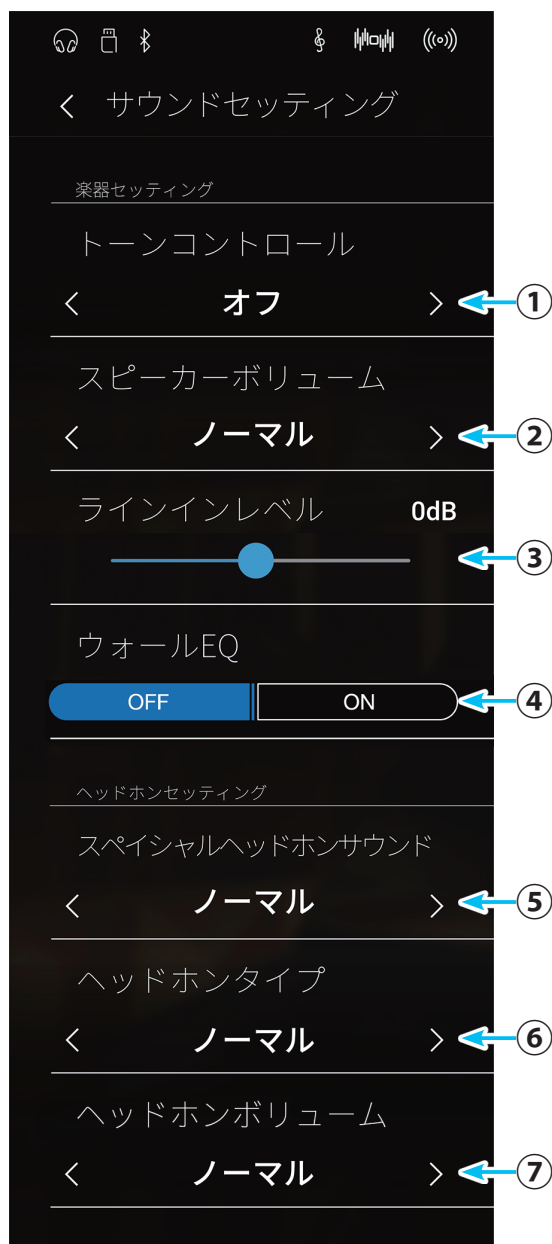
ピアノメニュー画面



サウンドメニュー画面

サウンドセッティング(ピアニストメニュー)画面

- ① トーンコントロール
音質を調整します。(P.132)
- ② スピーカーボリューム
スピーカーの音量を選択します。(P.134)
- ③ ラインインレベル
ライン入力レベルを調節します。(P.134)
- ④ ウォールEQ ON/OFFスイッチ
ウォールEQをON/OFFします。(P.135)
- ⑤ スペシャルヘッドホンサウンド
スペシャルヘッドホンサウンドを選択します。
(P.135)
- ⑥ ヘッドホンタイプ
ヘッドホンのタイプを選択します。(P.136)
- ⑦ ヘッドホンボリューム
ヘッドホンの音量を選択します。(P.136)



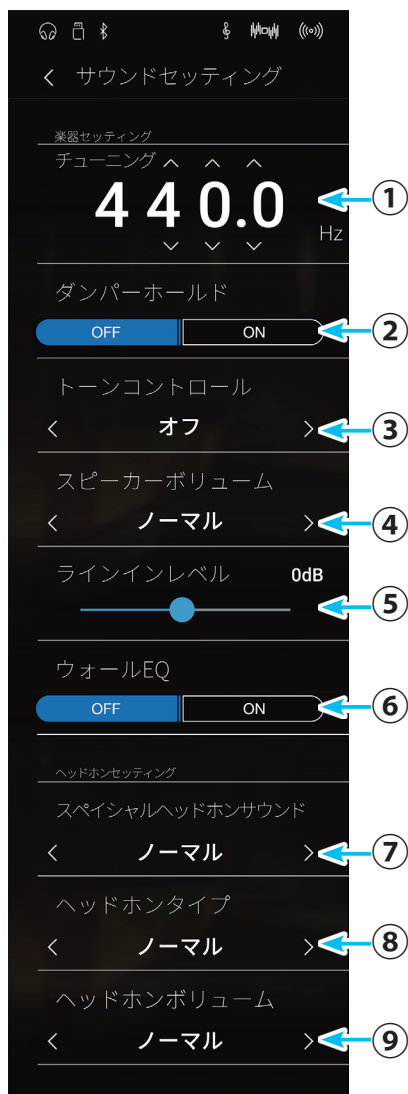
※ 上記の画面は説明のために、メニュー項目を全て表示しています。実際には1度に全部のメニューを表示することはできません。スクロールして表示します。

NV10を設定する

サウンドセッティング(サウンドメニュー)画面

各機能の詳細と操作方法は、サウンドセッティング(サウンド)画面の該当する項目のページをご覧ください。

- ① **チューニング**
音のピッチ(音程)を調整します。(P. 131)
- ② **ダンパーホールドON/OFFスイッチ**
ダンパーペダルを踏んで鍵盤を弾いたときに鍵盤から手を離れた後も音を持続させる機能をON/OFFします。(P. 131)
- ③ **トーンコントロール**
音質を調整します。(P. 132)
- ④ **スピーカーボリューム**
スピーカーの音量を選択します。(P. 134)
- ⑤ **ラインインレベル**
ライン入力レベルを調節します。(P. 134)
- ⑥ **ウォールEQ ON/OFFスイッチ**
ウォールEQをON/OFFします。(P. 135)
- ⑦ **スペシャルヘッドホンサウンド**
スペシャルヘッドホンサウンドを選択します。(P. 135)
- ⑧ **ヘッドホンタイプ**
ヘッドホンのタイプを選択します。(P. 136)
- ⑨ **ヘッドホンボリューム**
ヘッドホンの音量を選択します。(P. 136)



※ 上記の画面は説明のために、メニュー項目を全て表示しています。実際には1度に全部のメニューを表示することはできません。スクロールして表示します。

2. サウンドセッティングを終了するときには、画面上部の < (戻る) ボタンをタップします。
ピアニストメニュー画面またはサウンドメニュー画面に戻ります。



■ サウンドセッティングの各項目を設定する

★の項目は、サウンドメニュー画面から表示されたサウンドセッティング画面にのみ表示されます。

● チューニング★

音のピッチ(音程)を調整することができます。合奏のときやCDの再生に合わせて演奏するときなど、音程を合わせたいときに使用します。

ピッチを設定する

サウンドセッティング画面で、チューニングの数字の各桁を上下方向にスワイプして数値で設定します。

ピッチ周波数を0.5きざみで切り替えることができます。427.0～453.0(Hz)の間で設定します。

◀(戻る)ボタンをタップすると、元のピアニストメニュー画面またはサウンドメニュー画面に戻ります。



数字の各桁を上下にスワイプします。

● ダンパーホールド★

ダンパーホールドとは、ストリングアンサンブルのような持続音色(鍵盤を押しつづけている間鳴りつづける音色)に対して、ダンパーペダルを踏んで鍵盤を弾いたときに鍵盤から手を離れた後も音を持続させる機能です。

ダンパーホールドのON/OFFを設定する

サウンドセッティング画面で、ダンパーホールドON/OFFスイッチをタップして、ON/OFFを切り替えます。

「ON」にするとダンパーペダルを踏んで持続音色を弾いた時に、鍵盤から手を離れた後も音が持続します。

「OFF」にするとダンパーペダルを踏んで持続音色を弾いた時に、鍵盤から手を離れた後、音が減衰します。



ダンパーホールドON/OFFスイッチ

NV10を設定する

● トーンコントロール

トーンコントロールによって演奏や設置場所にに応じて、適した音質に設定することができます。トーンコントロールの種類は以下のようになっています。

トーンコントロールの種類

種類	効果
オフ	トーンコントロールはかかりません。
ブリリアンス	音色の明るさを調整します。
ラウドネス	小さい音量時でも通常音量時のような適切な音質が得られます。
バスブースト	低音を強調した音質です。
トレブルブースト	ブースト高音を強調した音質です。
ミッドカット	やわらかい音質です。
ユーザー	自分で音質を調整できます。低域(20-100Hz)と中域1(250-4000Hz)、中域2、高域(5000-20000Hz)をそれぞれ調節することが可能です。中域1と中域2については周波数を選択することも可能です。

トーンコントロールの種類を選択する

サウンドセッティング画面で、トーンコントロールの領域で左右にスワイプして種類を選択します。

※「ブリリアンス」と「ユーザー」はさらに設定値を変更することができます。次項「ブリリアンスを設定する」、「ユーザー設定をする」をご覧ください。



トーンコントロール

ブリリアンスを設定する

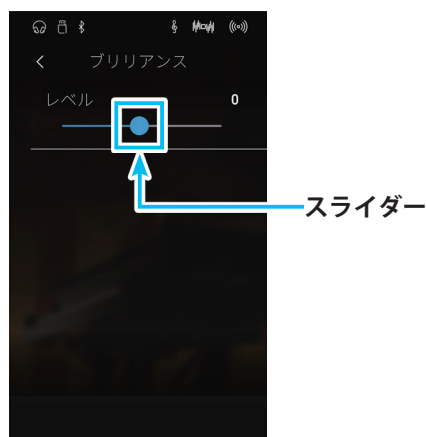
1. サウンドセッティング画面のトーンコントロールでブリリアンスを選択します。
編集ボタンをタップすると、ブリリアンス設定画面が表示されます。

ブリリアンス設定画面

- ① 戻るボタン
サウンドセッティング画面に戻ります。
- ② レベル
ブリリアンスのレベルを調節します。



2. ●(スライダー)を動かしてプリリアンスを設定します。
値は、-10~+10の範囲で調節できます。+10がもっとも音色が明るく、-10がもっとも暗くなります。
3. 設定を終了したら、<(戻る)ボタンをタップします。
サウンドセッティング画面に戻ります。



ユーザー設定をする

各音域ごとに音量、周波数を設定し、オリジナルの音質を作成することができます。

1. サウンドセッティング画面のトーンコントロールでユーザーを選択します。
編集ボタンをタップすると、トーンコントロールユーザー設定画面が表示されます。

トーンコントロールユーザー設定画面

- ① **戻るボタン**
サウンドセッティング画面に戻ります。
 - ② **低域レベル**
低域レベルを設定します。
 - ③ **中域1周波数**
中低域周波数を設定します。
 - ④ **中域1レベル**
中低域のレベルを設定します。
 - ⑤ **中域2周波数**
中高域周波数を設定します。
 - ⑥ **中域2レベル**
中高域のレベルを設定します。
 - ⑦ **高域レベル**
高域のレベルを設定します。
2. 周波数はそれぞれ領域で左右にスワイプして設定します。
 3. レベルはそれぞれの●(スライダー)を動かして調節します。
 4. 設定を終了したら、<(戻る)ボタンをタップします。
サウンドセッティング画面に戻ります。



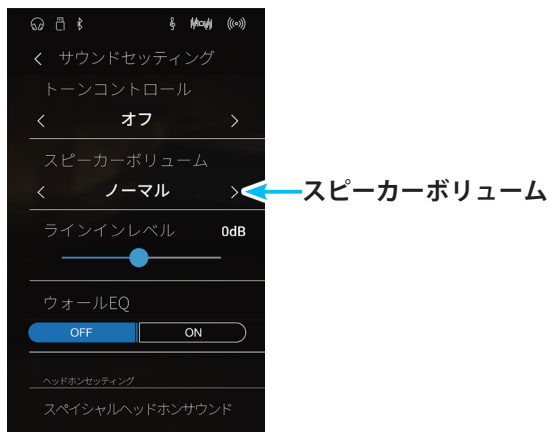
NV10を設定する

● スピーカーボリューム

初期設定は、「ノーマル」になっています。「小さい」に設定すると、スピーカーの最大音量が小さくなります。大きな音量が必要な場合は、この設定にすることで、より細かく音量調整することが可能となります。

ボリュームを設定する

1. サウンドセッティング画面で、スピーカーボリュームの領域を左右にスワイプして選択します。
2. 「ノーマル」または「小さい」が切り替わります。どちらかを選びます。
3. 設定を終了したら、**<** (戻る) ボタンをタップします。サウンドセッティング画面に戻ります。

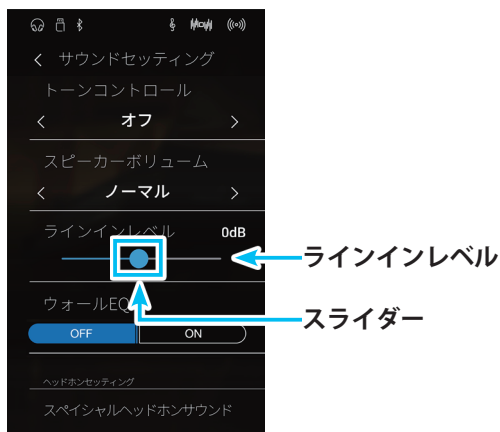


● ラインインレベル

[LINE IN] 端子の入力レベルを調整します。

ラインインレベルを設定する

1. サウンドセッティング画面でラインインレベルの●(スライダー)を動かして、入力レベルを設定します。-10 ~ 10dBの範囲で設定します。
2. 設定を終了したら、**<** (戻る) ボタンをタップします。



● ウォールEQ

ウォールEQとは、壁際に設置したときに適した音質に設定する機能です。

ウォールEQを設定する

1. サウンド設定画面で、ウォールEQ ON/OFFスイッチをタップして、ON/OFFを切り替えます。

「ON」： NV10を壁際に設置したときに最適な音質になります。

「OFF」： ステージなど、壁のない場所に設置したときに最適な音質になります。

2. 設定を終了したら、< (戻る) ボタンをタップします。



ウォールEQ ON/OFF
スイッチ

● スペシャルヘッドホンサウンド

イヤホンやヘッドホンでの演奏をより快適にするために、まるでアコースティックピアノから音が出ているような立体感/臨場感のあるサウンドを再現するのが「スペシャルヘッドホンサウンド」です。ヘッドホンやイヤホンを装着していても聴感上の違和感が少なく長時間でも疲れにくい演奏が可能になります。

スペシャルヘッドホンサウンドの種類

名称	説明
オフ	効果をかけない状態です。
フォワード	前方への定位を強調した立体感が得られます。
ノーマル	全方向バランスのとれた立体感が得られます。
ワイド	左右の広がりを強調した立体感が得られます。

スペシャルヘッドホンサウンドを設定する

1. サウンド設定画面で、スペシャルヘッドホンサウンドの領域を左右にスワイプして選択します。
スペシャルヘッドホンサウンドの値「オフ / フォワード / ノーマル / ワイド」が順次切り替わります。目的のモードを選択します。
2. 設定を終了したら、< (戻る) ボタンをタップします。



スペシャル
ヘッドホンサウンド

NV10を設定する

●ヘッドホンタイプ

世の中には色々なイヤホンやヘッドホンが存在しています。ヘッドホンには大きく分けて「オープンタイプ / セミオープンタイプ / クローズタイプ / インナーイヤータイプ / カナルタイプ」という5つのタイプがあります。NV10は、これらのタイプそれぞれの特徴に合わせた専用の設定を内蔵していますので、お手持ちのヘッドホンに最適な音で演奏することができます。

ヘッドホンタイプの種類

名称	説明
ノーマル	ヘッドホン専用の設定がされていない状態です。
オープン	オープン(開放)タイプのヘッドホンに適した設定です。
セミオープン	セミオープン(半開放)タイプのヘッドホンに適した設定です。
クローズ	クローズ(密閉)タイプのヘッドホンに適した設定です。
インナーイヤー	インナーイヤータイプのヘッドホンに適した設定です。
カナル	カナルタイプのヘッドホンに適した設定です。

ヘッドホンタイプを設定する

1. サウンドセッティング画面で、ヘッドホンタイプの領域を左右にスワイプして選択します。ヘッドホンタイプの値が順次切り替わります。ご利用のヘッドホンタイプを選択します。
2. 設定を終了したら、 (戻る) ボタンをタップします。



← ヘッドホンタイプ

●ヘッドホンボリューム

初期設定は、「ノーマル」になっています。「大きい」に設定にすると、ヘッドホンの最大音量が大きくなります。音量の小さいヘッドホンを使用するときなどに有効です。

ボリュームを設定する

1. サウンドセッティング画面で、ヘッドホンボリュームの領域を左右にスワイプして選択します。ヘッドホンボリュームの「ノーマル / 大きい」が切り替わります。ご利用のヘッドホンに合わせて選択します。
2. 設定を終了したら、 (戻る) ボタンをタップします。



← ヘッドホンボリューム

5. その他のセッティング

Bluetooth、USB、MIDI、カラータッチ液晶ディスプレイ(LCD)の設定などを行います。

■ その他のセッティングの種類と初期設定

Bluetoothの設定

種類	初期設定
Bluetooth MIDI	ON
Bluetoothオーディオ	ON
Bluetoothオーディオボリューム	0dB

USBの設定

種類	初期設定
リネームファイル	—
デリートファイル	—
USBフォーマット	—

MIDIの設定

種類	初期設定
MIDIチャンネル	1
プログラムナンバー送信	—
ローカルコントロール	ON
プログラムナンバー送信のON/OFF	ON
マルチティンバーモード	オフ
チャンネルミュート	プレイ

画面他の設定

種類	初期設定
LCDコントラスト	5
オートディスプレイオフ	OFF
オートパワーオフ	オフ
表示言語の設定	日本語
ファクトリーリセット	—
バージョン	— (※任意のバージョン)

■ セッティング画面を表示する

1. ピアニストメニュー画面またはサウンドメニュー画面で、セッティングボタンをタップします。セッティング画面が表示されます。

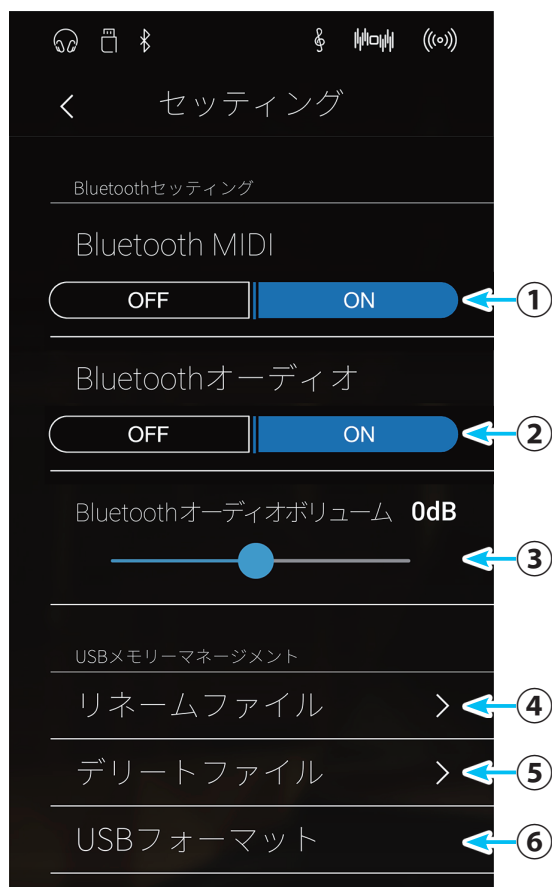


● セッティング画面

設定項目が多いので分類ごとに表示していますが、実際の画面ではスクロールして続けて表示することができます。

BluetoothとUSBの設定

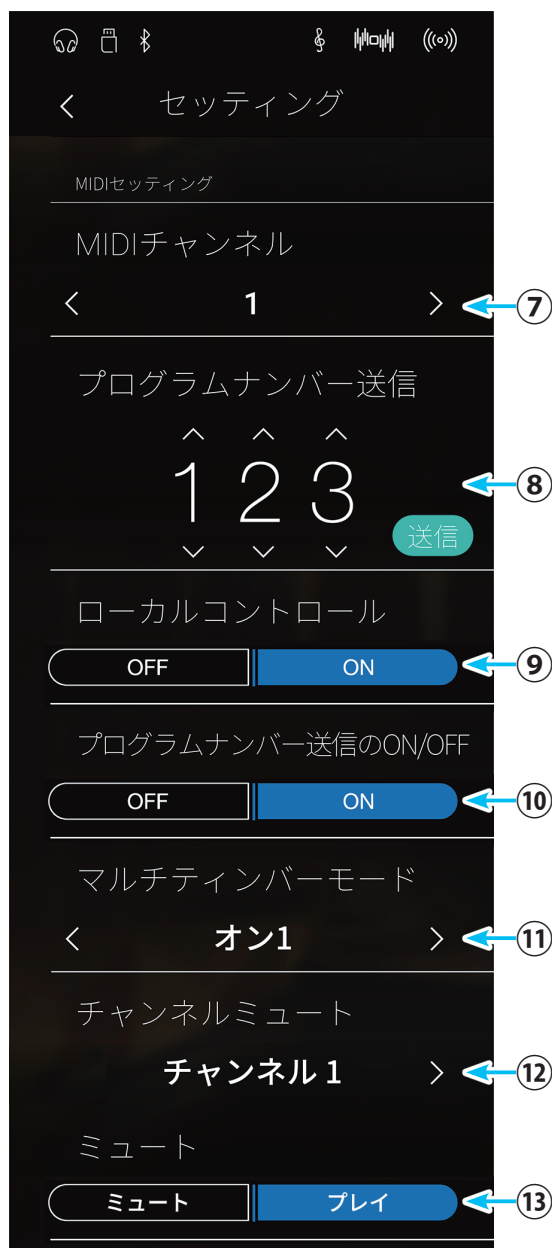
- ① **Bluetooth MIDI ON/OFFスイッチ**
Bluetooth MIDIをON/OFFします。(P. 141)
- ② **BluetoothオーディオON/OFFスイッチ**
BluetoothオーディオをON/OFFします。(P. 141)
- ③ **Bluetoothオーディオボリューム**
Bluetoothオーディオの音量を調節します。(P. 142)
- ④ **リネームファイル**
USBメモリ内のファイルの名前を変更します。(P. 143)
- ⑤ **デリートファイル**
USBメモリ内のファイルを削除します。(P. 144)
- ⑥ **USBフォーマット**
USBメモリをフォーマットします。(P. 145)



※ 上記の画面は説明のために、メニュー項目を分割して表示しています。実際にはMIDI設定やその他のセッティングもスクロールして同じ画面で表示することができます。

MIDIの設定

- ⑦ **MIDIチャンネル**
MIDIチャンネルを選択します。(P. 148)
- ⑧ **プログラムナンバー送信**
プログラムナンバーを設定、送信します。(P. 148)
- ⑨ **ローカルコントロールON/OFFスイッチ**
ローカルコントロールをON/OFFします。(P. 149)
- ⑩ **プログラムナンバー送信のON/OFFスイッチ**
プログラムチェンジナンバーの送信をON/OFFします。
(P. 149)
- ⑪ **マルチティンバーモード**
マルチティンバーモードを選択します。(P. 150)
※ Pianist選択時は機能しません。
- ⑫ **チャンネルミュート**
ミュートするチャンネルを選択します。(P. 150)
- ⑬ **ミュートスイッチ**
選択したチャンネルミュートをミュート/プレイします。
(P. 150)

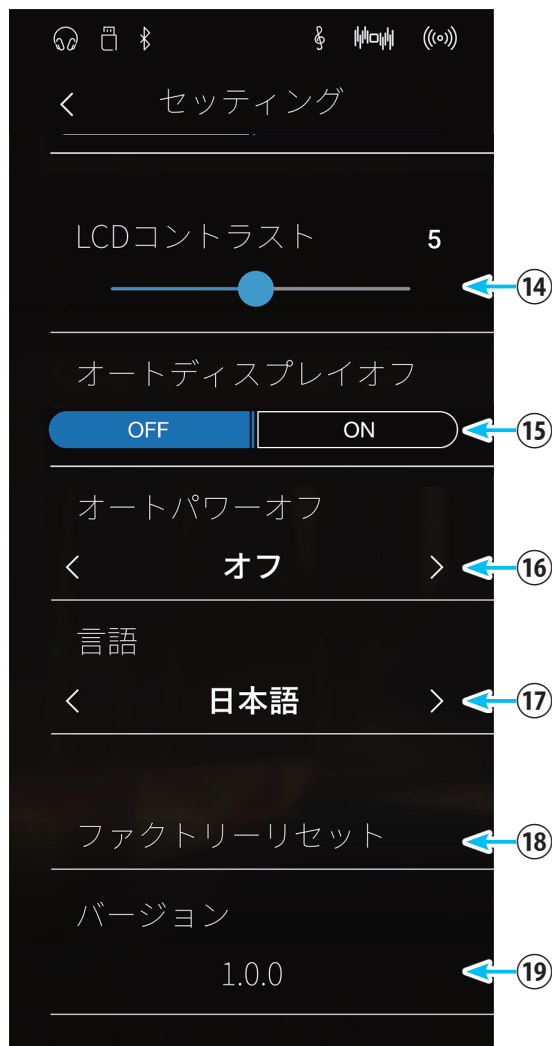


※ 上記の画面は説明のために、メニュー項目を分割して表示しています。
実際にはBluetooth設定やその他のセッティングもスクロールして同じ
画面で表示することができます。

NV10を設定する

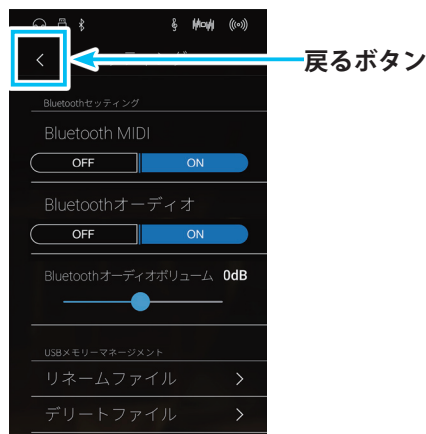
カラータッチ液晶ディスプレイ(LCD)などの設定

- ⑭ **LCDコントラスト**
スライダーで液晶画面のコントラストを調整します。
(P. 151)
- ⑮ **オートディスプレイオフON/OFFスイッチ**
画面を自動的に非表示にする機能をON/OFFします。
(P. 151)
- ⑯ **オートパワーオフ**
自動的に電源をOFFにする機能のタイプを選択します。
(P. 152)
- ⑰ **言語**
画面表示の言語を選択します。(P. 152)
- ⑱ **ファクトリーリセット**
NV10を工場出荷時の状態に戻します。これまでに設定された内容はすべて消去されます。(P. 153)
- ⑲ **バージョン**
バージョン情報が表示されます。(P. 153)



※ 上記の画面は説明のために、メニュー項目を分割して表示しています。実際にはBluetooth設定やMIDI設定もスクロールして同じ画面で表示することができます。

- 2. 設定を終了するときには、< (戻る) ボタンをタップします。それぞれの元の画面、ピアニストメニュー画面またはサウンドメニュー画面に戻ります。



Bluetoothを設定する

本機はスマートフォンやタブレットなどのスマートデバイスと無線で繋がります。弊社提供のアプリケーションをスマートデバイスにインストールすると、本機をアプリケーションから操作したり、MIDIデータの送受信をすることができます。

アプリケーションのご使用前に、下記の河合ホームページより各アプリケーションの最新の対応状況・動作環境情報を必ずご確認ください。

<http://www.kawai.jp/>

本機のBluetooth MIDIまたはオーディオをオンにした状態で、本機の周辺でスマートデバイスのアプリケーションのBluetooth機能をオンにすると、接続候補としてBluetooth Audioの場合は「NV10 Audio」、Bluetooth MIDIの場合は「NV10」と表示されますので、タップして接続してください。

スマートデバイスの周辺にNV10が複数ある場合は、接続するNV10のみのBluetooth MIDIまたはBluetoothオーディオをONにしてください。

Bluetooth MIDIをON/OFFする


※ スマートデバイスと接続している状態では、本機のUSB MIDIおよびMIDIは使用できません。

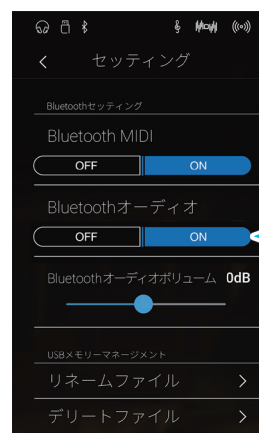
1. セッティング画面のBluetooth MIDI ON/OFFスイッチをタップして、ON/OFFを切り替えます。
2. 設定を終了したら、 (戻る) ボタンをタップします。



Bluetooth MIDI
ON/OFFスイッチ

BluetoothオーディオをON/OFFする

1. セッティング画面のBluetoothオーディオON/OFFスイッチをタップして、ON/OFFを切り替えます。
2. 設定を終了したら、 (戻る) ボタンをタップします。

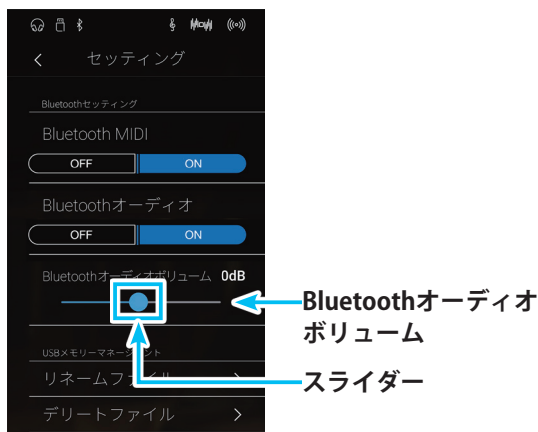


Bluetoothオーディオ
ON/OFFスイッチ

NV10を設定する

● Bluetoothオーディオの音量を調節する

1. セッティング画面のBluetoothオーディオボリュームの●(スライダー)を動かして、音量を調節します。
スマートデバイスで本機の演奏を再生したときの音量が大きすぎたり、小さすぎたりするときに調節します。
2. 設定を終了したら、< (戻る) ボタンをタップします。



■ USBを設定する

NV10にはUSB[TO DEVICE]端子があります。USB[TO DEVICE]端子にUSB機器を接続する場合は、以下のことをお守りください。USB機器の取り扱いについては、お使いのUSB機器の取扱説明書もご参照ください。

使用できるUSB機器

USB対応の記憶装置(フラッシュメモリー)動作確認済みUSB機器については、ご購入の前に弊社ホームページにてご確認ください。動作確認済み以外のUSB機器(マウス、コンピューターのキーボード、ハブなど)は、接続しても使えません。

USB機器の接続

USB[TO DEVICE]端子の形状に合うプラグを上下の向きに注意して差し込んでください。

本機はUSB2.0に準拠しています。USB1.1対応の機器も使用できますが、転送スピードはその機器の転送スピードに制限されます。この楽器にUSB記憶装置を接続すると、楽器本体で制作したデータをUSB記憶装置に保存したり、USB記憶装置のデータを楽器本体で再生したりできます。

USB記憶装置のフォーマット

USB記憶装置の中には、この楽器で使用する前にフォーマットが必要なものがあります。USB[TO DEVICE]端子にUSB記憶装置を接続したとき(またはUSB記憶装置にメディアを挿入したとき)に、フォーマットを促すメッセージが表示された場合は、フォーマットを実行してください(P.145)。フォーマットを実行すると、そのメディアの中身は消去されます。

必要なデータが入っていないことを確認してからフォーマットしてください。

他の機器でを使用したUSBメモリには本機で表示されないデータが保存されている場合があります。フォーマットするときには十分ご注意ください。


USB記憶装置の抜き差し

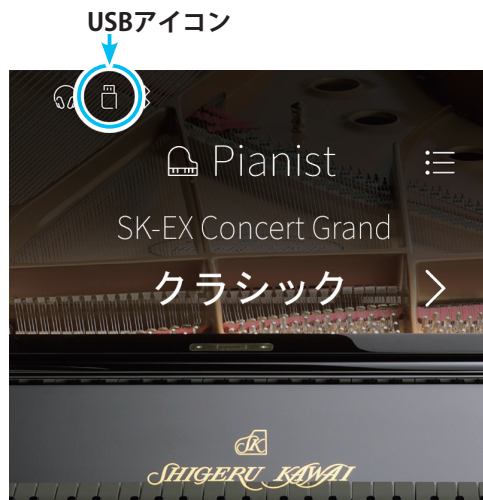
USB記憶装置を外すときは、保存 / コピー / 削除 / フォーマットなどデータのアクセス中でないことをあらかじめ確認したうえで外してください。

※ NV10を起動中にUSBメモリが差し込まれると、USBメモリによっては音が出る状態になるまでに時間が掛かる場合がありますが、故障ではありません。

※ USBメモリが差し込まれた状態で、本機の電源スイッチをONにして起動すると、USBメモリによっては音が出る状態になるまでに時間が掛かる場合がありますが、故障ではありません。

USB記憶装置の接続状態を確認する

USB記憶装置が本機に差し込まれている場合、ホーム画面の画面上部に  (USB) アイコンが表示されます。



● リネームファイル

NV10に接続したUSBメモリ内のファイル名を変更します。

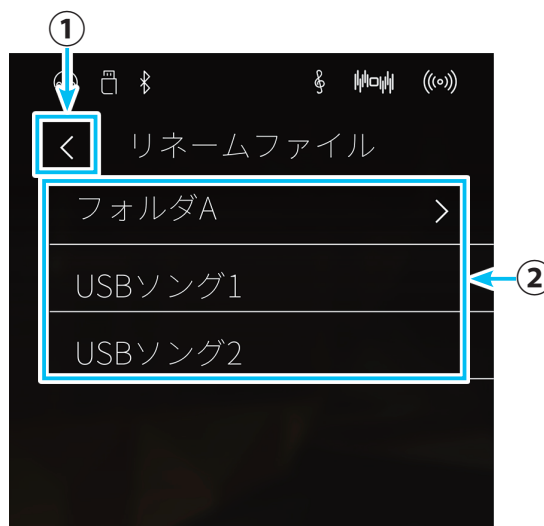
ファイル名を変更(リネーム)する

1. セッティング画面でリネームファイルボタンをタップします。
ファイル選択画面が表示されます。



ファイル選択画面

- ① 戻るボタン
セッティング画面に戻ります。
- ② ファイルリスト
USBメモリ内のファイル名が表示されます。



NV10を設定する

- 名前を変更するファイル名をタップします。
リネーム画面が表示されます。
- 名前を入力し、リターンキーをタップします。
ファイル名が変更され、セッティング画面に戻ります。
※すでに同じファイル名のファイルが存在する場合にはリネームすることはできません。

● デリートファイル

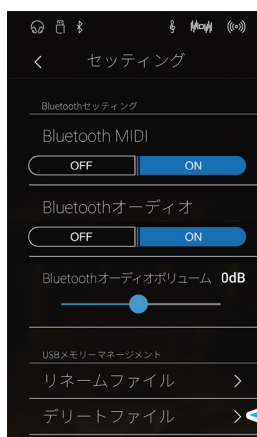
NV10に接続したUSBメモリ内の曲を削除します。

ファイルを削除(デリート)する

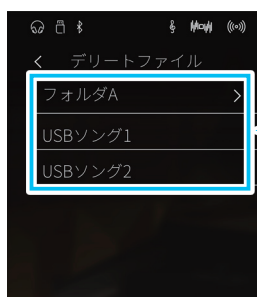
- セッティング画面でデリートファイルボタンをタップします。

ファイル選択画面が表示されます。

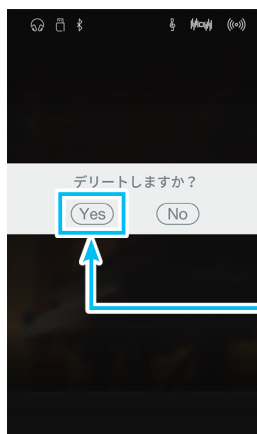
- 削除するファイルをタップします。
確認画面が表示されます。
- YESボタンをタップします。
ファイルが削除され、セッティング画面に戻ります。



デリートファイル
ボタン



削除するファイルを選
択します。



YESボタンを
タップします。

● USBフォーマット

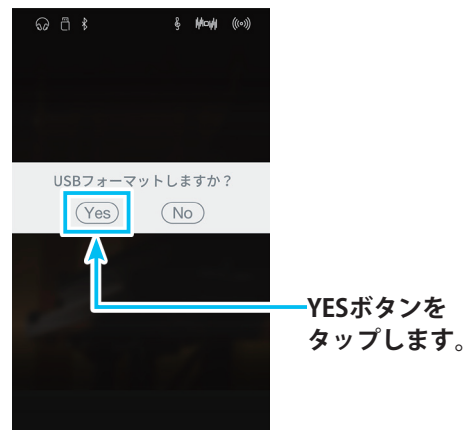
NV10は接続したUSBメモリをフォーマットすることができます。フォーマットを実行するとUSBメモリ内のデータがすべて消去されます。他の機器で使用したUSBメモリには本機で表示されないデータが保存されている場合があります。フォーマットするときには十分ご注意ください。

フォーマットを実行する

1. セッティング画面でUSBフォーマットボタンをタップします。
確認画面が表示されます。



2. YESボタンをタップします。
フォーマットが実行されます。
終了するとメッセージが表示され、**<** (戻る) ボタンをタップするとセッティング画面に戻ります。



NV10を設定する

■ MIDIを設定する

MIDI(ミディ)とは、Musical Instrument Digital Interfaceの略称で、シンセサイザーやシーケンサーなどの電子楽器間を接続しお互いの情報をやりとりするための世界統一規格です。

● MIDIについて

MIDI端子の種類

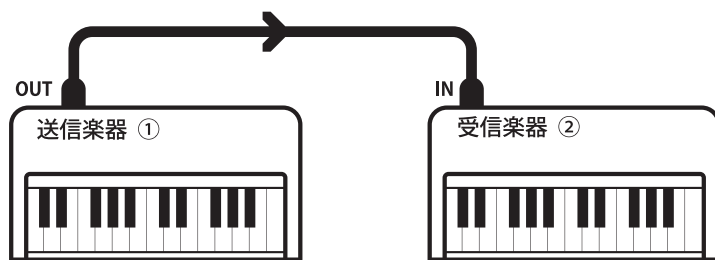
MIDI端子には、IN、OUTの2つの種類があります。いずれもMIDI専用ケーブルで接続します。

MIDI端子名	機能
IN	鍵盤情報や音色情報を受信します。
OUT	鍵盤情報や音色情報を送信します。

MIDIチャンネルについて

MIDIにはチャンネルというものがあります。チャンネルには、受信チャンネルと送信チャンネルの2種類があり、通常MIDI機能をもった楽器はこの両者を備えています。

受信チャンネルとは、ある楽器が他の楽器から情報を受信する場合のチャンネルで、送信チャンネルとは、ある楽器が他の楽器へ情報を送信する場合のチャンネルです。



例えば2台の楽器を次のように接続して演奏するとします。

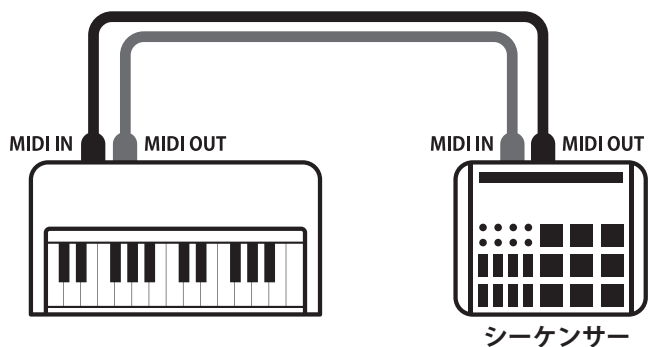
送信楽器①は送信チャンネルと共に鍵盤情報などを受信楽器②に送ります。

受信楽器②には①からの情報が送られてきます。基本的には受信楽器②の受信チャンネルと送信楽器①の送信チャンネルが一致していれば送られた情報を受け取りますが、一致していなければ受け取らないということになります。

チャンネル番号は、送信 / 受信とも1～16までの番号を使用することができます。

MIDIの使用例

図の様にシーケンサーに接続すれば、NV10の演奏をシーケンサーに録音し、それを再生することができデジタルピアノの練習に役立てることができます。また、NV10の設定をマルチティンバーオン(P. 150参照)にして録音 / 再生を行えば、ピアノ、ハーブシコード、ビブラフォンなど複数の音色によるアンサンブル演奏を楽しむことができます。



NV10のMIDI機能

NV10のMIDI機能は以下のとおりです。

鍵盤情報の送信・受信

NV10を弾いてMIDIで接続したシンセサイザー等から音を出したり、その逆が可能です。

送信・受信チャンネルの設定

送信受信チャンネルを1～16の範囲で設定することができます。

プログラム(音色)ナンバーの送信

NV10を弾いてMIDIで接続したシンセサイザーの音色を変えたり、その逆が可能です。

ペダル情報の送信・受信

ダンパーペダル、ソフトペダル、ソステヌートペダルのON/OFF情報の送信・受信ができます。

ボリューム情報の受信

シンセサイザー等を弾いて、NV10の音を出しているとき、シンセサイザーでNV10の音量をコントロールすることができます。

マルチティンバーの設定

NV10が受信楽器になっているとき、複数の異なるチャンネルで鍵盤情報を受信して、各々別の音を出すことができます。

エクスクルーシブデータの送信・受信

フロントパネルの操作や設定モードで変更した設定をエクスクルーシブデータとして送信受信ができます。

レコーダーの再生情報の送信

レコーダーに録音した演奏をMIDIで接続した電子楽器で鳴らしたり、外部シーケンサーに録音することができます。

NV10のMIDI機能についての詳細は、「MIDIインプリメンテーションチャート」(P.180)をご覧ください。

著作権について

市販の音楽CDや音楽ファイル、SMFファイルなど、既存の著作物を利用して作られた作品を本機で利用する場合、個人的に、または家庭内その他これに準ずる限られた範囲内で使用すること以外は著作権法上、権利者に無断で使用できませんので十分注意をお願いします。お客様が著作権法に違反する行為を行った場合、当社は一切の責任を負いません。

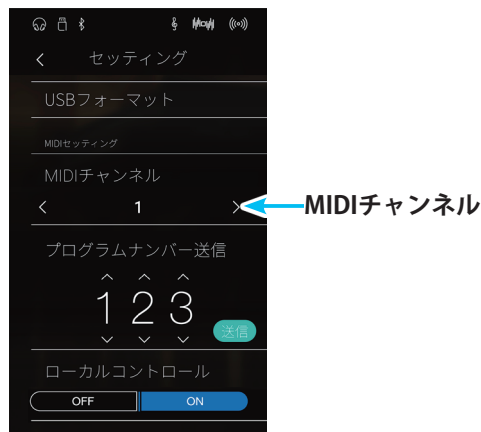
NV10を設定する

● MIDI送受信チャンネル

接続されたMIDI楽器とさまざまな情報をやりとりするために楽器同士のチャンネルを合わせておく必要があります。チャンネルは送信チャンネルと受信チャンネルの2種類がありますが、NV10では送受信を別々のチャンネルに設定することはできません。1つのチャンネルを設定してそれが送信・受信両チャンネルを兼ねています。

チャンネルを設定する

1. セッティング画面で、MIDIチャンネルの領域内で左右にスワイプして送受信チャンネルを選択します。チャンネルの値を「1～16」の間で設定できます。
2. 設定を終了したら、**<** (戻る) ボタンをタップします。



オムニオン/オムニオフについて

NV10は電源オン時には、1～16のすべてのチャンネルの情報を受信できる状態になっています。これをオムニオンと呼びます。チャンネル設定を行うとオムニオフとなり、設定したチャンネルのみで受信できるようになります。オムニオフで1chに設定したい場合は、一度チャンネルを2に設定してから1に戻してください。

マルチティンバーモードがオンのとき

◎ スプリット演奏時

低音側の演奏は、ここで設定したチャンネル+1チャンネルで送信します。

例えばここでチャンネルを3に設定してマルチティンバーをオンにしたとき、スプリット演奏の低音側の音色の演奏は4チャンネルで送信されます。

◎ デュアル演奏時

第2音色は、設定したチャンネル+1チャンネルで送信します。

(ただし、チャンネルを16に設定した場合は、1チャンネルで送信します。)

● プログラムナンバー送信

NV10では1～128までのプログラムナンバーを送信することができます。

プログラムナンバーを選択し送信する

1. セッティング画面で、プログラムナンバー送信の数字の各桁を上下方向にスワイプして、送信するプログラムナンバーを数値で設定します。プログラムナンバーは「1～128」の間で設定できます。
2. プログラムナンバー送信の送信ボタンをタップします。プログラムナンバーの送信が実行されます。
3. 終了したら、**<** (戻る) ボタンをタップします。



● ローカルコントロール

本体の鍵盤を弾いて音を出すか・出さないかを設定するモードで、ローカルコントロールオン/オフモードと呼びます。

ローカルコントロールがオンの時は、通常どおり鍵盤を弾けば本体の音が鳴ります。

ローカルコントロールがオフの時は、鍵盤を弾いても音は鳴らずMIDI情報を送信するだけでMIDI情報を受信したときのみ音が鳴ります。

ローカルコントロールのON/OFFを設定する

1. セッティング画面で、ローカルコントロールON/OFFスイッチをタップして、ONまたはOFFにします。
2. 設定を終了したら、**<** (戻る) ボタンをタップします。



ローカルコントロール ON/OFFスイッチ

● プログラムナンバー送信のON / OFF

NV10では音色を切り替えることにより、各音色に対応する送受信プログラムナンバーを送信します。マルチティンバーモードをオンに設定したときは、マルチティンバーオン2の時のプログラムナンバーを送信します。各音色に対応する送受信プログラムナンバーについては付録の一覧(P. 162)をご参照ください。

プログラムナンバー送信のON/OFFを設定する

1. セッティング画面で、プログラムナンバー送信のON/OFFスイッチをタップして、ONまたはOFFにします。
2. 設定を終了したら、**<** (戻る) ボタンをタップします。



プログラムナンバー送信のON/OFFスイッチ

デュアル・スプリットモードのときについて

デュアル・スプリットモード時には、デュアル・スプリット各モードのオン/オフ情報、音色の設定などをエクスクルーシブで送信しますが、プログラムナンバーは送信しません。

マルチティンバーモードがオンのときは、プログラムナンバーも送信します。

NV10を設定する

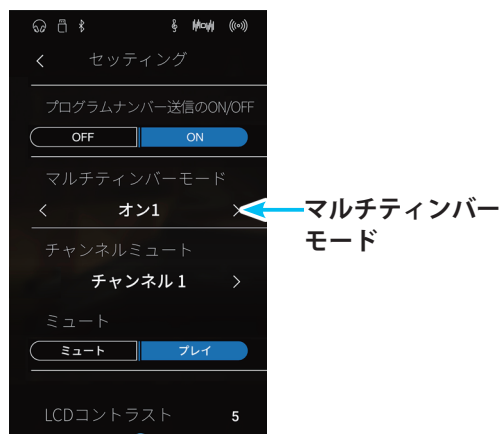
● マルチティンバーモード

通常は、前述の方法で設定されたMIDIチャンネル(1~16のどれか1つ)で情報を送受信しますが、マルチティンバーモードをオンすることにより、複数のMIDIチャンネルを受信して各々のチャンネルに対応した異なる音色を同時に出すことができます。(受信プログラムナンバーに対応した音色は、付録の一覧(P. 162)をご参照ください。)

この機能により、外部にシーケンサーを使って、1台で複数の音色(マルチティンバー)によるアンサンブル演奏が可能です。

マルチティンバーモードのオン1・オン2・オフを設定する

1. セッティング画面で、マルチティンバーモードの領域を左右にスワイプして選択します。「オン1」「オン2」「オフ」が順次切り替わります。使用するマルチティンバーモードを選択します。
2. 設定を終了したら、< (戻る) ボタンをタップします。



オン1・オフのとき

付録の「7. 各音色に対応する送受信プログラムナンバー一覧」(P. 162)の左側のナンバーに対応した音色が選ばれます。

オン2のとき

付録の「7. 各音色に対応する送受信プログラムナンバー一覧」(P. 162)の右側のナンバーに対応した音色が選ばれます。

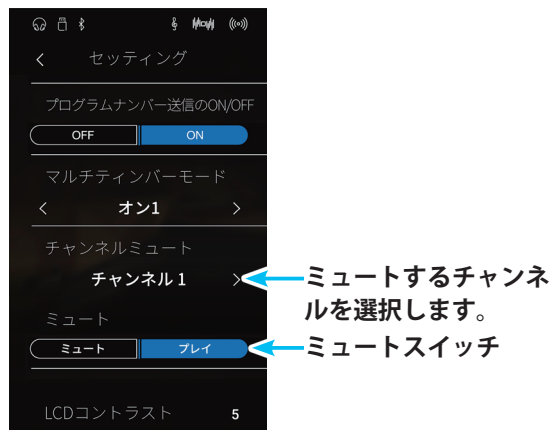
また、受信チャンネルごとに発音のオン/オフを設定することができます。(●チャンネルミュート 次項参照)
マルチティンバーモードがオンのとき、スプリット演奏中でも各受信チャンネルの音色は全てフルスケールで鳴ります。

● チャンネルミュート

マルチティンバーモードがオンのときのみ、有効な設定です。各チャンネルのプレイ・ミュートが設定できます。

チャンネルミュートの設定に入る

1. セッティング画面で、チャンネルミュートの領域で左右にスワイプしてミュートするチャンネルを選択します。
2. ミュートスイッチをタップして、ミュート/プレイを切り替えます。

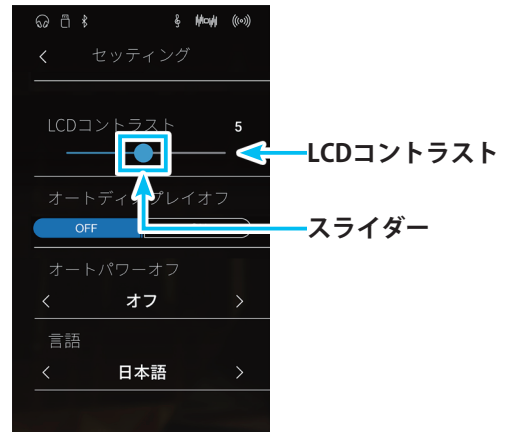


■ カラータッチ液晶ディスプレイ(LCD)などを設定する

NV10のカラータッチ液晶ディスプレイ(LCD)の非表示、パネル操作、コントラスト調整を行います。

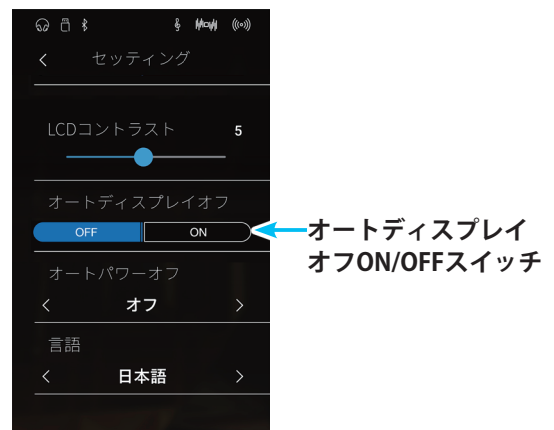
● カラータッチ液晶ディスプレイ(LCD)のコントラストを調整する

セッティング画面のLCDコントラストの●(スライダー)を動かして、コントラストを調整します。
値が小さいほうが暗く、大きいほうが明るくなります。



● カラータッチ液晶ディスプレイ(LCD)の表示をオフにする

カラータッチ液晶ディスプレイ(LCD)を自動的に非表示にします。
ディスプレイセッティング画面のオートディスプレイオフON/OFFスイッチをタップして切り替えます。



オフにしたカラータッチ液晶ディスプレイ(LCD)の表示をオンにする

オフにした画面の任意の場所をタップします。

NV10を設定する

● オートパワーオフ

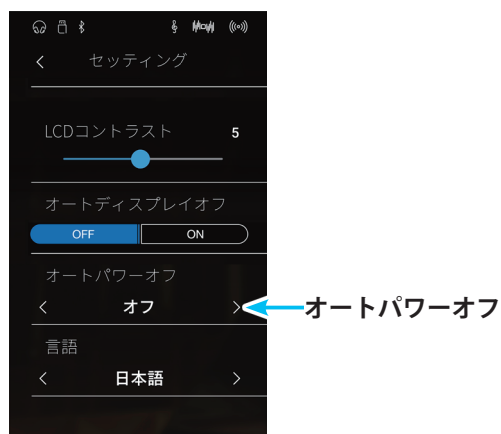
何も動作していない状態が続いた場合、電源を自動で切る設定を行います。

オートパワーオフの設定内容

種類	内容
オフ	電源が切れない設定です。初期値はオフに設定されています。
15min	15分何も動作していない状態が続くと自動で本機の電源が切れます。
60min	60分何も動作していない状態が続くと自動で本機の電源が切れます。
120min	120分何も動作していない状態が続くと自動で本機の電源が切れます。

オートパワーオフを設定する

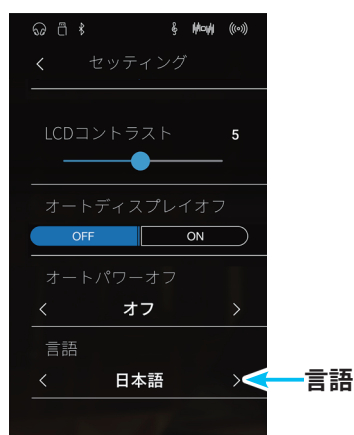
セッティング画面で、オートパワーオフの領域を左右にスワイプして種類を選択します。「オフ」、「15min」、「60min」、「120min」の順に切り替わります。目的の種類を選択します。



● 表示言語を設定する

画面に表示される言語を設定します。

セッティング画面で、言語の領域を左右にスワイプして言語を選択します。

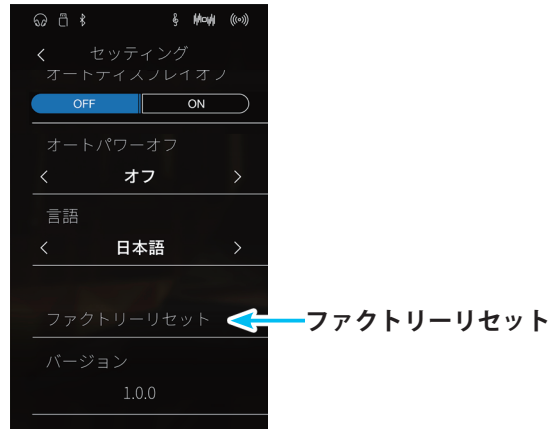


● ファクトリーリセット

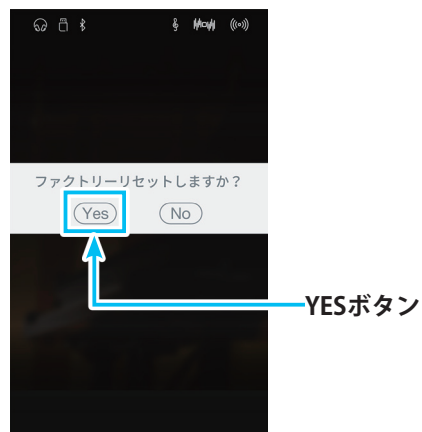
ファクトリーリセットを行うと設定した内容を全て消去し、購入時の設定に戻すことができます。

ファクトリーリセットを実行する

1. セッティング画面で、ファクトリーリセットをタップします。
確認画面が表示されます。

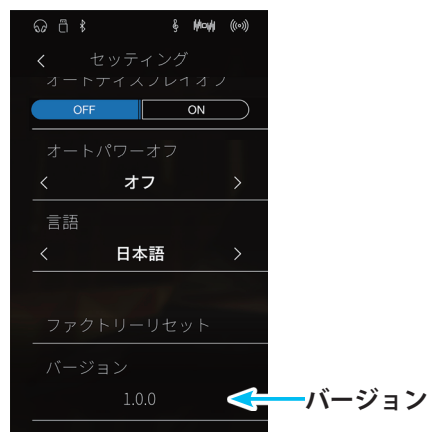


2. YESボタンをタップします。
設定が初期化されます。



● バージョン

バージョン情報が表示されます。



1. 困ったときは？

電源が入らない

電源コードが正しく接続されていますか？

コンセント側と本体側の両方をご確認ください。
接続されていても、抜けかかっていることがあります。
一度抜いて接続しなおしてみてください。(P. 12参照)

電源が突然切れた。いつの間にか切れていた。

オートパワーオフを設定されていませんか？
(P. 152参照)

音が出ない

音量が0になっていませんか？(P. 14参照)

ヘッドホンが接続されていませんか？

ヘッドホンを接続しているときは、スピーカーから音が出ません。

以前ヘッドホンを使用したことがありますか？

お使いのヘッドホンによっては、変換プラグ(筒状の部品)が差込口に残っている場合があります。このアダプターが楽器に付いたままになっていると、スピーカーからの音は出ません。変換プラグが差込口に残っていないかをご確認ください。(P. 14参照)

ローカルコントロールがオフになっていませんか？(P. 149参照)

ピアノの音がおかしい、異音やノイズがする

グランドピアノの音は様々な響きが複雑に混ざり合うことにより、弱い音から強い音まで実に多彩な音色変化を見せます。そして、その複雑な響きの中には、キーンという金属的な音の成分やノイズ系の音も含まれるため、ある一部の倍音等にだけ注目して聴くと、特定の音が大きく感じられたり、音程がずれたように聴こえること、あるいは隣同士の鍵盤で音色が不連続に感じられることもあります。これらは異常ではなく、総合的にコンサートグランドピアノの響きを忠実に再現したカワイのこだわりでもあります。しかし、本機ではお客様がお好みに合わせて、ピアノ音や各種共鳴音を細かく調整することも可能ですので、次の項目をご参照ください。

ノイズやキーンという金属的な音がする

トーンコントロール(P. 132参照) キーアクションノイズ(P. 117参照)
ダンパーノイズ(P. 113参照)

ある音だけ音量が大きい

88鍵ボリューム(P. 125参照)

ある音だけピッチがずれたように聴こえる

ユーザーチューニング(P. 121参照)

音がこもった感じ、キンキンする

大屋根の開閉(P. 118参照) トーンコントロール(P. 132参照)
ボイスイング(P. 111参照) タッチカーブ(P. 109参照)
ウォールEQ(P. 135参照)

ペダルを踏むとノイズがする

鍵盤弾いても弾かなくても、ダンパーペダルを踏むとダンパーが開放されたときに生ずる弦の共鳴音(ノイズ)がしますが、これは異常ではありません。(P. 113参照)

鍵盤を離す時にノイズがする

キーアクションノイズ(P. 117参照)
キーオフエフェクト(P. 116参照)

特定の演奏、特定の音域で音が歪む

ボリュームを大きくすると、演奏によっては音が歪む場合があります。その場合、音量を小さくして使用してください。

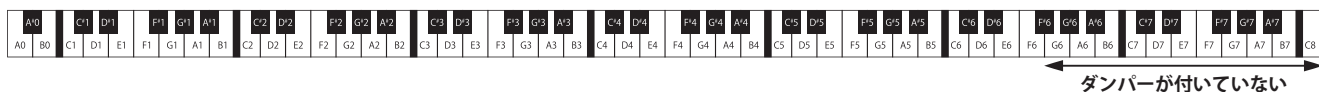
特定のピアノ音色で音程や音質がおかしい	<p>内蔵のピアノ音色は、ピアノ本来の音を可能な限り忠実に再現しています。ピアノ音は複雑な響きを持っているため、聴く位置や環境によって音の感じ方が変わります。また単音で強打した場合と曲の流れの中で弾いた場合でも音の感じ方は変わります。そのため音域によっては倍音が強く聴こえ、音程や音質が異質に感じられる場合があります。これは異常ではありません。</p> <p>音程や音質が気になる場合は次の項目を調整してみてください。</p> <p>トーンコントロール(P.132参照) ストレッチチューニング(P.120参照) 88鍵ボリューム(P.125参照)</p>
---------------------	--

鍵盤を弾くとカタカタ音がする

本機は、グランドピアノと同様のアクション機構を備えた木製鍵盤を採用しています。鍵盤を弾くと、カタカタと打鍵音がしますが、これはグランドピアノをシミュレートしたもので、異常ではありません。

ペダルが効かない

コード1、2が正しく接続されていますか？	接続されていても、抜けかかっていることがあります。一度抜いて接続しなおしてみてください。(P.177参照)
アジャスターが適正な長さになっていますか？(P.174参照)	
高音域で、ダンパーが効かない	ピアノにおいて、一番高い領域の鍵盤(下図)にはダンパーという止音装置が付いておりません。NV10ではその機構を忠実に再現しているため、その鍵盤についてはダンパーペダルを踏んでも踏まなくても音が伸びます。



ペダルを踏むとぐらぐらする

アジャスターが適正な長さになっているか、ご確認ください。(P.174参照)

曲の再生

レッスン曲がスタートしない	曲を選んだあと、[PLAY / STOP] ボタンを押してください。(P.50参照)
曲(MP3,WAVE)を再生しても音が出ない	USBレコーダーのボリュームが0になっていませんか？(P.92参照)
USBメモリに保存されている曲が再生できない	再生不可能なデータフォーマットである可能性があります。(P.83参照) お使いのUSBメモリの転送スピードが、オーディオファイル再生には不十分な可能性があります。USB2.0Hi-Speed規格に対応した他のUSBメモリをお試しください。(P.142参照)
USBメモリに保存されているSMFファイルが変な音で再生される	NV10はGM規格には対応しておりません。一部のSMF(スタンダードMIDIファイル)は、GM機器と異なる音色で再生されることがありますが、故障ではありませんのでご了承ください。
MP3 / WAVで録音したオーディオファイルの音量が小さすぎる、または大きすぎる(歪んでいる)	録音レベルの設定を調節してください。(P.92参照)

USBメモリ	
USBメモリが認識されない、または動作しない	動作確認されているUSBメモリをご使用ください。(弊社ホームページから使用できるUSB装置を確認できます。)
USBメモリを挿したとき、しばらく時間がかかる	8Gバイト以上などの大容量のUSBメモリを挿したとき、認識に時間がかかる場合がありますが、故障ではありません。

Bluetooth	
接続できない	本機のBluetooth機能がオフになっていませんか？スマートデバイスのBluetooth設定ではなく、アプリケーション内の設定から接続してください。
接続したスマートデバイスが繋がらない	接続してもすぐに切れてしまう場合は、スマートデバイス側のBluetoothスイッチを一度オフにして再度オンにすると、接続される場合があります。
内蔵曲の演奏データが送信されない	内蔵曲の演奏データはBluetooth MIDIから出力されません。
ペアリングできない	本製品は常にBluetooth®接続がスタンバイの状態になっているため、一度接続したお手持ちの機器側の自動再接続設定や、信頼設定機能が有効になっている場合は、その機器と自動的に再接続される場合があります。 意図しない機器と接続されてしまう場合は、その機器の電源を切ってからやり直してください。

2. 音色一覧

PIANO1

SK-EX コンサートグランド
EX コンサートグランド
SK-5 グランドピアノ
ジャズ グランド
ジャズ グランド 2
メロー グランド
メロー グランド 2
スタンダード グランド

PIANO2

ポップ グランド
ポップ グランド 2
ポップ ピアノ
スタジオ グランド
アップライト ピアノ
モダン ピアノ
ブギウギ ピアノ
ホンキートンク ピアノ

ELECTRIC PIANO

クラシック エレクトリック ピアノ
60's エレクトリック ピアノ
モダン エレクトリック ピアノ
クラシック エレクトリック ピアノ 2
クラシック エレクトリック ピアノ 3
クリスタル エレクトリック ピアノ
モダン エレクトリック ピアノ 2
モダン エレクトリック ピアノ 3

ORGAN

ジャズ オルガン
ブルース オルガン
バラード オルガン
ゴスペル オルガン
ドローバー オルガン
ドローバー オルガン 2
ドローバー オルガン 3
ドローバー オルガン 4
チャーチ オルガン
ディアパソン
フル アンサンブル
オクターブ ディアパソン
ティビア オルガン
オクターブ プリンシパル
プリンシパル コーラス
バロック オルガン
ソフト ディアパソン
ソフト スtringス
メロー フルーツ
ミディアム アンサンブル

ラウド アンサンブル
ブライト アンサンブル
フルオルガン
リード アンサンブル

HARPSI&MALLETS

ハーブシコード
オクターブハーブシコード
ビブラフォン
クラビ
マリンバ
チェレスタ
ハーブシコード 2
スプリット ベル

STRINGS

スロー スtringス
シンセ スtringス
メロー スtringス
スリング アンサンブル
メロー オーケストラ
スモール スtringス
ハーブ
ピチカート

VOCAL&PAD

クワイア
ポップ ボーカル
ポップ ボーカル 2
クワイア 2
ジャズ ボーカル
ポップ ボーカル 3
スロー クワイア
ブレス クワイア
ファンタジー
ファンタジー 2
ファンタジック クワイア
ファンタジー 3
ファンタジー 4
ファンタジック プラス
コスミック パッド
コスミック パッド 2

BASS&GUITAR

ウッドベース
エレクトリック ベース
フレットレス ベース
ウッドベース & シンバル
エレクトリック ベース & シンバル
バラード ギター
ピックナイロン ギター
フィンガーナイロン ギター

3. デモ曲一覧

音色名	曲名	作曲者名
PIANO1		
SK-EX コンサートグランド	スケルツォ第2番	ショパン
EX コンサートグランド	ラ・カンパネラ	リスト
SK-5 グランドピアノ	無言歌第18番「二重唱」	メンデルスゾーン
ジャズ グランド	オリジナル	カワイ
メロー グランド	ソナタ第30番	ベートーベン
メロー グランド2	亜麻色の髪の乙女	ドビュッシー
スタンダード グランド	子犬のワルツ	ショパン
PIANO2		
ポップ グランド	カワイオリジナル	カワイ
ポップ ピアノ	カワイオリジナル	カワイ
スタジオ グランド	カワイオリジナル	カワイ
アップライト ピアノ	ノクターン第20番「遺作」	ショパン
モダン ピアノ	カワイオリジナル	カワイ
ELECTRIC PIANO		
クラシック エレクトリック ピアノ	オリジナル	カワイ
モダン エレクトリック ピアノ	オリジナル	カワイ
モダン エレクトリック ピアノ2	オリジナル	カワイ
ORGAN		
ジャズオルガン	オリジナル	カワイ
ブルースオルガン	オリジナル	カワイ
ドローパーオルガン	オリジナル	カワイ
チャーチオルガン	コラール前奏曲「目覚めよ、と呼ぶ声あり」	バッハ
ディアパソン	主よ人の望みの喜びよ	バッハ
フルアンサンブル	オリジナル	カワイ
HARPSI & MALLETS		
ハープシコード	フランス組曲第6番	バッハ
オクターブハープシコード	プレリュード 変イ長調	バッハ
ビブラフォン	オリジナル	カワイ
クラビ	オリジナル	カワイ
STRINGS		
スロースtringス	オリジナル	カワイ
シンセStringス	オリジナル	カワイ
Stringアンサンブル	四季“春”	ヴィヴァルディ
VOCAL & PAD		
クワイア	ロンドンデリーの歌	アイルランド民謡
クワイア2	オリジナル	カワイ
ジャズボーカル	オリジナル	カワイ
ファンタジー	オリジナル	カワイ
ファンタジー2	オリジナル	カワイ
BASS & GUITAR		
ウッドベース	オリジナル	カワイ
エレクトリックベース	オリジナル	カワイ
フレットレスベース	オリジナル	カワイ
ウッドベース & シンバル	オリジナル	カワイ
バラードギター	オリジナル	カワイ
ピックナイロンギター	オリジナル	カワイ

4. ピアノミュージック/レッスン曲集一覧

■ ピアノミュージック

曲名	作曲者名
1 タンブラン	ラモー
2 調子のよいかじ屋	ヘンデル
3 メヌエット ト長調(BWV.Anh.114)	バッハ
4 メヌエット ト短調(BWV.Anh.115)	
5 メヌエット ト長調(BWV.Anh.116)	
6 かつこう	ダカン
7 ガヴォット	ゴセック
8 メヌエット	ポッケリーニ
9 主題と変奏「ピアノ・ソナタ第11番K.331」より第1楽章	モーツァルト
10 トルコ行進曲「ピアノ・ソナタ第11番K.331」より第3楽章	
11 メヌエット	
12 ピアノ・ソナタ「月光」より第1楽章	ベートーベン
13 ピアノ・ソナタ「悲愴」より第2楽章	
14 エリーゼのために	
15 ロンド・ファヴォリ	フンメル
16 即興曲 作品90の4	シューベルト
17 楽興の時 作品94の3	
18 間奏曲	
19 即興曲 作品142の3	
20 歌の翼に	メンデルスゾーン
21 春の歌	
22 ロンド・カプリッチョーソ	
23 別れの曲	ショパン
24 雨だれの前奏曲	
25 子犬のワルツ	
26 ノクターン第2番	
27 幻想即興曲	
28 軍隊ポロネーズ	
29 英雄ポロネーズ	

■ レッスン曲集

1. バイエルピアノ教則本 全曲 (ただし予備練習、付録を除く) (カワイ出版)
2. ブルクミュラー25の練習曲 全曲 (カワイ出版)
3. チェルニー100番練習曲 全曲 (カワイ出版)
4. チェルニー30番練習曲 全曲 (カワイ出版)
5. ソナチネ・アルバム1 全曲 (カワイ出版)
6. バッハ・インベンション 15曲 (カワイ出版: バッハ・インベンションとシンフォニア)
7. ショパン・ワルツ集 全曲 (全音楽譜出版社)
8. ショパン・エチュード集 作品10 (全音楽譜出版社)

※ 指のトレーニングとして「ハノン」(第一部20曲)も内蔵しています。

5. コンサートマジック曲目一覧

曲名	作曲者名	曲名	作曲者名
テレビアニメ/ジブリ/ディズニー			
1 アンパンマンのマーチ	三木たかし	45 アニーローリー	スコットランド民謡
2 おどるポンポコリン	織田哲郎	46 ロンドン橋	イギリス民謡
3 夢をかなえてドラえもん	黒須克彦	47 こぎつね	ドイツ民謡
4 勇気100%	馬飼野康二	48 山の音楽家	ドイツ民謡
5 きかんしゃトーマスのテーマ2	E.ウェルチ	49 ぶんぶんぶん	ボヘミア民謡
6 サザエさん	筒美京平	50 きらきら星	フランス民謡
7 さんぽ	久石譲	51 フニクリフニクラ	デンツァ
8 となりのトトロ	久石譲	52 サンタルチア	ナポリ民謡
9 崖の上のポニョ	久石譲	53 こいぬのマーチ	外国曲
10 海に見える街	久石譲	クラシック	
11 いつも何度でも	木村弓	54 喜びの歌	ベートーベン
12 レット・イット・ゴー ～ありのままで～	K.アンダーソン、 R.ロペス	55 ウィリアムテル序曲	ロッシーニ
13 アンダー・ザ・シー	A.メンケン	56 天国と地獄	オッフエンバック
14 ミッキーマウスマーチ	J.ドッド	57 新世界より「家路」	ドボルザーク
15 小さな世界	シャーマン兄弟	58 エンターティナー	ジョプリン
16 ビビディバビディブー	マーク・デイヴィッド 他2名	59 メヌエット ト長調	バッハ
17 ハイホー	F.チャーチル	60 花のワルツ	チャイコフスキー
18 星に願いを	L.ハーライン	61 スケートーズワルツ	ワルトトイフェル
19 狼なんかこわくない	F.チャーチル	62 美しく青きドナウ	ヨハン・シュトラウス
20 チムチムチェリー	シャーマン兄弟	63 闘牛士の歌	ビゼー
日本の歌		64 ピチカートポルカ	ヨハン・シュトラウス
21 春が来た	岡野貞一	65 ブラームスの子守歌	ブラームス
22 さくら さくら	日本古謡	66 ワシントンポストマーチ	スーザ
23 ふるさと	岡野貞一	67 アメリカンパトロール	ミーチャム
24 七つの子	本居長世	68 眠りの森の美女	チャイコフスキー
25 かたつむり	文部省唱歌	69 ガボット	ゴセック
26 虫のこえ	文部省唱歌	70 軍隊行進曲	シューベルト
27 もみじ	岡野貞一	71 ジムノペディ 1番	サティ
28 タやけこやけ	草川信	72 前奏曲 作品28-7	ショパン
29 ゆき	文部省唱歌	73 皇帝円舞曲	ヨハン・シュトラウス
30 ひらいたひらいた	わらべうた	74 メープルリーフラグ	ジョプリン
31 かくれんぼ	下総皖一	75 双頭のわしの旗のもとに	ワーグナー
アメリカン・クラシック/世界の民謡		76 びっくりリシンフォニー	ハイドン
32 聖者の行進	アメリカ民謡	77 凱旋行進曲	ヴェルディ
33 おじいさんの古時計	アメリカ民謡	78 エリーゼのために	ベートーベン
34 リパブリック賛歌	アメリカ民謡	79 アヴェマリア	シューベルト
35 アルプス一万尺	アメリカ民謡	80 ハバネラ	ビゼー
36 線路は続くよどこまでも	アメリカ民謡	81 ジプシーの歌	ビゼー
37 10人のインディアン	アメリカ民謡	82 未完成交響曲	シューベルト
38 わらの中の七面鳥	アメリカ民謡	83 結婚行進曲	メンデルスゾーン
39 森のくまさん	アメリカ民謡	84 婚礼の合唱	ワーグナー
40 ゆかいな牧場	アメリカ民謡	クリスマス曲	
41 ケンタッキーの我が家	フォスター	85 おめでとうクリスマス	イギリス民謡
42 故郷の人々	フォスター	86 ジングルベル	ピアポント
43 草競馬	フォスター	87 もろ人こぞりて	賛美歌
44 ロンドンデリーの歌	アイルランド民謡	88 きよしこの夜	グルーバー

6. リズム一覧

ビート	No.	リズム	ビート	No.	リズム	
8ビート	1	8ビート1	16ビートダンス	51	16バラード2	
	2	8ビート2		52	モダンポップバラード	
	3	8ビート3		53	ダンス1	
	4	ポップ1		54	ダンス2	
	5	ポップ2		55	ダンス3	
	6	ポップ3		56	ディスコ	
	7	ポップ4		57	テクノ1	
	8	ポップ5		58	テクノ2	
	9	ポップ6		16ビートスウィング	59	16シャフル1
	10	ライドビート1			60	16シャフル2
	11	ライドビート2			61	16シャフル3
	8ビートロック	12		ダンスポップ1	62	アシッドジャズ2
		13		カントリーポップ	63	アシッドジャズ3
		14		スムーズビート	64	ニュージャックスウィング
		15		リムビート	65	モダンダンス
16		モダンロック1	66	インディーポップ3		
17		モダンロック2	8ビートスウィング	67	スウィングビート	
18		モダンロック3		68	モータウン	
19		モダンロック4		69	カントリー2ビート	
16ビート		20	ポップロック	70	ブギ	
		21	ライドロック	トリプレット	71	8シャフル1
	22	ジャズロック	72		8シャフル2	
	23	サーフロック	73		8シャフル3	
	24	16ビート	74	ダンスシャフル		
	25	インディーポップ1	75	トリプレット1		
	26	アシッドジャズ1	76	トリプレット2		
	27	ライドビート3	77	トリプレットロック		
	28	ダンスポップ2	78	レゲエ		
	29	ダンスポップ3	ジャズ	79	H.H. スウィング	
30	ダンスポップ4	80		ライドスウィング		
31	ダンスポップ5	81		ファスト4ビート		
8ビートバラード	32	ダンスポップ6	82	アフロキューバン		
	33	ダンスポップ7	83	ジャズボッサ		
	34	ダンスポップ8	84	ジャズワルツ		
	35	インディーポップ2	85	5/4スウィング		
	36	ケイジャンロック	ラテン/ワールド	86	H.H. ボサノバ	
	37	ポップバラード1		87	ライドボサノバ	
	38	ポップバラード2		88	ビギン	
	39	ポップバラード3	89	ルンバ		
	40	ロックバラード1	90	チャチャ		
	41	ロックバラード2	91	マンボ		
42	スロージャム	92	サンバ			
43	6/8 R&Bバラード	93	サルサ			
44	トリプレットバラード1	94	メレンゲ			
45	トリプレットバラード2	95	タンゴ			
16ビートバラード	46	16バラード1	96	ハバネラ		
	47	ダンスバラード1	97	ワルツ		
	48	ダンスバラード2	98	ラグタイム		
	49	ダンスバラード3	99	マーチ		
	50	エレクトロポップ	100	6/8マーチ		

7. 各音色に対応する送受信プログラムナンバー一覧

音色名	マルチティンバーオフ、オン1の時		マルチティンバー2の時	
	プログラムナンバー	プログラムナンバー	バンク	
			MSB	LSB
Piano1				
SK-EX コンサートグランド	1	1	121	0
EX コンサートグランド	2	1	95	27
SK-5 グランドピアノ	3	1	95	30
ジャズ グランド	4	1	121	1
ジャズ グランド 2	5	1	95	32
メロー グランド	6	1	121	2
メロー グランド 2	7	1	95	29
スタンダード グランド	8	1	95	16
Piano2				
ポップ グランド	9	1	95	28
ポップ グランド 2	10	1	95	31
ポップ ピアノ	11	2	95	10
スタジオ グランド	12	1	95	17
アップライト ピアノ	13	1	95	25
モダン ピアノ	14	2	121	0
ブギウギ ピアノ	15	1	95	33
ホンキートンク ピアノ	16	4	121	0
Electric Piano				
クラシック エレクトリック ピアノ	17	5	121	0
60's エレクトリック ピアノ	18	5	121	3
モダン エレクトリック ピアノ	19	6	121	0
クラシック エレクトリック ピアノ 2	20	5	121	1
クラシック エレクトリック ピアノ 3	21	5	95	1
クリスタル エレクトリック ピアノ	22	6	95	1
モダン エレクトリック ピアノ 2	23	6	121	1
モダン エレクトリック ピアノ 3	24	6	121	2
Organ				
ジャズ オルガン	25	18	121	0
ブルース オルガン	26	17	121	0
バラード オルガン	27	17	95	5
ゴスペル オルガン	28	17	95	3
ドロージャー オルガン	29	17	95	1
ドロージャー オルガン 2	30	17	95	2
ドロージャー オルガン 3	31	18	121	2
ドロージャー オルガン 4	32	17	121	3
チャーチ オルガン	33	20	121	0
ディアパソン	34	20	95	7
フルアンサンブル	35	21	95	1
オクターブ ディアパソン	36	20	95	6
ティビア オルガン	37	20	95	17
オクターブ プリンシパル	38	20	95	24
プリンシパル コーラス	39	20	95	23

音色名	マルチティンバーオフ、オン1の時		マルチティンバー2の時	
	プログラムナンバー	プログラムナンバー	バンク	
			MSB	LSB
バロック オルガン	40	20	95	19
ソフト ディアパソン	41	20	95	45
ソフト スtringス	42	20	95	41
メロー フルート	43	20	95	48
ミディアム アンサンブル	44	20	95	42
ラウド アンサンブル	45	20	95	43
ブライト アンサンブル	46	20	95	47
フルオルガン	47	20	95	44
リード アンサンブル	48	20	95	46
Harpsi & Mallets				
ハーブシコード	49	7	121	0
オクターブハーブシコード	50	7	121	1
ビブラフォン	51	12	121	0
クラビ	52	8	121	0
マリンバ	53	13	121	0
チェレスタ	54	9	95	1
ハーブシコード 2	55	7	121	3
スプリット ベル	56	15	95	5
Strings				
スロー スtringス	57	45	95	1
シンセ スtringス	58	49	95	8
メロー スtringス	59	49	95	1
String アンサンブル	60	49	121	0
メロー オーケストラ	61	50	95	1
スモール スtringス	62	49	95	14
ハーブ	63	47	121	0
ピチカート	64	46	121	0
Vocal & Pad				
クワイア	65	53	121	0
ポップ ボーカル	66	54	95	39
ポップ ボーカル 2	67	54	95	40
クワイア 2	68	54	95	53
ジャズ ボーカル	69	54	95	2
ポップ ボーカル 3	70	54	95	7
スロー クワイア	71	53	95	2
ブレス クワイア	72	53	95	1
ファンタジー	73	89	121	0
ファンタジー 2	74	100	121	0
ファンタジック クワイア	75	92	121	1
ファンタジー 3	76	101	95	1
ファンタジー 4	77	89	95	2
ファンタジック ブラス	78	62	95	2
コスミック パッド	79	93	121	0
コスミック パッド 2	80	90	95	1

音色名	マルチティンバーオフ、オン1の時		マルチティンバー2の時	
	プログラムナンバー	プログラムナンバー	バンク	
			MSB	LSB
Bass & Guitar				
ウッド ベース	81	33	121	0
エレクトリック ベース	82	34	121	0
フレットレス ベース	83	36	121	0
ウッドベース & シンバル	84	33	95	1
エレクトリック ベース & シンバル	85	34	95	2
バラードギター	86	26	95	6
ピックナイロンギター	87	25	95	3
フィンガーナイロンギター	88	25	95	4
MIDI Tones				
ロック ピアノ	—	2	121	1
エレクトリック グランド	—	3	121	0
エレクトリック グランド 2	—	3	121	1
ワイドホンキートンクピアノ	—	4	121	1
クラシック エレクトリック ピアノ 4	—	5	121	2
レジェンド エレクトリック ピアノ	—	6	121	3
フェイズ エレクトリック ピアノ	—	6	121	4
ワイド ハープシコード	—	7	121	2
シンセ クラビ	—	8	121	1
チェレスタ	—	9	121	0
グロッケン	—	10	121	0
ミュージックボックス	—	11	121	0
ワイド ビブラフォン	—	12	121	1
ワイド マリンバ	—	13	121	1
シロホン	—	14	121	0
チューブラベル	—	15	121	0
チャーチベル	—	15	121	1
カリヨン	—	15	121	2
ダルシマー	—	16	121	0
ドローパー オルガン 5	—	17	121	1
60's オルガン	—	17	121	2
パーカス オルガン	—	18	121	1
ロック オルガン	—	19	121	0
チャーチ オルガン 2	—	20	121	1
チャーチ オルガン 3	—	20	121	2
リード オルガン	—	21	121	0
パフ オルガン	—	21	121	1
フレンチ アコーディオン	—	22	121	0
アコーディオン	—	22	121	1
ハーモニカ	—	23	121	0
タンゴアコーディオン	—	24	121	0
ナイロンギター	—	25	121	0
ウクレレ	—	25	121	1
ナイロンギター 2	—	25	121	2

音色名	マルチティンバーオフ、オン1の時		マルチティンバー2の時	
	プログラムナンバー	プログラムナンバー	バンク	
			MSB	LSB
ナイロンギター 3	—	25	121	3
フォークギター	—	26	121	0
12ゲンギター	—	26	121	1
マンドリン	—	26	121	2
フォークギター 2	—	26	121	3
ジャズギター	—	27	121	0
ペダルスチール	—	27	121	1
エレクトリックギター	—	28	121	0
エレクトリックギター 2	—	28	121	1
リズムギター	—	28	121	2
ミュートギター	—	29	121	0
カッティングギター 2	—	29	121	1
エレクトリックギター 3	—	29	121	2
カントリー リードギター	—	29	121	3
オーバードライブギター	—	30	121	0
ダイナミックオーバードライブ	—	30	121	1
ディストーションギター	—	31	121	0
ディスト フィードバック	—	31	121	1
ディストリズム	—	31	121	2
エレクトリックギターハーモニクス	—	32	121	0
ギター フィードバック	—	32	121	1
フィンガースラップベース	—	34	121	1
ピックベース	—	35	121	0
スラップベース	—	37	121	0
スラップベース 2	—	38	121	0
シンセベース	—	39	121	0
ウォームシンセベース	—	39	121	1
シンセベース 3	—	39	121	2
クラビベース	—	39	121	3
ハンマーベース	—	39	121	4
シンセベース 2	—	40	121	0
シンセベース 4	—	40	121	1
ラバーベース	—	40	121	2
アタックベース	—	40	121	3
バイオリン	—	41	121	0
スローバイオリン	—	41	121	1
ビオラ	—	42	121	0
チェロ	—	43	121	0
コントラバス	—	44	121	0
トレモロストリングス	—	45	121	0
ケルティックハーブ	—	47	121	1
ティンパニー	—	48	121	0
ストリングス & ブラス	—	49	121	1
60's ストリングス	—	49	121	2

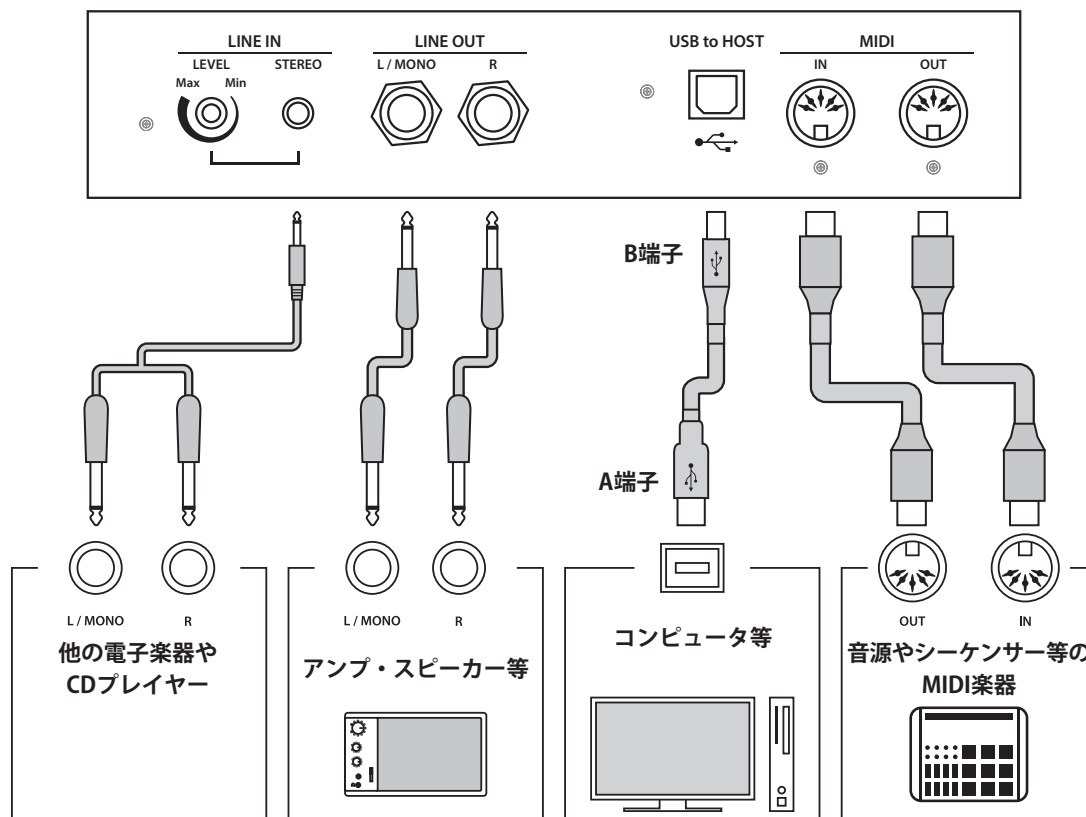
音色名	マルチティンバーオフ、オン1の時		マルチティンバー2の時	
	プログラムナンバー	プログラムナンバー	バンク	
			MSB	LSB
ストリング アンサンブル 2	—	50	121	0
シンセ スtringス	—	51	121	0
シンセ スtringス 3	—	51	121	1
シンセ スtringス 2	—	52	121	0
クワイア 3	—	53	121	1
ボイス ウー	—	54	121	0
ハミング	—	54	121	1
シンセ ボーカル	—	55	121	0
アナログ ボイス	—	55	121	1
オーケストラ ヒット	—	56	121	0
ベース ヒット プラス	—	56	121	1
6th ヒット	—	56	121	2
ユーロ ヒット	—	56	121	3
トランペット	—	57	121	0
ソロ トランペット	—	57	121	1
トロンボーン	—	58	121	0
トロンボーン 2	—	58	121	1
ブライ トロンボーン	—	58	121	2
チューバ	—	59	121	0
ミュート トランペット	—	60	121	0
ミュート トランペット 2	—	60	121	1
フレンチ ホルン	—	61	121	0
ウォーム フレンチ ホルン	—	61	121	1
ブラス セクション	—	62	121	0
ブラス セクション 2	—	62	121	1
シンセ ブラス	—	63	121	0
シンセ ブラス 3	—	63	121	1
アナログ ブラス	—	63	121	2
ジャンプ ブラス	—	63	121	3
シンセ ブラス 2	—	64	121	0
シンセ ブラス 4	—	64	121	1
アナログ ブラス 2	—	64	121	2
ソプラノ サックス	—	65	121	0
アルト サックス	—	66	121	0
テナー サックス	—	67	121	0
バリトン サックス	—	68	121	0
オーボエ	—	69	121	0
イングリッシュホルン	—	70	121	0
バスーン	—	71	121	0
クラリネット	—	72	121	0
ピッコロ	—	73	121	0
フルート	—	74	121	0
リコーダー	—	75	121	0
パンフルート	—	76	121	0

音色名	マルチティンバーオフ、オン1の時		マルチティンバー2の時	
	プログラムナンバー	プログラムナンバー	バンク	
			MSB	LSB
ブドウボトル	—	77	121	0
シャクハチ	—	78	121	0
ホイッスル	—	79	121	0
オカリナ	—	80	121	0
スクエアリード1	—	81	121	0
スクエアリード2	—	81	121	1
サイン	—	81	121	2
クラシックシンセ	—	82	121	0
クラシックシンセ2	—	82	121	1
リードオルガン	—	82	121	2
クラシックシンセ3	—	82	121	3
シーケンスアナログ	—	82	121	4
カリオペ	—	83	121	0
チフ	—	84	121	0
チャラング	—	85	121	0
ワイアーリード	—	85	121	1
ボイスリード	—	86	121	0
フィフスリード	—	87	121	0
ベース & リード	—	88	121	0
ソフトワイアーリード	—	88	121	1
ウォームパッド	—	90	121	0
サインパッド	—	90	121	1
ポリシンセ	—	91	121	0
クワイアパッド	—	92	121	0
メタリックパッド	—	94	121	0
ハ口パッド	—	95	121	0
スweepパッド	—	96	121	0
レインパッド	—	97	121	0
サウンドトラック	—	98	121	0
クリスタル	—	99	121	0
シンセマレット	—	99	121	1
ブライトネス	—	101	121	0
ゴブリン	—	102	121	0
エコーズ	—	103	121	0
エコーベル	—	103	121	1
エコーパン	—	103	121	2
サイエンスフィクション	—	104	121	0
シタール	—	105	121	0
シタール2	—	105	121	1
バンジョー	—	106	121	0
シャミセン	—	107	121	0
コト	—	108	121	0
タイショウゴト	—	108	121	1
カリンバ	—	109	121	0

音色名	マルチティンバーオフ、オン1の時	マルチティンバー2の時		
	プログラムナンバー	プログラムナンバー	バンク	
			MSB	LSB
バグパイプ	—	110	121	0
フィドル	—	111	121	0
シャナイ	—	112	121	0
ティンクルベル	—	113	121	0
アゴゴ	—	114	121	0
スチールドラム	—	115	121	0
ウッドブロック	—	116	121	0
カスタネット	—	116	121	1
タイコ	—	117	121	0
コンサートバスドラム	—	117	121	1
メロディック タム	—	118	121	0
メロディック タム 2	—	118	121	1
シンセドラム	—	119	121	0
リズム ボックス タム	—	119	121	1
エレクトリックドラム	—	119	121	2
リバーズシンバル	—	120	121	0
ギターフレットノイズ	—	121	121	0
ギターカッティングノイズ	—	121	121	1
ウッドベーススラップ	—	121	121	2
プレスノイズ	—	122	121	0
フルートキークリック	—	122	121	1
ナミ	—	123	121	0
アメ	—	123	121	1
カミナリ	—	123	121	2
カゼ	—	123	121	3
オガワ	—	123	121	4
アワ	—	123	121	5
トリ	—	124	121	0
イヌ	—	124	121	1
ウマノヒツメ	—	124	121	2
トリ 2	—	124	121	3
デンワ	—	125	121	0
デンワ 2	—	125	121	1
ドア	—	125	121	2
ドア 2	—	125	121	3
スクラッチ	—	125	121	4
ウインドチャイム	—	125	121	5
ヘリコプター	—	126	121	0
カーエンジン	—	126	121	1
カーストップ	—	126	121	2
カーパス	—	126	121	3
カークラッシュ	—	126	121	4
サイレン	—	126	121	5
キシヤ	—	126	121	6

音色名	マルチティンバーオフ、オン1の時	マルチティンバー2の時		
	プログラムナンバー	プログラムナンバー	バンク	
			MSB	LSB
ジェットキ	—	126	121	7
ウチュウセン	—	126	121	8
バーストノイズ	—	126	121	9
ハクシュ	—	127	121	0
ワライゴエ	—	127	121	1
サケビゴエ	—	127	121	2
パンチ	—	127	121	3
シンゾウ	—	127	121	4
アシオト	—	127	121	5
ジュウセイ	—	128	121	0
マシンガン	—	128	121	1
レーザーガン	—	128	121	2
バクハツ	—	128	121	3
ポップセット	—	1	120	0
バラードセット	—	9	120	0
パワーセット	—	17	120	0
エレクトロニックセット	—	25	120	0
アナログセット	—	26	120	0
ジャズセット	—	33	120	0
ブラシセット	—	41	120	0
オーケストラセット	—	49	120	0
SFXセット	—	57	120	0

8. 他の機器との接続



- ・ 他の機器と接続する時はNV10の電源を切ってから行ってください。電源が入っている時に行くとノイズ音が発生し、アンプの保護回路が働きNV10の音が出なくなることがあります。出なくなった場合はもう一度電源を入れ直してください。
- ・ NV10のラインイン(LINE IN)とラインアウト(LINE OUT)を直接ケーブルで接続しないでください。発振音が発生し、故障の原因になります。

1. LINE OUT(ライン出力端子) ＜標準フォンジャック＞

NV10の音を他の外部機器(アンプ、ステレオ)などで聴いたり、外部機器に録音する場合に使用する出力端子です。出力レベルは本体のボリューム(P. 14)で調節できます。Rは右側、L/MONOは左側の出力を示しています。なお、モノラル信号は、L/MONOのみにプラグを接続したときに出力されます。

3. MIDI(ミディ)

MIDI規格に対応している楽器と接続する端子です。

2. LINE IN(ライン入力端子) ＜ミニステレオジャック＞

他の電子楽器やCDプレイヤーなどの出力端子とこの端子を接続すると、NV10の内蔵スピーカーからそれぞれの機器の音を出力できます。音量調節はラインイン端子の左側にあるLEVELつまみを回すか、接続した機器で調節してください。「ラインインレベル」(P. 134)を利用して調整することも可能です。また、ラインイン端子には過大入力が入らないようにご注意ください。常識を超える過大入力に対しては故障の原因になりますのでご注意ください。

4. USB端子

市販のUSBケーブルでコンピュータと接続すると、MIDIデバイスとして認識され通常のMIDIインターフェイスと同様にMIDIメッセージを送受信することができます。

USB端子にはA端子とB端子があり、コンピュータ側はA端子、デジタルピアノ側はB端子でそれぞれ接続します。

■ USBドライバーについて

コンピュータとデジタルピアノをUSB接続してデータをやりとりするためには、デジタルピアノを正しく動作させるためのソフトウェア(USB-MIDIドライバー)がコンピュータに組み込まれている必要があります。

お使いのコンピュータのOSによって使用するUSB-MIDIドライバーが異なりますので、下記の説明をよく読んでお使いください。

OS	
Windows XP (SPなし, SP1, SP2, SP3) Windows XP 64-bit Windows Vista (SP1, SP2) Windows Vista 64-bit (SP1, SP2) Windows 7 Windows 7 64-bit Windows 8 Windows 8 64-bit Windows 8.1 Windows 8.1 64-bit Windows 10 Windows 10 64-bit	Windowsに搭載されている標準USB-MIDIドライバーを使用しますので、パソコンと接続すると自動的にこのUSB-MIDIドライバーがインストールされます。アプリケーションソフトで本機とMIDI通信する場合はMIDIデバイスとしてWindows XP / XP 64bitの場合は「USBオーディオデバイス」を、Windows Vista / Vista 64-bit / 7 / 7 64-bit / 8 / 8 64-bit / 8.1 / 8.1 64-bit / 10 / 10 64-bitの場合は「USB-MIDI」を指定してください。
Windows 98 SE Windows 2000 Windows Vista (SPなし)	指定の専用USB-MIDIドライバーをコンピュータに追加する必要があります。下記のカワイホームページより専用USBドライバーをダウンロードしコンピュータにインストールしてください。*Windows Vistaの場合は必ずXP互換モードでインストールしてください。 http://www.kawai.jp/download/ <ul style="list-style-type: none"> ・パソコンと接続する前に説明書をよく読んで、必ずインストール作業を行ってください。この作業を行わずに接続すると、USB-MIDIドライバーが動作しない場合があります。万一動作しなくなった場合は、OSの「ドライバーの更新」機能によって正しいUSB-MIDIドライバーをインストールするか、「ドライバーの削除」で削除してからインストール作業をやり直してください。 ・アプリケーションソフトで本機とMIDI通信する場合はMIDIデバイスとして「KAWAI USB MIDI IN」、及び「KAWAI USB MIDI OUT」を指定してください。
Windows Vista 64-bit (SPなし)	USB-MIDIをサポートしておりません。SP1、またはSP2にアップグレードをしてください。
Macintosh OS X	Macintosh OS Xでは自動的にUSB-MIDIデバイスとして認識されますので、特別なドライバーは必要ありません。アプリケーションソフトで本機とMIDI通信する場合は「USB-MIDI」を指定してください。
OS9以前のMacintosh	OS9以前のMacintoshにはサポートしておりません。市販のMIDIインターフェイスを使用して、MIDI接続してください。

■ iPadについて

NV10はiPadと接続し、楽器に対応したiPadアプリケーションを使ってお楽しみいただけます。

ご使用前に、下記のカワイホームページよりiPad、各アプリケーションの最新の対応状況・動作環境情報を必ずご確認ください。

<http://www.kawai.jp/>

■ USBに関するご注意

MIDIとUSBが同時に接続された場合、USBが優先されます。ただし、Bluetooth MIDIでスマートデバイスと接続されている場合、Bluetooth MIDIが優先されます。

デジタルピアノとコンピュータをUSBケーブルで接続する場合は、まずUSBケーブルを接続してからデジタルピアノの電源を入れてください。

デジタルピアノとコンピュータをUSB接続した場合、通信を開始するまでしばらく時間がかかることがあります。

デジタルピアノとコンピュータをハブ経由で接続し動作が不安定な場合は、コンピュータのUSBポートに直接接続してください。

下記の動作中、デジタルピアノの電源オン/オフ、USBケーブルの抜き差しを行うと、コンピュータやデジタルピアノの動作が不安定になる場合があります。

「ドライバーのインストール中」「コンピュータの起動中」「MIDIアプリケーションが動作中」「コンピュータと通信中」「省電力モードで待機中」

お使いのコンピュータの設定によっては、USBが正常に動作しない場合があります。ご使用になるコンピュータの取扱説明書をよくお読みの上、適切な設定を行ってください。

※ “MIDI”は、社団法人音楽電子事業協会 (AMEI) の登録商標です。

※ Windowsは、Microsoft Corporationの登録商標です。

※ MacintoshとiPadは、Apple Inc.の登録商標です。

※ その他、本取扱説明書に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

※ MIDI : Bluetooth (Ver4.0 GATT対応) / Bluetooth Low Energy MIDI Specificationに準拠。

※ Audio : Bluetooth (Ver3.0)

■ Bluetoothに関するご注意

Bluetooth機能が使用する2.4GHz帯は、さまざま機器が運用されています。場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。

本製品は常にBluetooth接続が待機状態になっております。複数のBluetooth対応機器がある場合は、接続したい機器以外のペアリングに注意してください。

9. NV10の組み立て方



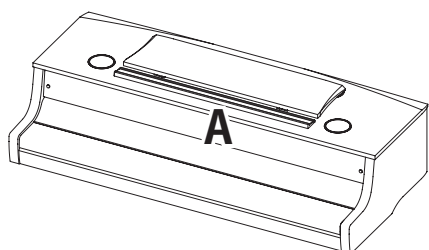
組立作業は必ず3名以上で行ってください。

本機を移動するときは、水平に持ち上げるようにし、手や指をはさんだり、脚の上に落とさないように十分注意してください。

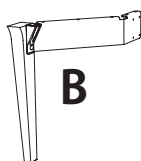
■ 部品の確認

組み立てる前に、本体以外の部品が揃っていることを確認してください。また、ネジのサイズに合ったプラス(+)
ドライバーとカッターをご用意ください。

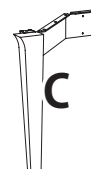
本体は手順3までは箱から取り出さないでください。



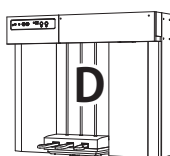
本体



脚1



脚2



ペダル土台



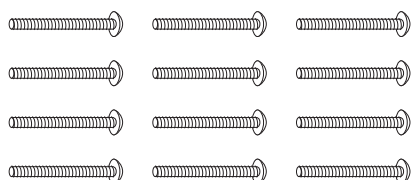
スタンド裏板



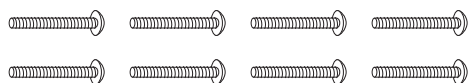
電源コード

ネジセット

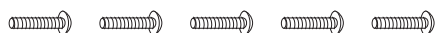
Ⓐ ネジ(6×35mm) : 12本



Ⓑ ネジ(4×30mm) : 8本



Ⓒ ネジ(4×20mm) : 5本



ヘッドホンフックセット

ヘッドホンフック



取付ネジ(4×14mm) : 2本



1. B(脚1)・C(脚2)とD(ペダル土台)を固定する

1-1

平らな床にDを立てる。
このとき床に楽譜や部品がないこと、アジャスターがしっかり付いていることを確認する。

1-2

Dの側面にBを、**b** ネジ(4×30mm)4本で仮留めする。

1-3

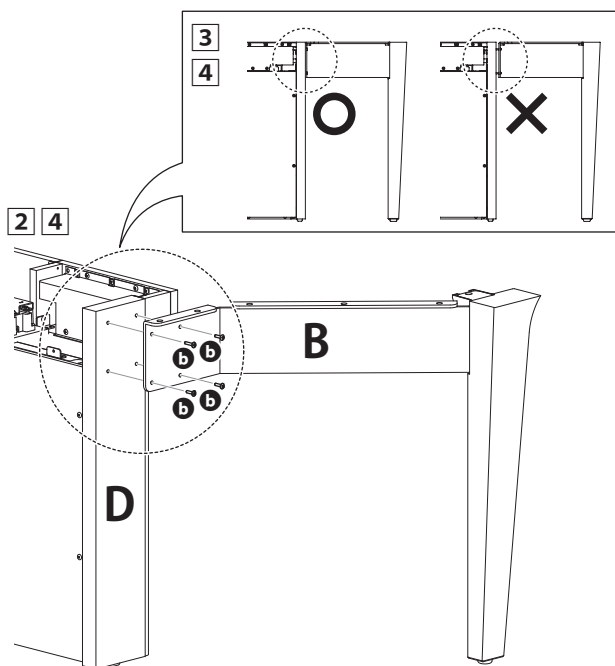
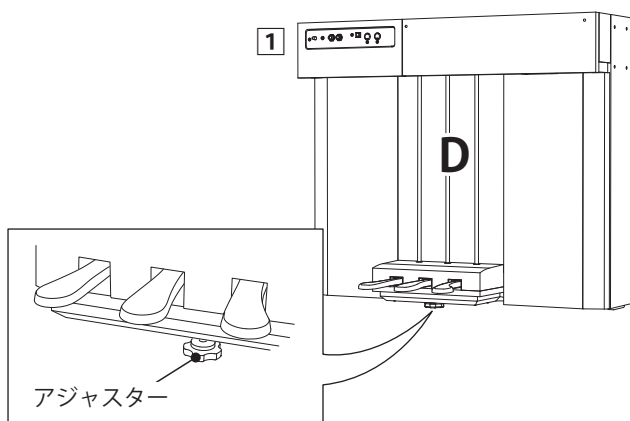
Dの側面とBの金具をぴったりと押しあてて、Bが床とガタつきなく接地することを確認してきつく締める。

1-4

Cも同様に固定する。

1-5

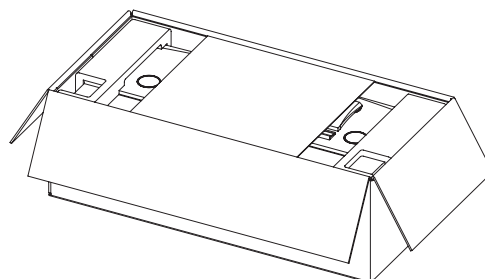
ガタつきが無いことを確認する。ガタつきがある場合は1-3, 1-4で締めたネジを少し緩め再調整する。



2. A(本体)を箱から取り出す

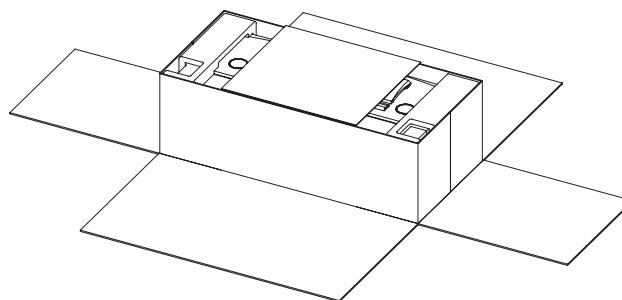
2-1

本体用箱が逆さにになっていないことを確認して、箱の上側を開く。



2-2

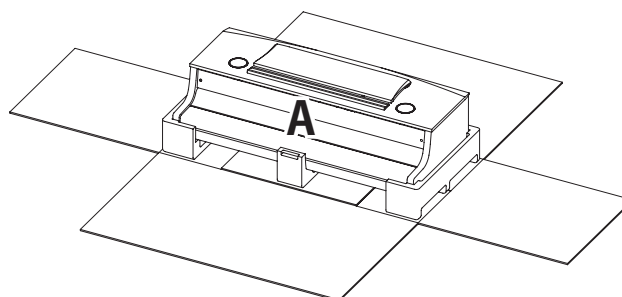
箱の垂直の稜4箇所を切り、箱を開く。



箱を切る際は手や指を切らないようご注意ください。

2-3

段ボール(側面、上側)、発泡スチロール(上側)、包装材を外し、Aを取り出せる状態にする。



3. A(本体)を載せる

3-1

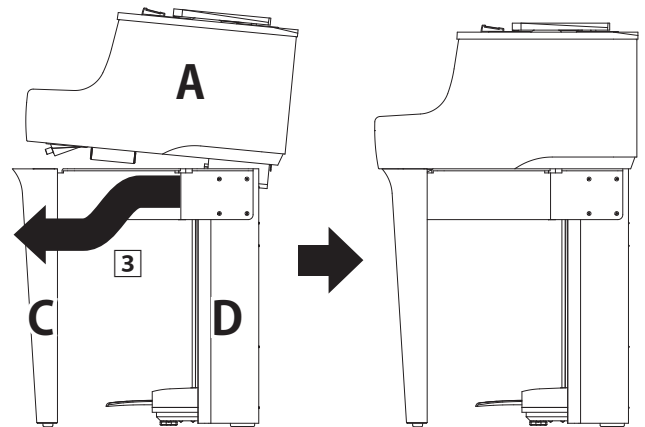
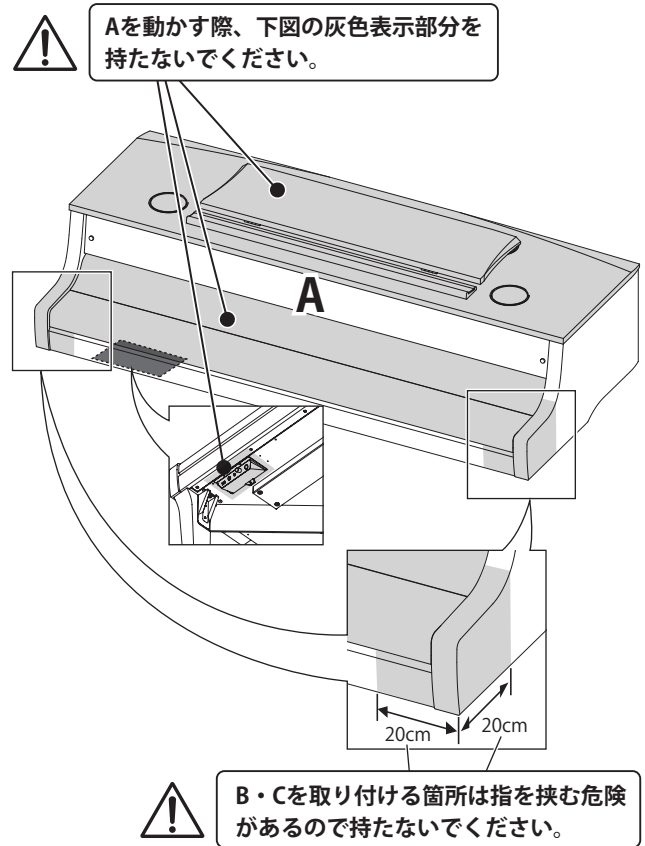
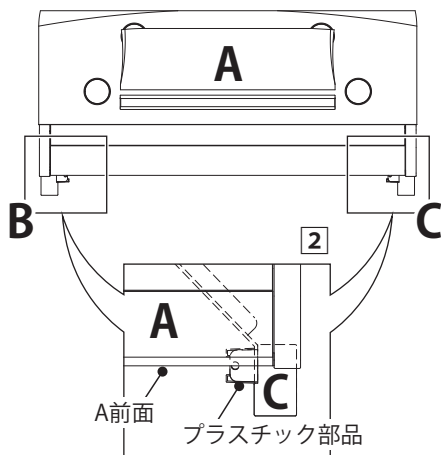
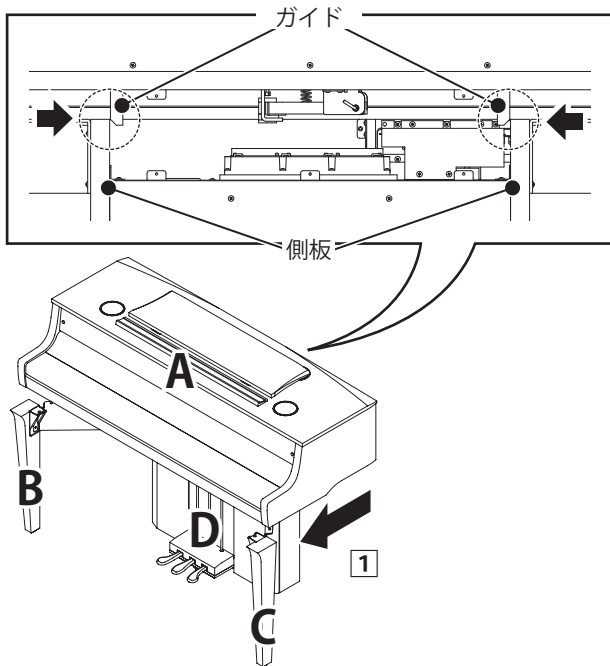
Aを十分に持ち上げて、スタンド後方から移動させ、AのガイドをDの側板内側にはめ、左右の位置を決める。

3-2

真上から見てA前面がB・Cのプラスチック部品中央の位置まで来るようにAを動かし、静かに載せる。
この状態では本体は傾いた状態になるが、この状態で放置せず、速やかに次の作業に進む。

3-3

Aを持ち上げ、Aの底面のネジ穴とB・Cの金具の穴の位置を合わせるようにゆっくり前に動き、静かに載せる。



4. A(本体)を固定する

4-1

● ネジ(6×35mm)を前側に2本、後側に10本、ネジ穴に仮留めする。

4-2

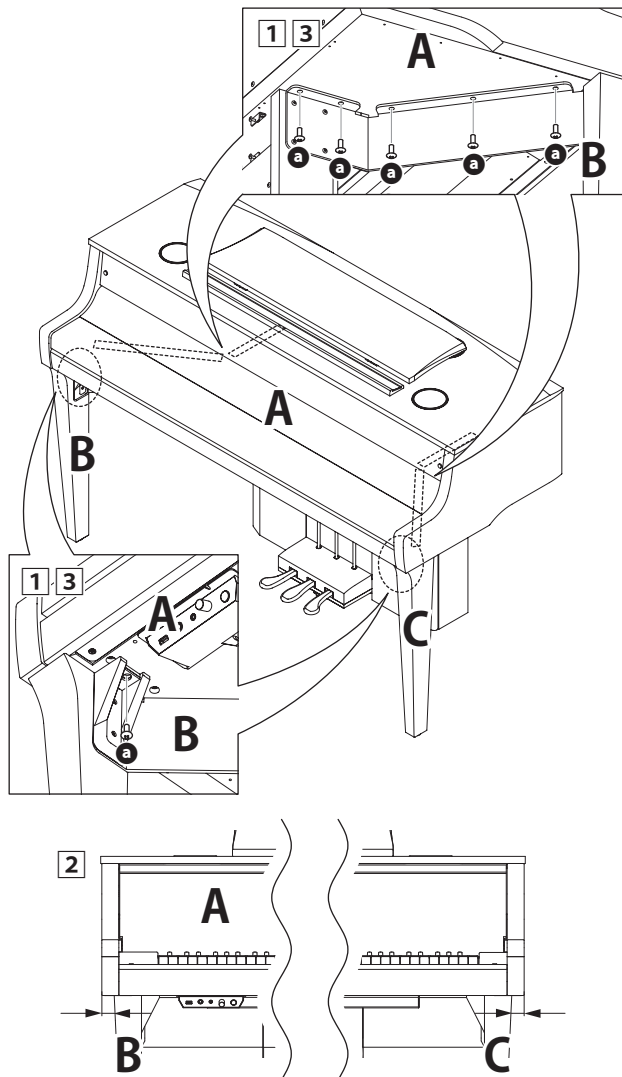
前面から見てAの左右の貼りだし部分が均等になるようにA、B、Cの位置を調整する。

4-3

仮留めしたネジをきつく締めて固定する。

4-4

ガタつきが無いことを確認する。ガタつきがある場合は1-3, 1-4で締めたネジを少し緩め再調整する。



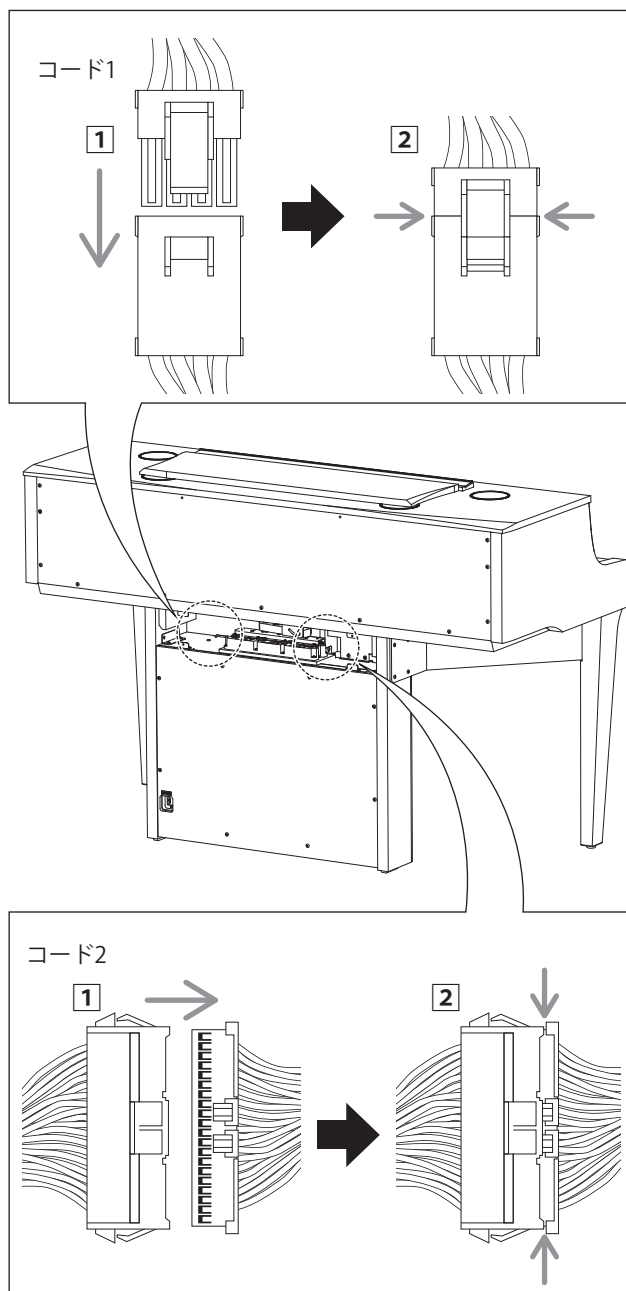
5. コード1、コード2を接続する

5-1

コード1、コード2のプラグを向きに注意してそれぞれ端子に差し込む。

5-2

隙間なくしっかりとつめがかかって接続できていることを確認する。



必ず付属のネジでしっかりと固定してください。
固定しないと、本体がスタンドから落ち大変危険です。

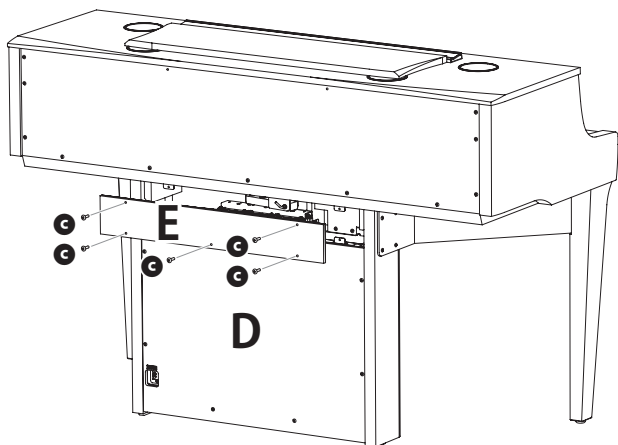


コードがしっかりと差し込まれていない場合、本体、ペダルが機能しない原因になります。

6. E(スタンド裏板)を取り付ける

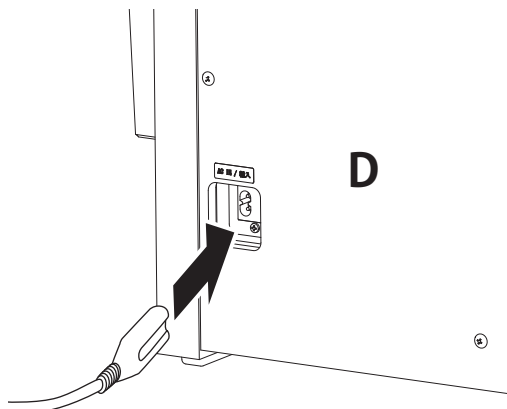
DとEのネジ穴の位置を合わせ、 ネジ(4×20mm)5本で固定する。

その際、コード1, 2がEとDの金具に挟まらないようご注意ください。



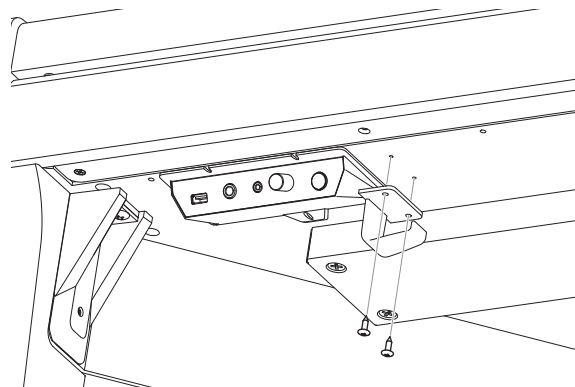
7. 電源コードを接続する

電源コードをDの背面にあるAC IN端子に接続する。



8. ヘッドホンフックを取り付ける

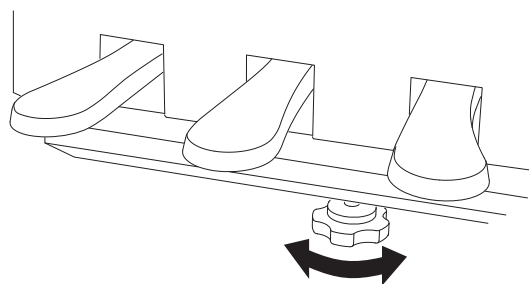
ヘッドホンフックを同じ袋に入っているネジ2本で図のように取り付ける。



9. アジャスターを回す

ペダル土台の裏にあるアジャスターを、床にピッタリ付くまで回しペダル土台を補強する。

床の材質、状態によってはペダル踏み込み時に床との間で摩擦音が発生することがあるので、その際はフェルトやカーペットなどを床とアジャスターの間に挟み調整する。



アジャスターをしっかり床につけないと、ペダル土台が壊れる恐れがあります。

なお、移動の際は引きずらないよう、必ず床から持ち上げて移動してください。

10. NV10仕様

鍵盤	88鍵木製鍵盤 グランドピアノアクション 88グレード専用ハンマー ダンパー機構付
鍵盤センサー	GP-IHSS (Grand Piano Integrated Hammer Sensing System)非接触型光センサーシステム
音源	SK-EXレンダリング
同時発音数	最大256音(音色により異なる)
音色	Pianist選択時: 1音色/10レンダリングキャラクター Sound選択時: 88音色 (P.157参照)
ディスプレイ	800×480dot カラータッチ液晶ディスプレイ
効果	Pianist選択時: レゾナンスデプス(10段階)、アンビエンス(10種)、アンビエンスデプス Sound選択時: リバープ(6種)、コーラス3種、ディレイ3種、トレモロ3種、オートパン2種、フェイザー2種、ロータリー6種、コンビネーション5種、トーンコントロール
レッスン	全377曲(練習曲:357曲、指のトレーニング:20曲)
メトロノーム	1/4、2/4、3/4、4/4、5/4、3/8、6/8、7/8、9/8、12/8拍子、リズム100種類
内部レコーダー	Pianist選択時: 1パート×3ソング 10分/曲 Sound選択時: 2パート×10ソング、総記憶音数 約90,000音
USBレコーダー	再生:MP3(ビットレート:8k~320kbps, サンプリング周波数:44.1kHz, 48kHz, 32kHz),WAV(44.1kHz, 16bit), SMF, KSO(内部ソングファイル) レコーダー録音:MP3(ビットレート:256kbps固定, サンプリング周波数:44.1kHz), WAV(44.1kHz, 16bit)
ラインイン録音	対応
デモ曲	全39曲
ピアノミュージック	全29曲
コンサートマジック	全88曲
コンサートチューナー	Pianist選択時: タッチカーブ、ボイスイング、ダンパーノイズ、キーアクションノイズ、ハンマーディレイ、ミニマムタッチ、88鍵ボリューム、ハーフペダルポイント、ソフトペダルデプス Sound選択時: タッチカーブ、ボイスイング、ダンパーレゾナンス、ダンパーノイズ、ストリングレゾナンス、開放弦レゾナンス、キャビネットレゾナンス、キーオフエフェクト、キーアクションノイズ、ハンマーディレイ、大屋根の開閉、ディケイタイム、ミニマムタッチ、ストレッチ/ユーザーチューニング、音律の設定、音律の主音の設定、88鍵ボリューム、ハーフペダルポイント、ソフトペダルデプス
キートランスポーズ	-12~+12半音
ソングトランスポーズ	-12~+12半音
オートパワーオフ	オフ、15分、60分、120分
ヘッドホン機能	スペシャルヘッドホンサウンド、ヘッドホンタイプ、ヘッドホンボリューム
その他機能	Pianist選択時: トーンコントロール、スピーカーボリューム、ラインインレベル、ウォールEQ、LCDコントラスト、ファクトリーリセット、MIDI設定機能、Bluetooth設定機能、フェイバリット Sound選択時: デュアル、スプリット、4ハンズ(連弾演奏)、トーンコントロール、スピーカーボリューム、ラインインレベル、ウォールEQ、チューニング、ダンパーホールド、LCDコントラスト、ファクトリーリセット、MIDI設定機能、Bluetooth設定機能、フェイバリット
ペダル	ダンパー(ハーフペダル対応)、ソフト、ソステヌート
キーカバー	回転式
譜面立て	可倒式(角度調整機能:6段階)
外部記憶	USBメモリ
外部端子	ヘッドホン(2)、MIDI(IN, OUT)、LINE OUT(L/MONO,R)、LINE IN- LINE INボリューム付、USB to HOST、USB to DEVICE
無線接続	Bluetooth Audio、Bluetooth MIDI
出力	135W (45W x 3)
スピーカー	16 cm×1 10 cm×4 1.4 cm×2(ドームツイーター)
定格電圧	AC100V, 50 / 60Hz
消費電力	60 W
寸法	W148×D64.5×H92.5 cm セットアップ時、ただし譜面立てを倒した状態
重量	127 kg
同梱品	本体/スタンド/黒艶固定イス/電源コード/取扱説明書(本書)/クラシカルピアノコレクション(楽譜集)/ヘッドホンフック/保証書/ユーザー登録のご案内/キーカバークロス/スタンド組立図/アフターサービスと音楽教室のご案内

Model NV10

Version : 1.0

MIDIインプリメンテーションチャート

ファンクション	送信	受信	備考
ベーシックチャ ンネル	1 1～16	1 1～16	
電源ON時 設定可能	1	1	
電源ON時 メッセージ 代用	モード3 × *****	モード1 モード1,3** ×	** 電源ON時オムニオン。 MIDIチャンネル設定操作 によりオムニオフ。
ノートナンバー 音域	21 - 108* *****	0 - 127 0 - 127	* 9-120 トランスポーズを 含む。
ノート・オン ノート・オフ	○ ○	○ ○	
アフタータッチ キー別 チャンネル別	× ×	× ×	
ピッチ・バンド	×	×	
0,32	○	○	バンクセレクト
コントロール チェンジ	×	○	ボリューム
10	×	○	パンポット
11	×	○	エクスプレッション

64	○(右ペダル)	○	ダンパー
66	○(中ペダル)	○	ソステヌート
67	○(左ペダル)	○	ソフトペダル
プログラムチェンジ 設定可能範囲	○(0-127) *****	○(0-127)	
エクスクルーシブ	○	○	送信選択可能
ソングポジション	×	×	
ソングセレクト	×	×	
チューン	×	×	
クロック	×	×	
リアルタイム コマンド	×	×	
その他	ローカルON / OFF オールノートオフ アクティブセンシング リセット	○ ○(123~127) ○ ×	
備考			

○:有り
×:無し

モード1:オムニオン、ポリ
モード2:オムニオン、モノ
モード3:オムニオフ、ポリ
モード4:オムニオフ、モノ

株式会社 河合楽器製作所

電子楽器事業部

〒430-8665 浜松市中区寺島町200番地

TEL. 053-457-1277 / FAX. 053-457-1279

<http://www.kawai.co.jp/>

■ お問合せ先について

ご不明な点などがございましたら、下記のお客様相談室をご利用ください。

◆お客様相談室

TEL. 053-457-1311 / E-mail. customer@kawai.co.jp

電話受付時間 9:00~12:00 / 13:00~17:00

(土曜、日曜、祝日及び弊社規定の休日を除きます。)

◆お客様サポート・お問合せフォーム

<http://www.kawai.jp/> より「お客様サポート」へお進み
ください。

故障と思われる場合については、お買い求めいただいた販売店、もしくはお近くのフィールドサポート担当までご連絡ください。
詳細は同梱の「アフターサービスと音楽教室のご案内」の冊子をご参照ください。

